業界No.1!?
RISING Ⅱ
ライジング
映像業界向け業務管理システム
ngc

映像新聞
令和３年（2021年） 11月15日 第２５０３号

株式会社 映像新聞社
112－0006 東京都文京区小日向
1丁目24番8号エイゾービル
電　話（03）3942－2161（代表）
ファックス（03）３９４２－２５８１

毎週月曜日発行（月４回発行）
昭和42年１月25日　第３種郵便物認可
１部660円、年間購読料28,600円（税込）
Visual Communications Journal

©映像新聞社

5G＋クラウド中継システム

サガテレビ、ソニーと共同で実証実験

フジテレビ

フジテレビジョン（東京都港区）は、サガテレビ（佐賀県佐賀市）、ソニー、ソニーマーケティングと共同で、５G商用サービスと、ソニーが開発中のクラウド中継システムを用いたリモート番組制作「CNG（クラウドニュースギャザリング）」の実証実験を10月14日に実施した。フジテレビは５G商用サービスを用いたCNGの１回目の実証実験を昨年11月に実施しており、今回が2回目。東京・新宿区と佐賀市内からの中継映像を５G経由でクラウド中継システムに送り、フジテレビとサガテレビそれぞれの操作PCからスイッチングやテロップの重畳などを実施している。


フジテレビでの操作の様子


東京・西新宿の中継現場

フジテレビでは、クラウド利用の広がりと５Gの商用サービス開始に伴い、これを番組制作に生かし、DX（デジタルトランスフォーメーション）による働き方改革にもつなげることを目指して、ソニーのクラウド中継システムと５G商用サービスを組み合わせた実験を企画した。

１回目の実証実験では、東京・台場の2カ所からの中継映像を、５G商用サービスを使ってクラウド中継システムに送信。フジテレビ本社のサブに設置した操作PCで映像を切り替える、非公開の検証用ライブ中継番組制作を実施している。

同実証実験のリーダーである技術局技術開発部の飯田智之氏は「放送中継での使用が十分に可能であることが確認できるとともに、課題も見つかった。そこで今回、新たな検証ポイントを立て、２回目の実験に取り組むことにした」と話す。

新たな検証ポイントは、映像音声送信の安定性向上と、映像音声信号を伝送する送信機の汎用性・柔軟性の向上。今回の実証実験では、FNS系列局との情報・意見交換の中で、CNGに関心を示していたサガテレビが参加する形で実施した。

共に5Gエリアである東京・西新宿の都庁前と、サガテレビ1階のカフェという、遠く離れた2カ所からの非公開検証用ライブ中継番組制作を展開。１回目の実証実験はフジテレビのサブ1カ所でのスイッチングであったが、今回は、フジテレビとサガテレビの2カ所から交代でスイッチングしたこと、西新宿側では、CNGを紹介するフジテレビアナウンサーの様子を撮影し、ソニーのトランスミッター試作機から2つの５G商用サービスを使って、クラウド中継システムに送信した。

サガテレビの中継現場からは、同じくCNGを紹介するサガテレビアナウンサーの様子を撮影した信号をRTMP（オープンな映像伝送プロトコル）に変換し、クラウド中継システムに入力した。

また、西新宿と佐賀市でそれぞれのアナウンサーが中継用アプリを実装したスマホを持ち、「レポーターアイカメラ」として撮影した映像も入力素材の1つとして使用したことが特徴だ。

〈3面に続く〉

検証用ライブ番組を遠隔２カ所で制作・配信

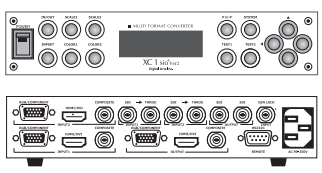
リアルタイム映像切り替えやテロップ重畳

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2021 特集
11月17-19日　千葉・幕張メッセで開催
12―42面

本号の主な記事

［プロダクション］
TREE Digital Studio撮影部門
ラージフォーマットの撮影機材
を拡充 ……２
［放送］
「コロナ後のテレビ業界」①
後退するライブ視聴 ……４

映像新聞ウェブサイト
http://www.eizoshimbun.com
購読のお申し込みはこちらから

MULTI FORMAT CONVERTER NEW
XC 1 Ver2 シリーズ
新たに入出力とも HDMI/DVI・3G-SDI
RGB/ コンポーネント・コンポジット信号
に対応しました

株式会社 デジタルアーツ TEL.03-3486-9697
http://www.digitalarts.co.jp

VIDEOTRON
12G-SDI
マトリックススイッチャー

12G対応32×32マトリックススイッチャー
MTX-70U-3232 12G
希望小売価格 1,600,000円（税別）
モジュール式で省スペース
SDI入力監視機能で安心サポート
16×16モデル 12G対応16×16マトリックススイッチャー
MTX-70U-1616 希望小売価格 1,100,000円（税別）

MousePro


ビジネスパソコンも、マウス。 MousePro 検索
NVIDIA RTX™ A6000搭載！
VR編集・4Kノンリニア編集に最適
Inter BEE 2021出展製品、高性能ワークステーション
Windows 10 Pro for Workstations 64ビット
インテル® Xeon® Silver 4216 プロセッサー 2基
512GB M.2 SSD (NVMe Gen3×4/ SAMSUNG PM9A1)
32GB メモリ
NVIDIA RTX™ A6000 (GDDR6 48GB)
1000W 電源 (80PLUS® PLATINUM)
DVDスーパーマルチドライブ 搭載
1年間無償ピックアップ保証・24時間×365日電話サポート

intel XEON SILVER inside
NVIDIA RTX
MousePro-W997DA6
1,372,800円（税込）
※送料別途 ※画像はイメージです
*アップグレードは 2021 年下旬～ 2022 年に提供される予定です。時期はデバイスによって異なります。機能によっては特定のハードウェアが必要です (aka.ms/windows11-spec 参照)。
無償アップグレード 提供開始後* Windows 11
期待を超える３つのポイント
Made in Japan | Just for You | Full Support
MouseProなら▶1年間無償ピックアップ修理保証＋24時間365日 電話サポート 標準付属
株式会社マウスコンピューター
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-2
大手町プレイス イーストタワー6階
ご購入・カスタマイズのご相談はこちらまで ※土日祝日は個人窓口に転送されます。
法人のお客様 03-6833-1041 月～金 9時～12時 13時～18時 土日祝 9時～20時
返品について 納品日から8日以内に当社所定の申し出を行い、製品外観および性能が出荷前と同等の状態であることを確認した場合のみ返品可能です。ただし、返品には当社規定の返品手数料を申し受けます。また、製品を返送いただく際の送料はお客様のご負担となります。

TREE Digital Studio / CRANK事業部

ラージフォーマットの撮影機材を拡充

ALEXA LFやSignaturePrimeを導入

総合コンテンツプロダクションであるTREE Digital Studio（東京都渋谷区、以下TREE）の撮影部門「CRANK事業部」は、機材とスタッフを拡充し活躍のフィールドを広げている。同部は2021年のTREE発足に伴い、旧TTRのCRANK事業部と旧デジタル・ガーデンの撮影業務部門を集約した事業部として始動。以降、テレビCMや映画、配信用ドラマ、ミュージックビデオなど高品質の作品づくりに取り組んでいる。



堀江氏㊧と白崎氏

CRANK事業部は撮影と機材レンタルを主な業務とする。スタッフはカメラマン5人と撮影助手10人、撮影現場で映像を管理するDIT（デジタルイメージングテクニシャン）4人、撮影したデータを扱うDM（データマネジャー）8人など計63人が勤務する。

作品はテレビCMが中心だが、昨今は高い映像制作技術が求められる映画やドラマの撮影が増加してきた。プロデューサーである白崎達彦執行役員は、「CM出身の監督やカメラマンがネットフリックスなどの配信作品を手掛けることも多くなってきたので、配信作品の問い合わせも増えてきている」と話す。

機材はこのため、デジタルシネマカメラやそれに適したレンズ、周辺機器を多くそろえている。今年、ARRIの旗艦製品であるカメラ「ALEXA LF」を導入したほか、ソニー「VENICE」も提供を開始。レンズはARRI「Signature Prime」やカールツァイス「Supreme Prime」、IB/E Optics「Raptor Macro」を追加した。

テクニカルコーディネーターの堀江浩太朗執行役員は「現在は豊かな階調と美しいボケを表現できるラージフォーマットの機材を強化している。ラインアップが多ければカメラマンはその分作品に合ったものを選ぶことができるので、レンズについては特にさまざまな種類を準備するよう努めている」と話す。

このうちの1つが、ドイツ・Gecko-Cam（ゲッコーカム）の「GENESIS G35 Vintage '66」で、名称のとおり60年代風のルックを表現する。「フレアなどビンテージ風の味を出せると同時に、フォーカスの合うところの解像感は高く、現代のレンズらしい特徴を併せ持つ面白いレンズ」（同氏）だといい、実際にどのような映像をつくれるのか、デモムービーを作成し公開している。

その他小型カメラとしてソニー「ILME-FX6」を導入。ブラックマジックデザインのカメラや、ウェブ動画やメイキング撮影などで需要の高いソニー「α7S Ⅲ」も扱いやすい。効率よく作業してもらえる」とすると同時に、「当社はさまざまな機材をそろえるほか、機材エンジニアが相談に乗ることができるので、安心して利用できる体制を整えている」と説明している。

◆充実したスタッフも増強

CRANK事業部となったことでカメラマンからDIT、DMまで現場スタッフが増強されたのも強みだ。

カメラマンは山岡昌史、幸前達之、沼尾優貴、堀智弘、米澤佳州子の各氏が所属。ベテランの山岡氏を中心に30歳代のスタッフが切磋琢磨している。

DITは佐々木辰雄、丸山晋碁、香川真璃子、板井哲洋の各氏。撮影現場でデータ変換や合成、簡易グレーディングをし、仕上げまでをサポートする。DMはDIT志望を中心とした若手が務めており、撮影データのバックアップや管理を担当している。


機材のチェックルームを14に増設


デモ映像の撮影

白崎氏は「DITとDMはデータの入り口であり、サーバーを介して編集のDIGITAL GARDEN事業部やCGのLUDENS事業部、REALIZE事業部につなげていく」と話す。

DITとDM双方の担当がいる社は珍しく、「特にDMは旧デジタル・ガーデンが撮影事業を始める際、自社で詳細な仕様を定めたほど。しっかりトレーニングされたDMは業界でも少ないので、DITと合わせた発注も多い」（白崎氏）という。

CRANK事業部は、事業部を横断するTREEの営業組織「プロデュースブランチ」との協力で、仕上げまで同社で一貫して担当する作品や、リモート制作ツール「TREE LIVE」を使った海外クライアントの作品など、多彩な業務を担当している。

今後はDMを増やし、撮影から完成までのフローをさらに迅速かつスムーズに進められるよう整備する。堀江氏は「最新の機材を準備すると同時に、この先のさまざまな業務に対応できるよう、質の高い技術あるDMとDITを育てていきたい」と話している。


ALEXA LFなどCRANK事業部が所有するカメラ群

レスターコミュニケーションズ

タックシステムを子会社化

映像と音響をトータル提案

レスターホールディングスの連結子会社であるレスターコミュニケーションズ（RCC）は10月28日、タックシステム（TAC）の株式を取得し、子会社化することを目的とした基本合意書を締結した。今後具体的な協議を進め、2022年3月に最終契約を締結し翌4月に経営統合する。

放送業界ではファイルベース化が進展し、映像と音響システムの総合提案の重要性が高まっている。RCCとTACおよびその子会社のトライテックは、映像と音響システムにそれぞれ強みを持つ。経営統合することで、システムをトータル提案し多様化する顧客ニーズに対応する。

商材を拡充することでの提案力強化や音響機器の開発力向上、総合的な保守サービスの提供、経営基盤の強化と事業拡大も目指していく。

コンパクト ルーティングスイッチャ　Gen・元　12G-SDI・3G-SDI・AES/EBU

1616-12G-CP　1,375,000円（税込）・1616-3G-CP　1,265,000円（税込）・1616-AES-CP　1,045,000円（税込）

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 11.17㈬ »» 19㈮ 幕張メッセ



コントロールパネル着脱可能。　最大16台のコントロールパネル接続可能。
全クロスポイントブランキング切換。　4/10/16分割マルチビューモニタリング出力。
12G，3Gにカラーバー出力。　AESにオシレータ出力装備。
サルボ，テイク，クロスポイントインヒビット，ソース/デスト インヒビット，パネルロック。
Webサーバー内蔵、ブラウザによる設定・制御・ステータス表示が可能。
SNMPによるリモート監視・制御。　プログラマブルなGPI/GPO機能装備。
3つのEthernetポート装備。　RS-232Cポートで他社コントロールパネル接続可。
完全フロントメンテナンス方式。（PAT.）
全機種リダンダント電源標準装備。

リファレンス入力・全クロス ブランキング切換。
ラストメモリ機能。
サルボ，テイク，クロスポイントインヒビット，
ソース/デスト インヒビット，パネルロック。
SNMPリモート監視・制御。
プログラマブルGPI/GPO機能装備。
リダンダント電源標準装備。



1616-12G-Plain　660,000円（税込）・1616-AES-Plain　495,000円（税込）

株式会社 コスミックエンジニアリング　〒191-0065　東京都日野市旭が丘3-2-11　tel 042-586-2933（代表）　https://www.cosmic-eng.co.jp/　mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

ソニー

クラウド中継システム

AWSのSaaSで

ソニーは、アマゾン ウェブ サービス（AWS）との連携を強化し、クラウド技術とIP技術を融合した映像制作向けのソリューションを展開する。10日には、SaaS（Software as a Service）型のクラウド中継システム「M2 Live（エムツーライブ）」の提供を開始すると発表した。

M2 LiveはAWSのクラウドに展開するtipoint-to-Multipoint Liveの略語。ことで、スイッチャーなどのハードウエアを設置することなく中継制作できる。設備構築を最小限に抑えることで時間や場所の制約を低減し、効率的で自由な制作を実現するライブ番組制作の実証実験を実施した（1・3面に詳細）。

また、ソニーの子会社であるネヴィオンは、AWS上で4K60pまでの非圧縮信号をやり取りできるインタフェース「AWS CDI（AWS Cloud Digital Interface）」の相互運用実証実験に参画し、クラウドを活用したライブ制作と配信、AWS CDIの実証性を確認した。

ソニーの喜多幹夫VP（イメージングプロダクツ&ソリューションズ事業本部）は映像新聞の取材に対して、「映像制作業界でのクラウド活用はファイルベースで進んできたが、ライブ中継はハードウエアに頼っていた。クラウド技術は5Gなどの通信技術とあわせて進化しており、一部のライブ制作でも十分に使えるところまで来た。（カメラなどの製品に続く）クラウド活用に向けた最後のピースとしてM2 Liveを発表した」と話している。

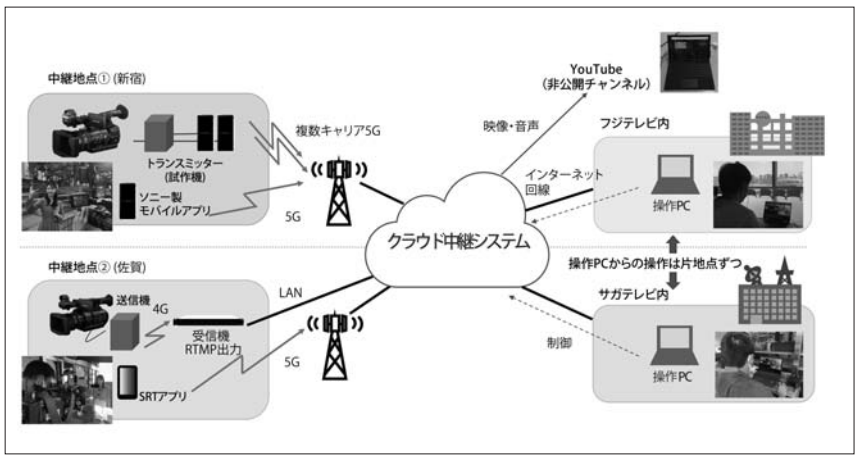
過分は従量課金とする。スマートフォンに入力した映像をM2 Liveに伝送するモバイルアプリも開発した。

10月には、フジテレビジョンとサガテレビと共同で、リモート映像制作ワークフローによる効率的なライブ番組制作の実証実験を実施した（1・3面に詳細）。

フジテレビ
サガテレビ
ソニー

5G＋クラウド中継システムの実証実験

2局が交互に拠点の役割



CNG（クラウド・ニュース・ギャザリング）実証実験第2回の構成図

〈1面から続く〉

西新宿のフジテレビアナはソニー製モバイルアプリ、サガテレビのアナは、一般公開されている映像伝送プロトコル「SRT（セキュアリライアブルトランスポート）」アプリを実装したスマホで、それぞれ撮影し、5Gでクラウド中継システムに送信した。

クラウド中継システムに入力された映像・音声は、フジテレビとサガテレビがそれぞれのクラウド中継システム操作PCから、交互に拠点の役割を切り替えながら、インターネット経由で制御信号を送り、映像・音声をリアルタイムに切り替えたり、テロップを重畳したりする一連の中継番組制作を実施した。

5Gの送信機は前述のとおり、ソニー製のトランスミッター試作機、ソニー製モバイルアプリ、SRTアプリを使用。トランスミッター試作機には今回、2つの回線を同時に使える機能が追加された。これにより、実証実験では、1本にトラブルが生じても別の1本に切り替えられることが確認できたという。

「実運用の可能性は十分」

飯田氏は、実運用に向けては、さらなる機能の向上が求められると話す。また、クラウド中継システムと、安定性の高い一般的な製品を組み合わせられることが分かり、汎用性・柔軟性の向上を実感できたとも述べた。

一方、ライブ映像の送信に5G商用サービスを利用することについては、5Gのエリア、中継現場の通信状況に依存するため、そこでの安定性を高める部分は引き続きの課題と話す。

検証用番組信号伝送の最終段については、前回の実証実験では、クラウド中継システムからの映像・音声をフジテレビ本社サブに設置した受信PCで受け、そのSDI出力をゴールとしたが、今回は、クラウド中継システムから直接、YouTubeライブ（非公開チャンネル）に向けて配信した。これにより、一般的な動画配信プラットフォームに向けた展開においても、本局の装置を介すことなく、クラウドから直接送信できることを確認している。

今回の実証実験の結果について飯田氏は「出来上がりの番組の映像・音声の品質は非常に高く、実用には問題がないと感じた」という。また「5Gで送られてきた信号は極めて低遅延であり、操作PCでカメラを切り替える操作なども、遅れや操作がしにくいといったことは感じられなかった」と評価。

クラウド上の映像・音声のスイッチングなどについても、今後、放送に求められるより高い安定性、地上波の番組と同様の演出を実現するための機能の追加に期待を寄せ、実運用の可能性は十分にあると述べた。

映像/音響機器レンタル・各種メディア販売

撮影機材レンタル

《Head office》
Osaka
Tel:06-6202-1247

《Branch office》
Fukuoka
Tel:092-415-1247

《Group company》
Hiroshima
Tel:082-296-1247

スポーツ /LIVE 中継 , 各種イベントビジョン出し,
TV 番組や CM, 企業 VP にも対応。
機材一式、スタッフもお気軽にお問い合わせ下さい。

ings-jbs
株式会社イングス JBS
http://www.ings-jbs.jp

《Now on rental !!》
SONY PXW-Z280
Angenieux EZ-1/EZ-2
SmallHD FOCUS Bolt
DJI RONIN 2
FOR.A HVS-490
EVS XT3 4RU
Canon CJ45e×9.7B
Canon XJ95×8.6B

SAN-EI TU
”人と技術”で新しい価値を創造する
放送設備
シネマ
メディカル
Technology × Creative
SAN Vision AVENUE
デジタルサイネージ
大型映像
設計・施工・調整・保守のワンストップサービス
サンエイテレビ株式会社
http://www.sanei-tv.co.jp/

コロナ後のテレビ業界①

メディア界に大きなインパクトを与えたコロナ禍で、地上波テレビのライブ視聴が後退し、テレビ広告費も大きな打撃を受けた。こうした変化を受け、総務省が「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」を発足し、議論を開始している。メディアは新たにどんな局面に入る可能性があるだろうか。これらの変化の実態を再認識しつつ、その先にある可能性や課題を考察したい。第1回は大きく後退したライブ視聴について考える。

（次世代メディア研究所・鈴木祐司）

YouTubeが地上波に肉薄

揺れはじめた圧倒的地位

現実的視点で新たな道を

後退するライブ視聴

★衝撃のデータ

今年業界に最も大きな衝撃を与えたデータは、NHK放送文化研究所の「国民生活時間調査」だろう。人々の1日の生活行動（睡眠や仕事、家事、食事、テレビ視聴など）を、「時間」の面からとらえた調査だ。

1960年以来5年ごとに実施されているが、平日にテレビをリアルタイムで15分以上見ている人の比率（行為者率）でみると、2020年までの10年間で状況は一変していた。

例えば男性10代。10年までの10年間は85・8%から81・8%と微減でとどまった。ところが20年には54%と28ポイント減少してしまった。20―30代も30ポイント近く落とした。40代ですら下落率は25ポイント超だ。

女性の場合も状況は似ている。過去10年で10代が23ポイント、20代26ポイント、30代14ポイント、40代15ポイントと、10―40代の下落が顕著だった。日常的にテレビ放送を見るという視点では、男女とも49歳以下でテレビ離れがこの10年で急伸したことが分かる。

しかしコロナ禍で状況は変わったようだ。昨春からの関東地区のPUTを追ってみると、緊急事態宣言が出された2020年4―5月はP帯（午後7―11時）のPUTが急騰した。ただし解除されると落ちつき、10―11月は34%を割り込むようになった。例年秋以降は視聴率が高くなるが、20年は例外だった。

21年は変調がさらに大きい。7―8月こそ57年ぶりの東京五輪の影響で好調だった。それが直前の6月は前年比2・5ポイントのマイナス、10月も低かった昨年をさらに下回り、1・6ポイント下回った。11月も31%台で推移している。このまま行けば下落幅はさらに拡大しそうで、これまでにない事態になっている。

★ネット動画が台頭

テレビのライブ視聴後退が続いている。HUT（総世帯視聴率）は過去20年で7割台から6割まで減少している。ただし原因は、核家族化など一世帯あたりの家族人数が減少したためなどの理由が挙げられていた。

実際にPUT（総個人視聴率）は、そこまで減少していなかったので、1人当たりのテレビ視聴時間には大きな差がないと信じられてきた。

この変化が今後も続いた場合、テレビのライブ視聴はかなり厳しいものとなる。男女10―30代は、7―8割がライブで見なくなる可能性があり、男40―50代も5―6割。女40代も4割、50代も3割がテレビ離れを起こすかもしれない。70年近く続いてきたテレビの見方が、大きく変わる可能性を示している。

★コロナ禍で状況変わる

NHK文研調査は昨年10月の実態だったが、その後も、ライブ視聴は

東京ケーブルネットが動画販売

マルチアングルによるライブ

2D映像×360度映像で収録

東京ケーブルネットワーク（TCN／東京都文京区）は、プラスアベニュー所属のモデル・アイドルグループ『OBP』による6月のワンマンライブの模様を収録し、2D映像と3台のカメラによる360度映像を切り替えながらマルチ視聴ができるストリーミングコンテンツとして、映像配信サービス「Blinky」（share.blinky.jp/s/MzY0Ng）上で販売している。料金は1200円で、視聴期間は2022年3月末まで。

Blinkyは、アルファコード（東京都文京区）が提供する2D・VR動画を高画質、高音質で簡単に楽しめる映像配信サービス。アプリやウェブサイトへアクセスすることで、スマートフォンやブラウザー、専用のVRヘッドマウントディスプレーなど幅広い環境で視聴ができる。現時点で、2DとVR動画を切り替えが可能な業界唯一のサービスになっているという。

OBPは、15年に沖縄で結成されたグループ。メンバーはそれぞれモデル、タレント、女優、声優、ラジオパーソナリティーなど各方面でマルチに活動している。今回収録した『THE ORP LIVE 2020+1 ～Revenge～』は、20年3月に実施予定だったが、コロナ禍に伴い、今年6月に振り替え公演されたもの。

TCNでは、東京ドームでの野球中継など映像時代の映像エンターテインメントを創造していく」としている。コンテンツ制作力を長年培ってきたが、「その制作力と新たな撮影技術を組み合わせることで、新

ジェイコムウエストが新番組

スマホ教室のテレビ版

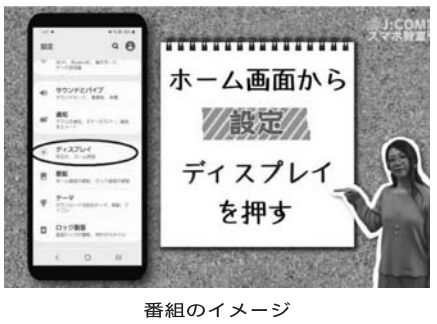
情報格差の解消を目指す

ジェイコムウエスト（大阪市中央区）は、SDGs（持続可能な開発目標）の1つ「人や国の不平等をなくそう」への取り組みとして、デジタルデバイド（情報格差）の解消を目指す新番組『1分で分かる！J：COMスマホ教室テレビ版』を、コミュニティチャンネル「J：COMチャンネル」で、11月1日から放送を開始した。

番組は、月替わりで来年3月まで全5回、番組　約90回）放送する。

テーマは、①「画面がスグに暗くなる」、②「画面がクルクル回転してしまう」、③「文字が小さくて見えづらい」、④「文字の入力、もっとカンタンに」、⑤「このアプリ有料？無料？見分けるには」を予定している。

コロナ禍において同社では、これまで対面で開催していた「スマホ教室」を、オンライン教室に切り替えて続けていた。しかし、オンラインミーティングツールの利用自体が困難な参加者も多く、誰でも簡単に利用してもらいたいという考えから、テレビ番組を企画したという。



番組のイメージ

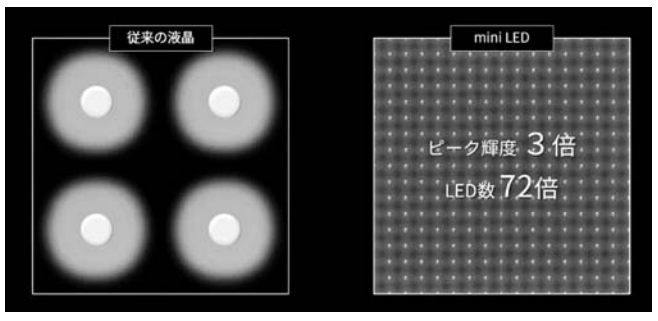
J：COM茨城と守谷市

災害時の情報提供で協定

土浦ケーブルテレビ（県土浦市）と守谷市（茨城　城県）は1日、台風や地震などの災害が発生した場合や災害が発生する恐れがある場合に、放送事業者から市民に対して避難勧告などの緊急情報を提供する「災害時における放送等に関する協定」を締結した。

この協定により、災害や緊急を要する事態が発生し、守谷市からJ：COM茨城へ緊急情報の提供要請があった場合、J：COMサービスエリア内の守谷市で放送しているコミュニティチャンネル「J：COMチャンネル茨城」で、地域住民に注意喚起や避難所情報などの生活支援情報を届ける。

シャープ　液晶テレビ新シリーズ



AQUOS XLEDシリーズは、従来機比約72倍の数のミニLEDで映像の輝きを3倍に向上した

ミニLEDバックライト搭載

シャープは10月26日、新開発のミニLEDバックライトを搭載した次世代液晶テレビの新シリーズ「AQUOS XLED（アクオス エックスレッド）」の発表会をオンラインで開催した。新製品は、4K対応と8K対応の2ライン（DX1／DP1）、85V型から55V型までの計5機種。

登壇したシャープの執行役員スマートディスプレイシステム事業本部長の喜多村和洋氏は「新製品は、光源であるバックライトに小型のLED（ミニLED）を採用。同社従来機比約72倍の数のミニLEDを高密度に敷き詰めた。新開発のアクティブ・ミニLED駆動技術により、表示する映像に応じて、エリアごとの明暗をきめ細かく制御することで、コントラストなどの表示性能が飛躍的に向上した」と説明した。この結果、ピーク輝度は、従来機比で　約3倍の高輝度を実現した」という。

またスマートディスプレイシステム事業本部国内TV事業部8K推進部長の上杉俊介氏は「高輝度の実現で、まばゆいばかりの輝きから締まった黒の表現まで、ダイナミックな映像で楽しむことができる。また、バックライトの光波長を変換する量子ドットリッチカラー技術を新たに採用した。バックライトの光から純度の高い光の3原色を生み出し、広色域かつ鮮やかな発色を実現した」という。

スピーカーシステムも刷新。さらに映像と背景の境界をわずか約0・2チャンネル（DX1ライン）まで狭額縁化した「フローティングディスプレイ」デザインを採用した。

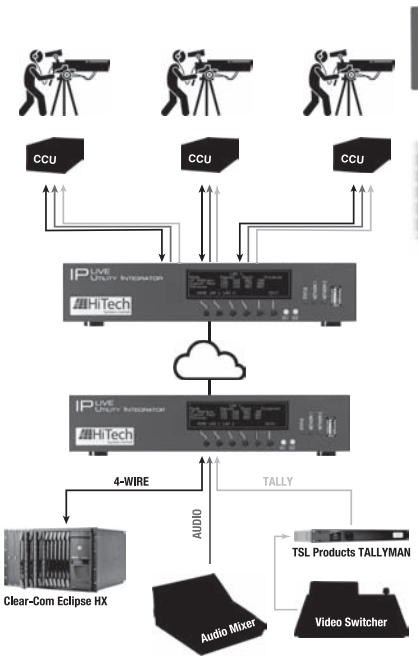
喜多村氏は「当社では有機ELテレビも発売しているが、この新製品をフラッグシップモデルと位置付け、最高峰の次世代テレビとして市場に投入する。まずは国内で先行発売し、海外についても市場の動向や地域の状況を判断した上で順次販売していく」と話した。

【新製品の市場想定価格と発売時期】

［8K対応「DX1」シリーズ］▽85V型「8T－C85DX1」176万円前後▽75V型「8T－C75DX1」82・5万円▽65V型「8T－C65DX1」同66万円前後＝以上12月10日発売

［4K対応「DP1」シリーズ］▽65V型「4T－C65DP1」44万円前後＝12月10日発売▽55V型「4T－C55DP1」36・3万円前後＝2022年2月26日発売

IP LIVE UTILITY INTEGRATOR
HiTech Systems Limited
リモートプロダクションを実現する最も簡単なソリューション
※当社比




フロント
リア

中継先にカメラを置いて、制作は遠隔地の放送局とIPで接続することができ、4K映像は最適なコーデックを使用してIP伝送を行い、カメラへのタリー、インターカムやRS422データ等をIP LIVE UTILITY INTEGRATORで伝送できます。もはや、中継先に多くの機材を輸送するコストやスタッフの人件費を抑えることができる真のリモートプロダクションを実現することができます。

松田通商株式会社
▶https://mtc-japan.com/

本　　社　〒107-0062　東京都港区南青山3-3-15　MTCビル　Tel: 03(5413)4611　Fax: 03(5413)4618
大阪営業所　Tel:06（6101）2822　Fax: 06(6101）2823　Mail: inquiry@mtc-japan.com

多目的簡易ブース（アナウンス・編集・MA）
あなたのオフィスがスタジオに～
安 安価
簡 簡単設置
短 短期で施工



●サイズはフレキシブル（設置場所に対応）
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40



映像スタジオ施工
MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具

Takahashi Construction Co., Ltd.
SOUND PROOF
～映像・音響専門
SINCE 1979～

一級建築士事務所
高橋建設株式会社
本社 〒216－0032 神奈川県川崎市宮前区神木1－7－8
TEL044-853-0547 FAX044-852-1588
（社）日本ポストプロダクション協会会員／（社）日本音楽スタジオ協会会員
（社）日本音響学会会員

デジタル映像環境に対応、直営システムに依る徹底したコストダウン
映像・音響・防音 プランニング・施工

http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp

Panasonic
BUSINESS



イベント中継・オンライン授業・リモート会議に。

リモートカメララインアップがさらに進化！

独自開発のダイレクトドライブシステム搭載で、静音性と静止精度向上※1

FreeD・SRT・NDI® | HX対応※2

※1 ダイレクトドライブシステムは、UE80,UE50,UE40のみ搭載しております。　※2 FreeDはUE80のみ対応、SRTはUE80,50,40のみ対応、NDI® | HXはUE80は標準搭載・UE50,40はアップグレード対応となります。

60年以上続くプロ用の放送機器開発のノウハウを活かした高精細な映像表現と、独自技術の新ダイレクトドライブシステムによる滑らかな縦横方向へのカメラの動き。
パナソニックリモートカメラのテクノロジーがさらに進化しました。さらに用途・シーンに応じて選べるラインアップも拡充。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

A Better Life,
A Better World

パナソニック株式会社
コネクティッドソリューションズ社

※Futuresorce PTZ Camera Report 2020のグローバルでの売上金額のブランドシェアに基づいています。

リモートカメラ　パナソニック　新商品　検索

イノベーションワールドフェスタ2021

AR演出でライブパフォーマンス

シンユニティグループが大型映像技術を担う

6回目を迎えた大型クリエイティブ・フェスティバル「イノベーションワールドフェスタ2021」（イノフェス／主催：J-WAVE、筑波大学）が10月9、10日の両日、東京都港区の六本木ヒルズでのリアル会場とオンライン配信のハイブリッドで開催された。今回は、ARカメラ、最新センサーを駆使した六本木ヒルズアリーナの特設ステージで、ライブパフォーマンスやトークセッションが大型LEDビジョンを背景に展開。同会場において、シムディレクトとタケナカのシンユニティグループは、テクニカルパートナーとして、アーチストの楽曲に合わせたAR演出などを手掛けた。

シムディレクトとタケナカは、1日目のオープニング（約3分）、お笑い芸人「ジャルジャル」のコント、女優で歌手の「のん」のステージでの6曲中4曲で、それぞれAR演出を担当した。

2日目はBMSG Showcase 2021 in INNOFES（BE:FIRST／Novel Core／SKY HI）の11曲中4曲と、エンディング（約2分）においてもAR演出を実施。これ以外のステージ演出では、川田十夢氏が率いるAR三兄弟などがARを含むデジタル技術を駆使した。

シムディレクトのプロデューサーの濱田汐音氏は「今回の目玉は、リアルタイムにカメラトラッキングされるAR演出だった。オープニングでは、巨大なクジラを登場させるインパクトある演出で期待感を高め、のん、BE:FIRSTらのステージでは、MV（ミュージックビデオ）を拡張したような動的なAR演出をした」と話す。

のんのライブでは、のんがデザインした恐竜のイラストをモデリング・アニメーション化し、実際にステージで、のんと恐竜2体が踊っているような演出になった。トークセッションでもステージ装飾としてのARを活用。実際のステージセットのように見えるものから、セットでは立てることができない装飾などを制作した。

濱田氏は「常にARがどこかで表示されているようにすることで、特別なイベントとなった。視聴者のSNSでも、配信映像とは思えない臨場感、配信ならではの楽しみがあるなど、高評価のコメントが多く、うれしく思っている」と述べた。

技術関係では、メディアサーバー「disguise（ディスガイズ）」にトラッキングカメラの位置や回転の情報を送ることで、「現実のカメラ」と「disguiseの3D CG上のカメラ」の整合性がとれ、複数台あるカメラを切り替えてもAR映像の破綻なく、その空間上にオブジェクトがあるように見えるようになったという。

AR用カメラは、クレーンカメラ1台、リモートカメラ2台の計3台、AR合成のないカメラは3台用意し、合計6台のカメラ映像をスイッチングして配信した。

クレーンカメラには「TrackMen」というトラッキングセンサーを使用し、照明をマーカーとした画像認識のセンサーを使用。リアルタイムCGレンダリングソフトは、Notch・Unreal Engine・Unityで実施した。

リアル会場には、センターに6・25ミリピッチLEDディスプレー（幅8・8メートル×高さ5・4メートル）、両サイドに5・6ミリピッチLEDディスプレー（幅5・5メートル×高さ3・5メートル）を設置。AR合成された配信映像は、両サイドのLEDディスプレーに表示することで、リアル会場の人にもARを視聴できるようにした。

これらの大型LED、カメラやシステム、技術、演出は、シンユニティグループがトータルで担当した。


ステージで楽曲のMVを拡張したような動的なAR演出を展開


オープニングでは巨大なクジラが登場

4K・8K映像技術展／XR総合展

各社から最新ディスプレー

透明タイプの液晶などを出展

「第4回 4K・8K映像技術展」が10月27―29日に千葉市美浜区の幕張メッセで開催され、ディスプレー関連では、シーマが大型LEDディスプレーとシステム部材を用いたデザインウォールやフロアLEDディスプレーなどを展示した。

主な製品は、1・6ミリメートル／2・6ミリメートルピッチのワイドLEDディスプレーやインタラクティブフロアLEDディスプレー、シースルーLEDディスプレー、ポスター型LEDディスプレーなど。

同社コンテンツソリューションズチームの藤井健太氏は「コロナ禍で大型LEDなどのレンタルビジネスは苦戦を強いられていたが、それもここへきて解消しつつある。販売の市場は堅調で今回の展示会でも多様なLEDディスプレーを出展した」と話した。

同時開催の「XR総合展」では、スペースラボのブースで子会社のCybaba（サイババ）が透明液晶ディスプレーモニター「レルクリア」（ジャパンディスプレイ製）をデモ展示した。

レルクリアは透明度が高いため相手の表情をディスプレー越しに見ることが可能だ。従来の液晶ディスプレーでは、液晶パネルの背面にバックライトがある。このためディスプレー越しに相手の表情を見ることはできない。レルクリアは独自技術により、バックライトだけでなく偏光板も取り払うことに成功し、84%もの透明度を有し、「ガラスのような透明感」を実現した。

この透明ディスプレー技術では画素が全方向にわたって発光する。このため液晶ディスプレー特有の現象である視野角が存在しない。すなわちディスプレーの表からも裏からも画像をはっきりと認識することができ、話し手が話した内容をその場で確認することが可能となった。また、視野角の概念がない＝360度全方位にわたって画像を認識できることから、大人数で画像を共有するときなどにも非常に有効だ。

デザインは、HDMIインタフェースと電源のみの非常にシンプルな構成になっている。ACアダプターを差し込み、HDMIでPCとつなぐだけで2ndモニターとして機能するため、勝手がいい。さらに重量は2・0キログラム前後と軽く、持ち運びにも便利だ。

展示品は12・3型で横344ミリメートル×奥行き293ミリメートルの大きさ。サイババ技術主任の島剛史氏は「今後販売を予定している。価格は30万から40万円程度。将来的には大型モニターも発売していきたい」と話していた。

シーマの展示ブース



サイババが出展した透明液晶ディスプレーモニター「レルクリア」（ジャパンディスプレイ製）







クリエイティブ＆テクニカルなポストプロダクションとして
「驚き」と「感動」をお客様へ。

より高い創造力と技術力を、CM・TV番組向けポスプロサービスへ。2021.4.1 新IMAGICA Lab.誕生。

事業内容｜テレビCM・テレビ番組・各種コンテンツ制作における映像技術サービス｜Webやモバイルなどを利用した広告・宣伝・プロモーション向け支援サービス｜教育・企業セミナー・イベント等の映像配信向け支援サービス｜システムやアプリケーションの販売並びに保守運用｜その他各種映像技術サービス

IMAGICA
株式会社IMAGICA Lab.
www.imagicalab.co.jp

メディア産業を支える映像プロダクション

TACT

株式会社TBSアクト

〒107-6109
東京都港区赤坂5-2-20　赤坂パークビル9階

https://www.tbsact.co.jp/



株式会社クロステレビジョン
〒162-0043　東京都新宿区早稲田南町52-5
TEL 03-3200-8235（代表）　FAX 03-3200-5359
支社：北海道、東北、関西、中国、四国、九州

エーディテクノ

レガシー機器をデジタル接続

オーディオ変換器4機種を発表

エーディテクノは、レガシー機器とデジタル機器の接続やサラウンドのダウンミックスに利用できるBlustream（ブルーストリーム）社のオーディオコンバーター4機種を11月30日に発売する。

ADC11AUは、アナログステレオを光デジタルと同軸デジタルに同時変換出力する。アナログ端子を搭載したレガシー機器をデジタルアンプに接続する際利用できる。8690円（すべて想定小売価格）。

DAC12AUは、同軸デジタルまたは光デジタルを、アナログステレオに変換出力する。ドルビー／DTSを含む5・1ch光デジタルを同軸デジタルに変換することもできる。8690円。

DIG11AUは、光デジタルと同軸デジタルのインタフェースを相互変換し、選択した入力信号を光デジタルと同軸デジタルに同時変換出力する。9900円。

DAC13DBはマルチチャンネルをダウンミックスして、2chの光デジタル、同軸デジタルとアナログステレオに同時変換出力する。3万8000円。





ADC11AU㊤とDIG11AU

アストロデザインが発売

VVC規格の映像評価システム

4K120pの小型レコーダーも



IR-7523



ACW-P5000

アストロデザインは、2020年7月に標準化された符号化方式「VVC」の映像評価アプリケーション「VVC ViewerSP-5020」を発売した。

専用PCとソフトウエアで構成。VVCエンコードされたビットストリームコンテンツをリアルタイムデコードし、12G-SDIやHDMI2・1で出力する。プレイリスト機能による複数コンテンツの連続再生やGUIによる直感的な操作ができる。

同社独自のVVC映像を用意するほか、ユーザーが保有する4K映像のエンコードにも対応する。275万円。

ハイフレームレート・高解像度映像に対応した製品として、1台で4K120p映像を録画再生するポータブルレコーダー「Express Recorder IR-7523」も発売した。収録映像のスロー再生（4K／HD同時出力）や、複数台を連結することで4K240pや8K60pの録画再生ができる。12GまでのSDI入出力とHDMI2・0出力、25／100ギガビットイーサネットをサポートする。

価格は本体が220万円、記録用のCFexpress TypeBカードは11万円。

撮影、通信、通話を1台で実行するアイピーシー製ウェアラブルカメラ「Body Camera ACW-P5000」の国内販売も始めている。警備や監視、建設現場などで状況を音声付き動画として記録できる。

高画質化したほか連続8時間の駆動が実現。タッチパネルディスプレーで操作でき、赤外線によるナイトモードが使える。

デジタルアーツ

コンバーターの新シリーズ

3G-SDIに対応、高画質化

デジタルアーツはマルチフォーマットコンバーター「XC1」の後継となる新シリーズ「XC1 ver2」を発売した。ラインアップはベーシックモデル（30万8000円）と、SDI入出力1系統の「sio」（41万8000円）、SDI入出力の「sio+」（48万4000円）の3種類。ver2は入出力ともに3G-SDIに、DVIはHDMI／DVIに対応した。RGB／コンポーネント、コンポジットのアナログ信号を含めていずれも相互変換できるので、1台でアップ、ダウン、D／A、A／Dコンバーターとして利用できる。

入力は各信号とも2系統。任意の信号の切り替えやPinPなどの合成をして変換表示する。

高画質化したのも特徴。HDMI（RGB／YPbPr4:2:2、10ビット）SDI（YPbPr4:2:2、10ビット）SDIに同時出力できる。入出力に対応し、内部映像処理も10ビットのため、鮮明で滑らかに表示する。

オーディオはHDMI・パルスルー、ミュートのほか、ディレイ機能（0―85ミリ秒）を追加した。

柔軟なアスペクト変換やPinP、上下左右反転などの機能も搭載。リニアズーム機能も強化した。



XC1 ver2

パナソニック コネクティッドソリューションズ社

自社常設スタジオでオンラインコミュニケーション



Studio CONNECT

パナソニック コネクティッドソリューションズ社（CNS社）は、本社のある都内・浜離宮ビル15階に、常設スタジオ「Studio CONNECT」を開設し、11月2日から本格運用を始めた。

同社は記者会見や顧客向けセミナー、社員とのコミュニケーションをオンラインで実施してきたが、必要なときにいつでも、社員が難しい操作をすることなく情報を発信することを目指した。

機材は同社の放送・業務用映像システムで構成する。広角20倍超のズームを搭載するリモートカメラは3台採用。オペレーター1人、イベントスピーカー1人の最小2人で配信できる。ソフトウエア「AW-SF200G」「AW-SF100G」とも連携し話し手を自動追尾する。小型クレーンやレールも導入する。

タッチスクリーン液晶ディスプレーを活用し、ディスプレー上の資料に文字を書き込みながら説明することもできる。

第5回映像伝送EXPO

今後の放送・制作に必要な機器を披露

IP伝送向けサービスや低遅延コーデック

「第4回4K・8K映像技術展」と併催された「第5回映像伝送EXPO」（10月27―29日、幕張メッセ）では、今後の放送・映像制作業務に欠かせないIP伝送向けサービスや低遅延コーデックが披露された。

アイベックス



アイベックス

アイベックステクノロジーは、20ミリ秒台という低遅延8Kコーデックを伝送デモした。

ブースの8Kカメラ映像を既存の4Kエンコーダー「HLD-500OE」4台につなぎ、NHK放送技術研究所共同開発のIP変換器でIP変換し、さらにブースに設けてブースを構えた60GHz無線機に接続。ブース内にあるもう一方の無線機に無線伝送し、IP変換器→4Kデコーダー「HLD-5000D」×4を介して出力映像を見せた。

ブースでの遅延レベルの実測値も示したが、平均約26ミリ秒遅延で実演できているという。

IP変換器は来春発売予定。

コイケ

コイケはKramerブランドの商品をそろえ、Kramer独自の「K-LOCK」機構も実演した。



コイケ

東京エレクトロン デバイス

東京エレクトロン デバイスはアリスタネットワークスと共同で、映像制作・伝送におけるIP化対応の課題を解決するための「TED BI Lab」を紹介した。

TED BI Labは、東京エレクトロン デバイスの新宿オフィス内に開設した放送業界向けのIPネットワーク検証ラボ。放送業界向けに実績のあるアリスタのスイッチやLawo社製品を中心とした環境を用意することで、要件に沿った検証や、マルチキャストのスケール検証が可能。ユーザーが利用する機材との相互接続検証や、実践的な環境を利用した技術トレーニングもできる。



東京エレクトロン デバイス



DSSTUDIO VR INTEGRATED SOLUTION

DDSTUDIOは、自動車デザインプロセス支援を中心に、VR技術活用のサービスを広く展開しております。最新ツールの導入と自社開発システムで、VRの総合的なソリューションを提供いたします。

自社開発オリジナルコンバーター
20年のVR実績
実施できる秘密は
ハイクオリティ
ハイスピード

デジタルデザインスタジオ株式会社
URL http://www.ddstudio.co.jp

メディア産業を支える映像プロダクション

クリエイティブ NEXT 無料オンラインセミナー

優秀なクリエイティブが地域産業のこれからを作る。

事例でみるコロナ禍の補助金攻略
株式会社アマナ アートフォトによる地方創生事業など



株式会社地域ブランディング研究所
代表取締役 吉田 博詞

観光ビジネスに興味のある首都圏の制作会社や地元の地域活性化に取り組む全国のクリエイティブ企業、フリーランスの方は必見のセミナーです。

スピーカー

■吉田 博詞（よしだ ひろし）氏：2013年、株式会社地域ブランディング研究所を設立。代表取締役。学生時代より地域活性化に尽力。信金中央金庫 インバウンド専門アドバイザー、一般社団法人日本インバウンド連合会（JIF）幹事など数々の専門委員を務めている。

100名限定ご招待！フェローズ無料セミナー

2021.11.18(木) 13:00～14:00

地方創生に尽力し数々の実績を積んできた株式会社地域ブランディング研究所代表の吉田博詞氏をお迎えし、ウィズコロナのいまから、クリエイティブやコミュニケーションデザインで観光業の活性化を図り、アフターコロナのタイミングに合わせて地域とクリエイティブ企業双方がビジネスチャンスを掴む方法についてお話いただきます。
また、株式会社アマナが文化庁と共に推進しているアートフォトによる地方創生事業での大型補助金取得ケースなど、いくつかの事例をもとに、ビジネスの実現のために有効な補助金の紹介やその仕組み、申請手法などについてもレクチャーいただきます。

クリエイティブ業界専門の人材エージェント
映像・WEB・モバイル・グラフィック・ゲーム・アニメ・空間・プロダクト

FELLOWS Creator's Agent since 2003
www.fellow-s.co.jp
2020年4月 シンガポール拠点開設！
国内12拠点：東京・札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・京都・大阪・広島・高松・福岡・沖縄
株式会社フェローズ 東京都渋谷区恵比寿西1-7-7 EBSビル5F・7F TEL：03-5728-5580 ※恵比寿駅徒歩1分



4K時代の総合映像ポストプロダクション
togen
株式会社 東京現像所
www.tokyolab.co.jp

相次ぐテレビ受像機の国内製造撤退

テレビ受像機の販売撤退と国内製造撤退が相次いでいる。21世紀に入るころには、8社以上がテレビを製造していた。しかし現在、国内生産はわずかとなっている。自社生産を続けるメーカーの場合、国内で開発して海外工場での生産が多い。販売はするが、海外メーカーのOEM（相手先ブランド生産）品を調達している社もある。現在の地デジ方式が決まるころは、各社、独自開発の受像機を競っていた。外部調達が中心となると、世界的に流通しているテレビ用半導体に、ソフトウエアスタックを載せることになる。国内メーカーが激減した状況で、高度化した地デジ用受像機を作るメーカーはあるのか。メーカーとの緊密な調整をせずに方式を定めた場合、受け入れられるのであろうか。欧州では、地デジ放送規格をモバイル用途向けに拡張した「DVB－H」が、参加メーカーを事実上得られず失敗に終わっている。メーカー不在での規格化の危険さを示している。（杉沼浩司）


国内でテレビを設計し製造するメーカーは激減した（CES2020会場で撮影）

★続々撤退

テレビ受像機事業が、急速に日本から離れている。今年は5月にパナソニックが国内生産から撤退していたことを明かした。三菱電機は量販店向けの事業を今年9月で終了し、電器店向けテレビ事業も2024年4月以降に終了するとしている。

既に、東芝はハイセンス（中国）にテレビ事業を売却しており、継承した企業の名称は現在TVS REGZAとなっており、株式の95%はハイセンスが保持している。日立も18年にテレビ事業から撤退した。

テレビ事業からの撤退と国内生産からの撤退では意味が違う。テレビ事業から撤退すれば、テレビ製造業としての存在は消える。一方、国内生産撤退は、メーカーとしては継続する。

国内で開発し、海外工場で生産する場合は、製造拠点の移動として解釈でき、使用する技術については開発元によるコントロールが効く。また、自社で設計し製造のみ別企業（主として海外）に委託する場合も、コントロールが効く。

テレビ事業は継続するが、国内でも海外でも生産をしない場合、海外メーカーのOEM供給に頼るとみるのが自然だ。ODM（相手先ブランドによる設計製造）も可能である。しかし、設計コストが上乗せされることを考えると、撤退に追い込まれたメーカーが、コストのかかるODMを採るとは考えにくい。他メーカー既存製品にブランド名を張り替えて販売するOEMが中心であり、一般に「供給を受ける」と表現されている。

★テレビ用半導体

テレビの表示部分は、固定的故に各所から部品（パネル、バックライト）を調達できる。また、自社独自の高度化をしようとすれば、画質改善のための処理に多くの技術を作成する。これは、実際の放送に使用するスペックで、規格からの絞り込みをしたものだ。規格には適合していても運用規定の範囲外の信号を受信した場合、メーカーは正常な動作を保証しない。

★誰が作成する

国内でテレビを開発するメーカーが今後も減った場合、高度化地デジ策定時に運用規定などを作成できるだろうか。現在の地デジ開発の際は、業界が力を合わせて運用規定を策定した。規定が必要な分野ごとに分科会を作り、議論する。

分科会に出席できるのは、規定作成団体への参加企業となる。製造受託企業が参加するとは考えがたい。十分な議論や試作、検証をするだけの参加が得られるのか、不安がある。

★半導体企業の参加を

現在の地デジが開発された際、半導体メーカーの位置付けは現在と異なった。高度化地デジが世に出るころには、各セットメーカーが独自に開発するテレビ用半導体ではなく、半導体メーカーが汎用品として売り出す半導体が主流になっていると考えられる。量産効果のためには、これが最も理にかなっている。

このような半導体の駆動ソフトは、基本部分は半導体メーカーが、拡張部分はセットメーカーが開発するのが一般的だ。

となると、規格化や運用規程作成には半導体メーカーの参加を得るのが自然の流れとなる。

現行地デジの規格は、無理な海外売り込みがなされた。叙勲の素材としては技術の海外売り込みは得点が高いが、無駄な体力消耗にならなかったか。今回、規格に参加する半導体メーカーがあるとすれば海外メーカーであり、それを巻き込む形での不透明な行いはできないだろう。

逆に、海外の半導体メーカーが高度化地デジに参加しない場合、合理的な価格でテレビを作れるのだろうか。メーカーが存在する規格でなければ、規格化の意味がなくなる。

次世代地デジの規格化に影響か

「運用規定」送受側双方が検討
懸念される参加メーカーの減少


運用規定の作成は、放送事業者（送信側）とメーカー（受信側）の緊密な協力が求められる（Inter BEE 2018会場風景）

次世代の地デジ（高度化地デジ）は、4K（UHD）が話題となるが、高解像度化は本質的な難しさを含まない。処理のためには、多くのケースを想定し、綿密な準備をすることになる。

★運用規定作成

「多くのケースを検討」といった準備は、メーカーが単独でするものではない。放送業界と電機業界、つまり送り手と受け手が共同で作る。これが運用規定だ。強制部分の規格は、法律に基づくので、ある意味容易だ。業界として多様な情報が多重化されて送られてきたものを、それぞれの用途に分配する逆多重化や、データ放送への対応はかなり難しいものとなる。

現在の地デジ方式が作成する規格は、使用する方式（変復調方式、符号化方式など）の大枠を決める。

しかし、規格（業界規格）の段階では、MPEGなどの規格が許す最大幅を見込むことになる。これは、現実には使わない過大なスペックとなる。しかし、規格に決められているとなるとテレビを製造するメーカーは、すべてに対応しなければならない。これは無駄である。

そこで、送受側双方が検討し「運用規定」を作成する。これは、実際の放送に使用するスペックで、規格からの絞り込みをしたものだ。規格には適合していても運用規定の範囲外の信号を受信した場合、メーカーは正常な動作を保証しない。

★誰が作成する

国内でテレビを開発するメーカーが今後も減った場合、高度化地デジ策定時に運用規定などを作成できるだろうか。現在の地デジ開発の際は、業界が力を合わせて運用規定を策定した。規定が必要な分野ごとに分科会を作り、議論する。

分科会に出席できるのは、規定作成団体への参加企業となる。製造受託企業が参加するとは考えがたい。十分な議論や試作、検証をするだけの参加が得られるのか、不安がある。

★半導体企業の参加を

現在の地デジが開発された際、半導体メーカーの位置付けは現在と異なった。高度化地デジが世に出るころには、各セットメーカーが独自に開発するテレビ用半導体ではなく、半導体メーカーが汎用品として売り出す半導体が主流になっていると考えられる。量産効果のためには、これが最も理にかなっている。

このような半導体の駆動ソフトは、基本部分は半導体メーカーが、拡張部分はセットメーカーが開発するのが一般的だ。



IP・クラウド・ライブ

Inter BEE 2021　17-19日　幕張メッセ



ライブ制作のIP化・クラウド化が本格化する（Inter BEE 2019より）

ＳａａＳで番組制作効率化

Ｉｎｔｅｒ ＢＥＥ 2021（主催＝電子情報技術産業協会）が11月17―19日の3日間、千葉・幕張メッセで開催される。2019年以来、2年ぶりのリアル開催（講演、セッション関連はオンラインで実施）となる今回、放送設備のIP化、クラウド化が焦点と言える。パナソニックはＩＴ／ＩＰプラットフォーム「ＫＡＩＲＯＳ（ケイロス）」を核に、オンプレミスとクラウドを組み合わせたIPライブリモートプロダクションのソリューションを提案。ソニーは、ＡＷＳ上のＳａａＳ（ソフトウエアアズアサービス）となるクラウド中継システム「Ｍ２ Ｌｉｖｅ」を発表するなど、ライブ制作システムの運用の幅が飛躍的に広がりそうだ。

制作業務ごとに最適なサービス

新型コロナウイルスによってあらゆる産業の共通目標となったＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）推進の波は、放送業界にも押し寄せている。中でも多くの機材と人員を要する中継やライブ番組の制作現場では、リモートプロダクションのニーズが急速に高まり、各放送局でさまざまな取り組みが進みつつある。

現在のＳＤＩベースの放送システムは、成熟しきったハードウエア群で、その安定感は非の打ちどころがない。クラウドを用いたライブプロダクション、リモートプロダクションのシステムが放送業界に定着するには、そのＳＤＩのシステムと肩を並べる必要がある。

Ｉｎｔｅｒ ＢＥＥでは、こうしたＩＰ・クラウドをベースとしたライブプロダクションのソリューションがどの程度、登場してくるのかが大きな焦点だ。

クラウドにおいては、ネットワーク性能を最適化するベンダー、配信系・プロダクション系のベンダーなどが求められるが、そうしたスキルを提供できるメーカーやベンダーがどの程度見えてくるのか注目される。

あるキー局の技術局幹部は「ＳａａＳサービスの放送システムはオンプレミスの設備が不要となり、中継車などの設備を現地に持ち込む形の番組制作を大幅に効率化できる。なにより放送局にとっては、系列局間などで中継・制作用の設備をリソースシェアができることが大きい」と話す。

パナソニックは、放送の現場プロセスイノベーションとして、リモートプロダクションに注力。リモートプロダクションの中核となる制作現場のＩＰソリューションとして、放送スタジオを中心としたＳＤＩ／ＩＰハイブリッド制作システム、配信までのワークフロー全体を提供する「ＫＡＩＲＯＳクラウドサービス」は、初期投資を抑えつつ、制作業務ごとに最適なサービスをつくり、組み合わせることができる。

パートナー連携のもと、継続的なアップデートで常に最新のサービスを提供できるのも利点。パナソニックは 同サービスを22年春から提供する予定だ。

撮影から編集・制作、スポーツやイベントなどライブ中継向けのＩＴ／ＩＰプラットフォーム「ＫＡＩＲＯＳ」、企業向けのＮＤＩシステムを展開している。

中核となるＫＡＩＲＯＳは、パナソニックのコアテクノロジーを結集した映像制作プラットフォームで、ＳＤＩ、ＩＰなど複数の映像フォーマット、多様な映像の入出力に対応し、ＭＥ数やキー数に制限されないマルチレイヤー構成で、多彩な表現を低遅延で実現できる。

Ｉｎｔｅｒ ＢＥＥでも、「ライブＩＰリモートプロダクション」を前面に出展する。メインブースでは、ＫＡＩＲＯＳのオンプレミスに加え、クラウドサービスを活用したリモートプロダクションを実演。映像・音声、照明、カメラ制御をリモートで実施する。

クラウド中継システム登場

ソニーは、映像制作業界のＤＸを推進するため、クラウド、ＩＰ、５Ｇ、ＡＩに開発の軸足を置き、ソリューションを展開。その中で今回、ライブ制作に対応するクラウド中継システム「Ｍ２ Ｌｉｖｅ」を発表した。

汎用のＳＲＴ、ＲＴＭＰの信号方式とソニーのカメラ、スマートフォンからのＱｏＳ（クオリティオブサービス）を使った映像信号をクラウドに伝送。スイッチングなどの制御ができる。

ソニー イメージングプロダクツ&ソリューションズ事業本部ＶＰの喜多幹夫氏は「出来上がった映像を作り込む部分ではクラウドの活用は進んでいたが、クラウドと通信の技術進化で、ライブでも十分に使えるところまできた」とＭ２ Ｌｉｖｅ発表の背景について述べる。

グラスバレーも、スイッチャーからオーディオミキサー、マスタープレイアウトまで一連の放送フローをすべてクラウドで実現できる「ＧＶＡＰＰ」を提案する。同社が持っているオンプレミスの設備をすべてクラウド上のＳａａＳとして提供するものだ。

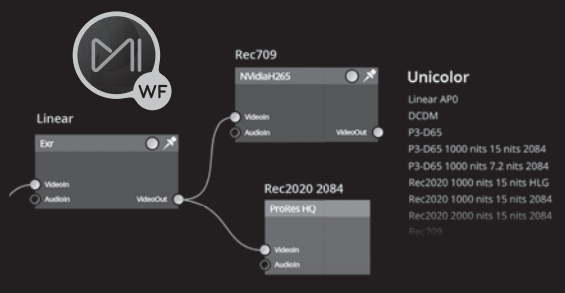
前出のキー局幹部は「放送設備がクラウド化、ソフトウエア化していくと、メーカーの差別化が難しくなるかもしれない。従来のメーカーやベンダーが、これまで培った技術を生かし、より便利で持続可能なサービスを提供してくれることを期待したい」と述べている。

Restar Communications Corporation　4K / 8K / HDR / VR / MA

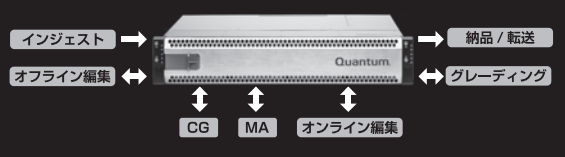
SGO mistika 10
mistika Ultima / Boutique
NEW Ver.10.4
最新バージョン Ver.10.4 リリース
カラーグレードメニューの拡充



mistika Workflows
ポスプロ向け！
ファイル処理の自動化アプリケーション。
RAW 現像、フォーマット変換など日々の定型業務の効率化



Quantum
H Series StorNext
アプライアンス・ストレージ
映像制作における様々なシーンで
ご利用いただけます



Cloud ワークフロー &
Audio/Video Editing ワークフロー
dalet　AVID

高精細 LED ディスプレイ
CREATELED®

内装建築・デザインコーナー



出展いたします！
Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2021
幕張メッセ会場：11.17水 ⋙ 19金
オンライン会場：11.17水 ⋙ 12.17金
幕張メッセ会場・オンライン会場ともに全日程でデモを開催いたします。予約受付中

HALL 8
Booth No. 8110

株式会社レスターコミュニケーションズ
東京都品川区北品川5－9－11 大崎MTビル3F・4F
TEL：03-3445-2070　Mail：info_mk@restarcc.com
restarcc.com

DX背景に多彩な製品

Inter BEE 2021

2年ぶりのリアル開催

映像制作フローを効率化

キーワードは「高速・大容量・柔軟性」

2年ぶりのリアル開催となるInter BEE 2021（11月17―19日、千葉・幕張メッセ）の機器展示には、200社以上が出展する。映像制作領域におけるDXの高まりを背景に、映像制作のワークフローを効率化する多彩なデジタル製品、ソリューションが提案される。キーワードは「高速・大容量・柔軟性」。各社の主力展示にスポットを当てる。

ミハル通信は、開発中の8K HEVCエンコーダー／デコーダー「EL8K」を使い、自社ブースと都内特設会場を公衆回線で結んで、8K映像の掛け合い伝送デモを実施する。

開発中の「EL8K」はコーデック間では約30ミリ／秒の超低遅延伝送が可能だ。

ジャパンマテリアルは映像伝送ソリューションを中心に、新たなソリューションを提案する。

リモートプロダクション・ウェブキャスティング向けエンコーダー・デコーダー「Matrox Monarch EDGE」は、最大3840×2160（4：2：2@10ビット）1系統、3G SDI 4系統同時エンコード可能なエンコーダー／デコーダー。ブースでは、4Kリモートプロダクションのデモを実施する。

伊藤忠ケーブルシステムは、マルチフォーマット、マルチプラットフォームなど、柔軟性に優れたFacilis Technology社の共有ストレージ「Facilis HUB共有ストレージシステム」を出展する。

一筐体で4K60pマルチストリーム／リアルタイム再生を可能にするウルトラハイパフォーマンスを訴求する。遠隔地とのリモート合奏を遅延ゼロで実現する「Elk LIVE」にも注目だ。

ユニテックスは、世界唯一というUSB接続テープ装置に、最新LTO―9ドライブを搭載した「LT90Hシリーズ」を出展。LTO―9ドライブは、LTO―9カートリッジおよびLTO―8カートリッジの入出力が可能。LTO―9カートリッジは、1巻あたり18テラバイト（2・5：1圧縮時は45テラバイト）の大容量データ保存が可能だ。

イメージニクスは、10ギガバイトEを活用しフル4Kボックスの2種類を用意。それぞれの環境下で動作デモを実演する。

アストロデザインは、オフグリッドスタジオ映像撮影、編集、配信などに必要な機能を1台の車両に装備するとともに、発電機を搭載し、電源車としての機能も兼ね備えた移動スタジオ「ATOM. S（アトムス）」を出展。ライブ中継や屋内外イベント、スポーツなどの幅広いジャンルで活用できる。車両や機材のカスタマイズも可能だ。

ビジュアル・グラフィックス（VGI）は、10月に取り扱いを開始したWasabi Technologies社のAWS S3互換オブジェクトクラウドストレージ「Wasabi Hot Cloud Storage」と、映像編集の共有サーバーとして国内にも数多いユーザーを持つEditShare社のEFSシリーズから、AWSクラウド上での編集協調作業に対応する「EFSv」を用いたクラウド制作のためのシステムソリューションを展示する。

コスミックエンジニアリングは、「リモートプロダクション」「放送システム集約化」をアシストする。

オンリースタイルは、スタジオサブ・送出システムなどで急速に導入が進んでいる、コンパクトルーティングスイッチャー「gen router」をデモするほか、12G―SDIベースの放送システムが容易に構築できるモジュールシステム「C5000」、光ファイバー伝送カメラアダプタシステム「SCAシリーズ」のSMPTE ST 2110、DANTE対応モデルを発表する。

マウスコンピューターは、高性能ワークステーション「MouseProo―W997DA6」をはじめ、クリエイター・VTuber／ビジネス、DX／テレワークモバイルの各PC、iiyamaディスプレーを展示。

中継車・回線センター・レンタルサービスを展開しているバッテリー式電源装置「エコパワーシリーズ」を展示する。撮影・中継現場、ロケバス車内、イルミネーション、イベント会場、監視カメラ、ドローンの充電など、電源が必要とされるさまざまなシーンでの電源確保に幅広く利用されている。

ニッキャビは、マルチデスク「spaceRAILシリーズ」から、よりスタイリッシュなデザインとオプションパーツを充実させた「spaceRAIL アルファ」を初出展。さらにマイナーチェンジして、より高品位かつ静音性能の向上を図った新型静音ラック「SRC series」も初披露する。

K―WILL（オンライン展示）は、ITUやARIBなどの国際／国内の標準規格に準拠し、FR、RR、NRの3つのコア技術を縦横無尽に張り巡らせ、多様なファイルフォーマットに対して、全方位QC（品質管理）ソリューション「いつでもどこでもQC」を提供する。



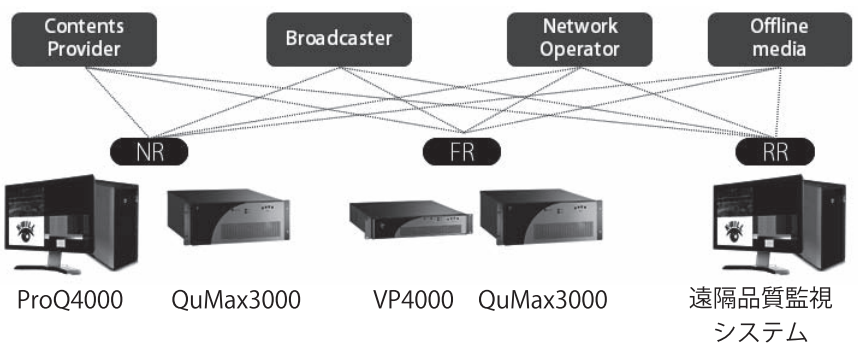
2年ぶりのリアル開催となる（Inter BEE 2019より）

「リモートワーク」、「働き方改革」を実現する新提案



全方位 QC ソリューション
「いつでもどこでも QC」

制作、受け入れや送出などの各プロセスごとに、映像・音声の
品質担保のための最適な QC(Quality Check) をご提案いたします



・1.5G ～ 12G、FR/RR/NR をハードウェア / ソフトウェアで実現した製品群
・ITU や ARIB 等の国際 / 国内の標準規格に準拠
・各プレーヤーのニーズにきめ細かく応える監視 / 評価機能
・AI 技術を投入し、障害の判定を機械学習

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2021
11.17 Wed ≫ 12.17 Fri Online Exhibition

弊社 Web サイトの「What's new」にリンクをご用意しております

株式会社 K-WILL
www.kmw.co.jp/
〒194-0001 東京都町田市つくし野 3-23-41　マルビシビル 2 階
TEL: 042-788-3834（営業部）FAX: 042-788-3835

KVM OVER IP システム

High Performance
4K IP KVM



画質劣化なし
カラーグレーディングや CG 制作に

ADDERLINK INFINITY

世界で最も信頼性とパフォーマンスの高い KVM マトリクス システム。
2K までの コストパフォーマンスが高い ALIF-1000/2000 シリーズ。
4K に対応した ALIF-4000 シリーズ等、様々なモデルを用意しています。
従来のシステムに組込むことも、どのような組合せでも運用可能です。

TIDE
TAC Import, Distribution & Export
タックシステム株式会社IDE事業部
www.tacsystem.com
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-5-1　Tel：03-3442-2955

Inter BEE
International Broadcast Equipment Exhibition
ホール 8　ブース No.8303

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 1

リモートプロダクションを実演

パナソニック

【ブースNo.5108/6413】

映像制作/放送関連機材部門（ブースNo.6413）では、『制作現場を変えるLIVEIP×リモートプロダクション』をテーマに、リモートプロダクションを活用したボウリング対戦のライブ配信実演やKAIROS（ケイロス）、カメラ、照明を展示。プロオーディオ部門（ブースNo.5108）では「設備音響に求められる音作りの最適化」として、RAMSA製品やワイヤレスマイクロシステムを出展する。



AW-UE80W/K

2022年春に開始する「KAIROSクラウドサービス」は、「撮る・創る・映す」のワークフロー全体をサポートするクラウド型サービス。分散作業による時間短縮や、撮影素材をクラウドへ集約することで時間や場所に制約されないワークフローを実現し、他社連携により将来的な機能拡張も提供する。

リモートカメラ新製品として「4Kインテグレーテッドカメラ AW-UE80W／K」など、プロ向けから低価格帯モデルまで規模や用途に合わせて選べる全5機種を発表する。

プロオーディオ関連は、RAMSAラインアレイスピーカー「WS-LA4WP/WS-LA500シリーズ」や新製品のポイントソーススピーカー「WS-HM5000シリーズ」、デジタルミキサー「WR-DX350」など新製品を中心に展示。また、文教・企業向けの1.9GHz帯デジタルワイヤレスマイクシステム「WX-SR200Aシリーズ」などをそろえる。

富士フイルム

【ブースNo.7207】

B4マウント・4Kレンズ（放送用レンズ）は、高精細な撮影を可能にする「4K・UAシリーズ」ならではの次世代映像ソリューションを展示する。

「UA13×4.5」は、4Kを超える解像力と高コントラスト、高ダイナミックレンジで、4.5㍉の超広角撮影と最短撮影距離0.3㍉㍍を実現したワイドズームレンズ。超高精度大口径非球面レンズ採用により超広角で生じやすい画像の歪みや周辺解像力の低下を極限まで抑制、またズーム全域での高解像度撮影を可能にした。

「UA80×9 1.2x EXT」は、現行品の「UA80×9」に1.2倍エクステンダーを内蔵した高倍率ズームレンズ。「Premista19-45mm」は、19-45㍉の焦点距離をカバーする広角ズームレンズ。クリアで自然なルックを持ち、映像の中心部から周辺部まで高い解像力を発揮する。

武蔵

【ブースNo.8106】

素材送出機器の各種標準コントローラー/特注コントローラーを開発製造する武蔵は、スタジオ用素材送出用、スポーツ中継用スローリプレイ/ハイライト編集等の各種制御システムをハードウエア・ソフトウエアを融合したローコストで使いやすいコントローラーとして提供する。

また、マルチ入力マルチ出力可能なビデオサーバー、SIMPLYLIVE社製オールインワンプロダクションシステム等スポーツ撮って出し用、スタジオ素材送出用、インジェスト用の各種ビデオサーバーの製造販売もする。

新製品として、QUICKLINK社のインターネットを利用した、リモート出演/リモート中継/リモート取材ができるインターネット通信によるリモートプロダクションシステムを展示する。



QUICKLINK製リモートプロダクションシステム

Mistikaの最新版を国内で初展示

レスターコミュニケーションズ

【ブースNo.8110】

「SGO Mistika テクノロジー」「スケールアウト・ストレージ」「Cloud ワークフロー」「Audio/Video Editing ワークフロー」「高精細LEDディスプレー」「内装建築・デザイン」など、次世代の映像制作に欠かせない最新ソリューションを訴求する。



Mistika

10月にリリースされたMistikaの最新バージョン10.4を、国内初展示。インタフェースのリニューアルやカラーグレードメニューの拡充など大きく進化を遂げたMistika10から、さらにパワーアップした。各種RAWファイルへの対応拡充や新機能追加などにより、さらなるユーザービリティの向上を図った。

Quantum Hシリーズの新製品「Quantum H4000」は、高性能ストレージアプライアンス。最新のStorNext7ファイルシステムを搭載し、Software-Defined Architecture技術により、2U筐体に必要なすべての機能が含まれている。高い信頼性により、編集環境の生産性向上を実現する。柔軟な拡張性を生かし、4K8Kといった大容量で高速なストレージシステムとしても構築可能。

Audio/Video Editing ワークフローでは、「Avid | Edit On Demand」として、Media Composerクラウド編集とアビッド NEXISクラウド・ストレージを備えた、SaaS型のポストプロダクション向け仮想編集環境を提案する。



特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 2

ラージセンサー搭載カメラ新製品

ソニー／ソニーマーケティング

【ブースNo.7313】

撮影関連では、スーパー35㍉4K単板CMOSイメージセンサー搭載のマルチフォーマットポータブルカメラ「HDC―F5500」を初出展。また、幅広いラインアップで、プロクリエイターの映像制作をサポートする「Cinema Line」、ハンディカムコーダーおよびデジタル一眼レフカメラ「α（アルファ）」を展示する。

「HDC―F5500」はシステムカメラの使い勝手を踏襲しながら、ラージセンサーならではの浅い被写界深度によるぼけ描写を生かした映像表現が可能。カメラコントロールユニット「HDCU―5000/ HDCU―5500」と接続することで、光ファイバーケーブル1本での長距離伝送、リモートコントロールパネルやマスターセットアップユニットからのリモート制御、インターカムやタリー、リターン機能に対応し、マルチカメラ制作に適している。



HDC-F5500

また、映像制作ワークフローを一新するカメラ連携クラウドサービス「C3 Portal」、効率的なメディア管理・運用を実現する統合プラットフォーム「Ciメディアクラウドサービス」、コンテンツ制作におけるAI活用をより身近にするAIプラットフォームサービス「Media Analytics Portal」など、AIやクラウドを活用したソリューションを訴求する。

αシリーズの搭載ができるドローン「Airpeak S1」は、独自開発のモーターやプロペラ、制御システム、センシング技術などにより、最高速度90㌔㍍/時と最大20㍍/秒の耐風性能を有しダイナミックかつ緻密な飛行が可能となっている。

このほか、AI技術を活用して省人力化に貢献できる「オートフレーミングソフトウエア」を実演、小型ライブプロダクションスイッチャー「XVS―G1」を国内初展示する。

IPパビリオンでは、IPライブデモカーを展示し、相互運用性の実証デモを実施する。

アスク・エムイー

【ブースNo. 6109】

「リモート相談コーナー」と「リモート映像制作・体験コーナー」において、これからの映像制作を支える取り扱い製品の統合ソリューションを提案する。

リモート映像制作・体験コーナーでは、遠隔地に設置したアスク・エムイー取り扱いの「PTZカメラ」やライブ映像制作システム「TriCaster」を、展示会場からリモート操作を体験できる。

VR/AR技術によるバーチャルプロダクションでは、動画配信システムを利用した映像制作、PTZカメラやNDIを活用した撮影スタイル、ネットワークベースの収録/送出ソリューションなどを訴求。メディアの管理や変換、品質管理に掛かる時間を削減するなどの特徴について説明する。

CHIEF／映像センター

【ブースNo.6110】

プロフェショナルマウントブランド「CHIEF（チーフ）」の新商品を中心として、フラットパネルディスプレー、プロジェクターのさまざまな設置スタイルを提案する。また、BoseのVideobar VB1やBarcoのクリックシェアとCHIEFのコンパクトスタンドを組み合わせたソリューションも提案。

壁掛マウント・電動昇降タイプ「XSD1U」は、昇降ストローク660㍉㍍の電動昇降機能付き壁掛け金具。テレビ会議、電子黒板、プレゼンテーションなど利用方法によって最適な高さに調整ができる。80型クラスのディスプレーモニターにも対応する。

ディスプレースタンド・電動昇降タイプ「LPE1U」は、画面最大高さ1723㍉㍍の電動昇降タイプ。幅広い高さ調整範囲の特徴を生かしてサイネージスタンドとしての利用も可能。

モバイル映像配信ソリューション

三信電気／LiveU

【ブースNo.7307】

「LU800シリーズ」は、マルチカメラ、5G回線対応、4K HDR伝送、最大ビットレート70Mbps（将来対応）などLiveUの最新技術が凝縮された最上級送信機シリーズ。会場ではマルチカメラ機能を中心に説明する。マルチカメラ機能では、複数の映像を高画質で配信する「マルチHQモード」と、良好な通信環境が確保できない場合に役立つ「スイッチャー・モード」が選択可能。

「LU600」「LU300」は地上波、CATV局、IPTVなどで浸透しているスタンダードなLiveU送信機。いずれもLiveU独自のLRT技術で複数のLTE回線を利用しHEVCによる高品質で安定した映像伝送に実績がある。

LiveUは遠隔地からのモバイル映像配信ばかりでなく、映像の送り返し（ビデオリターン）やタリーコントロール、IP―PIPEなど番組制作に役立つ便利なオプション機能が充実している。LiveUのビデオリターンサーバーからは、映像をLiveU送信機または任意のブラウザー端末に送り返すことが可能。



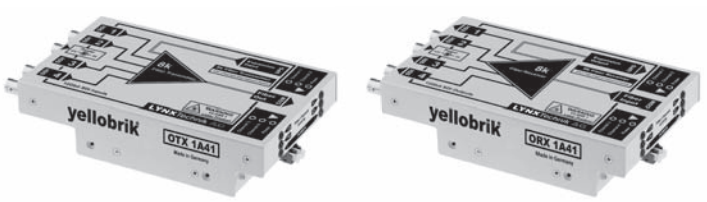
LU800 Proシリーズは最大4chまでのHDマルチカメラ入力をサポートする

8K ファイバー伝送システム　yellobrik Made in Germany

12G-SDI Quad-Link または 12G/6G/3G/HD/SD-SDI信号4系統を非圧縮による高品質・低遅延での伝送に対応

OTR 1A41　波長：1270nm, 1290nm, 1310nm, 1330nm

OTR 1A42　波長：1350nm, 1370nm, 1390nm, 1410nm

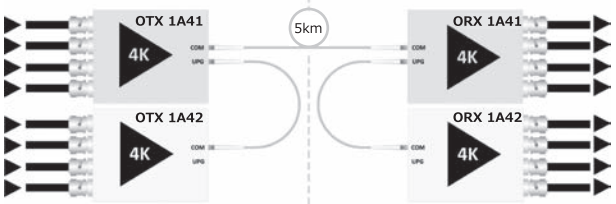


主なアプリケーション：シングルモードファイバー1心での多チャンネル伝送

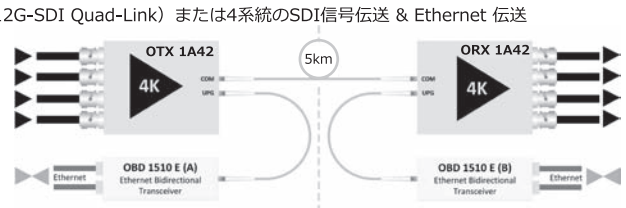
8K信号（12G-SDI Quad-Link）または4系統のSDI信号（12G / 6G / 3G / HD / SD - SDI）伝送



8K信号（12G-SDI Quad-Link）2系統または8系統のSDI信号（12G / 6G / 3G / HD / SD - SDI）伝送



8K信号（12G-SDI Quad-Link）または4系統のSDI信号伝送 & Ethernet 伝送



LYNXTechnik AG®

株式会社ガンスイ
http://www.gansui.com
Tel:049-265-5524 Fax:049-265-5534

Inter BEE 2021
小間番号 :8202

ASTRO

22.2ch Chair Style Speaker
TamaToon
SA-1852



シェルの内側に24個の高性能スピーカーを配置し豊かな立体音響を実現する
22.2chチェアスタイルスピーカー “TamaToon”

省スペースで構築できるイス型スピーカーです。
22.2chのみならず、ステレオやDolby Atmosの音場をよりリアルに体感できます。

Inter BEE 2021に出展します
Broadmedia & Entertainment Inter BEE
2021年11月17日(水)～19日(金)
幕張メッセ
映像制作/放送関連機材部門
6ホール　小間番号：6301

ONLINEは こちら ▶

アストロデザイン株式会社
事業本部(営業) 〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2 TEL:03-5734-6301
大阪営業所　〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010 TEL:06-6328-8558

https://www.astrodesign.co.jp

電源レンタル エコパワー 利用事例

紙面作成 オンリースタイル

蓄電型電源レンタルエコパワーの利用が広がっている。実際に利用した各担当者のコメントを紹介。

各社様のご利用概要

路面電車から生中継

中国放送様

広島原爆投下から70年目の8月6日に行われたNEWS23の広島原爆の日のスペシャル番組で当時の被爆しながらも残った市電が今でも大切にメンテナンスされていて走れる状況になっているので、その中から女優の綾瀬はるかさんに移動しながら生中継をしてもらうという企画でした。JNN系列の看板ニュース番組なのでミスは許されず特に電源に関・・詳細はWebへ



祇園祭山鉾巡行の中継

京都放送様

2014年、49年ぶりに祇園祭の後祭巡行が復活。河原町御池交差点にもカメラを配置し中継放送を実施。AC電源確保出来ず移動式発電機などの騒音を出す電源の配置は困難で、Vマウントバッテリーの4連エクステンダーで、映像伝送のためのFPUに電源供給をしていましたが、バッテリー容量の問題から継続的な運用が困難だった。そこで2015年はエコパワーをレンタルし安定した電源が確保できた。2016年もエコパワーを現用・予備として2台レンタル。300Wの・・詳細はWebへ



野外ロケの電源確保

アストロデザイン様

撮影場所が観光地という事もあり、ガソリン発電機が使用できない環境であった為、騒音・排気ガスが無いエコパワーが非常に役立ちました。

川沿いの岩場での撮影や川下り船へ乗船しての撮影では、小型大容量のおかげで十分な電力を確保でき、安心して撮影を行う事ができました。ミニキャリーカートへ積み込み、そのまま撮影場所を移動する事も容易だったため、多くの場所で撮影ができました。

・・詳細はWebへ



検証撮影

ユーツー様

屋外でカメラ製品4台、PC2台を同時稼働でしたが問題なく電力供給できました・・・詳細はWebへ



マラソンイベントの中継

関西テレビ放送様

Wings for Life World Run 2015で全世界配信・地上波放送の依頼がありエコパワーを利用。20時にスタートするマラソンということもありランナーに照明をあてないと収録できない。先頭ランナーが最低でも4時間、最大で5時間強走り続ける。その間バッテリ交換をするタイミングがまったくない。真っ暗な街での開催のため、ある程度の消費電力のライトを使用しなければならない。先頭ランナーを撮影する車に発電機を搭載すると、その騒音で選手の音声が取れない。発電機の排気ガスを換気する必要性と・・詳細はWebへ



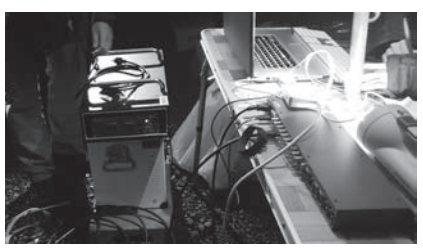
TVCM撮影の電源確保

大日様

TVCMは、森の中でプロジェクションマッピングをし、その様子を撮影するもの。森の中で電源を確保するため使用。6400はキャスターがついていたので傾斜がきつい坂道もそこまで苦労せず運べました。

また、山の中ですが正常に動いてくれて大変助かりました。2500Wも同じく山の中で正常に動いてくれて助かりましたが、もうちょっと持ち運びが楽だと助かると思いました。滅多に山にはもって行かないでしょうから、通常はそこまで気にならないのかもしれません。





電源のない屋内外で電気が使える！

映像放送機器の電源確保に最適！



安心・安全　ガソリン不要　騒音ゼロ　排気ガスゼロ

実績多数、信頼の電源レンタル エコ・パワー シリーズ



ECO-POWER 2500



ECO-POWER 5000
※単相 200V 出力もあり

防滴防塵・可搬型電源装置
ECO-POWER 2500 wp+

WEB サイトに放送局様など多数のご利用事例を掲載しております！

電源レンタル専門店　検索

全国配送可能 ￥19,800（税込）～

電源レンタル専門店　株式会社オンリースタイル

〒165-0031 東京都中野区上鷺宮 3-16-9 オーエスビル
平日 10 時～18 時　0120-511-550　info@onlystyle.jp

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 3

8K映像を超低遅延・長距離で伝送

ミハル通信

【ブースNo.7308】

開発中の8K HEVCエンコーダー/デコーダー「ELL8K」を使いミハル通信ブースと都内特設会場を公衆回線で結び、8K映像の掛け合い伝送デモを実施する。ELL8Kは、コーデック間では約30ミリ秒の超低遅延伝送を可能にするが、伝送デモでは8Kカメラ映像をELL8Kでエンコード、公衆回線経由で約50キロ離れた都内特設会場に伝送し、デコードした8K映像を8Kプロジェクターに映す。特設会場から幕張メッセ側にも同様の伝送をして、8K映像の超低遅延を体感できる。

また、イス型スピーカーをブース内でデモ展示する。イス内部にある複数スピーカーにより、高品質なサウンドも体験でき、音声多チャンネル伝送も実現できる。

ELL8Kにより、5Gなどの一般公衆回線を使っても超低遅延で8K映像伝送が可能になる。今後、コンサートなどのエンターテインメント、医療、交通インフラ、監視などさまざまな産業分野にELL8Kによる新しいアプリケーションが期待される。



ELL8K

ＴＢＳグループ

【ブースNo.6412】

ブランドプロミス「最高の〝時〟で、明日の世界をつくる。」をベースに、TBSグループが目指しているものを知ってもらう、自由な発想でゼロから積み上げ、TBSを表現する場とする、来てよかったと思える時間を提供し、TBSのファンになってもらう――をコンセプトに展示する。

展示内容は局内各部門の若手が企画。ブースは、セットは置かず、床面を含めた巨大LEDモニターのみの形をとり、TBSが番組で実現している最先端の技術などを、タイムテーブルに沿って披露する。

注目は、『CDTV ライブ！ライブ！』で実際に使用中のリアルな照明・電飾が CG内と連動する「イルミリンク」。現役ダンサーが1日3組、計9組出演し、パフォーマンスを繰り広げる。また、テレビのクイズやアンケートに、数百万人がリアルタイムで参加・即時の順位発表が可能な「TBS Qs」（『ザ☆ HIRAMEKI』、『選挙の日2021』などで使用）のコーナーでは、会場で実際にクイズが体験できる。TBSテレビの宇内梨沙アナが、リモート出演システム「TBS BELL」を活用して、赤坂からリモートでゲーム実況をするコーナーもある。

さらには、TBS各部署から、技術、デザイン、SDGsなど計15のセッションを設ける。

ＮＨＫ

【ブースNo.5419】

JEITA（電子情報技術産業協会）と共同出展。NHKのサービスや技術的な取り組みを、「あまねく伝える」「4K8Kコンテンツ」「未来のメディア」の3つのテーマで披露する。

「あまねく伝える」では、利用登録申請数が240万件を超えた「NHKプラス」について、地域向け番組の一部を見逃し配信する「ご当地プラス」などサービスの魅力を伝える。一方、災害関連情報をスマートフォンでいち早く伝える「NHKニュース・防災アプリ」について、AIを活用したCGキャラクター「ニュースのヨミ子」が説明。ユニバーサルサービスでは手話CGの最新状況を示す。

「4K8Kコンテンツ」は、放送開始から間もなく3年を迎える4K8K衛星放送の魅力と、適切な受信方法を説明。また「8K文化財プロジェクト」の展示では、高解像度で3Dスキャンした文化財をゲームコントローラーを操作して自由なアングルで切り出し、8K映像で閲覧体験できる。

「未来のメディア」では、日常のあらゆる生活空間で、いつでも好みの機器を使って没入感・臨場感あふれるコンテンツを視聴・体感できるメディア環境を示す。

さらにAR・VR技術を活用した「空間共有コンテンツ視聴システム」などを体感できる。また、放送番組と通信からの配信コンテンツを、経路を意識することなくスムーズに切り替えて視聴できる新たな地上放送サービスイメージの一例を紹介する。

リモート環境とシステム集約提案

フォトロン

【ブースNo. 6113】

フォトロンのブースでは、『To the Next Standard』をコンセプトに、リモート環境とシステム集約化による、映像制作における新たな業界標準となる〝The NEXT〟ワークフローを提案する。

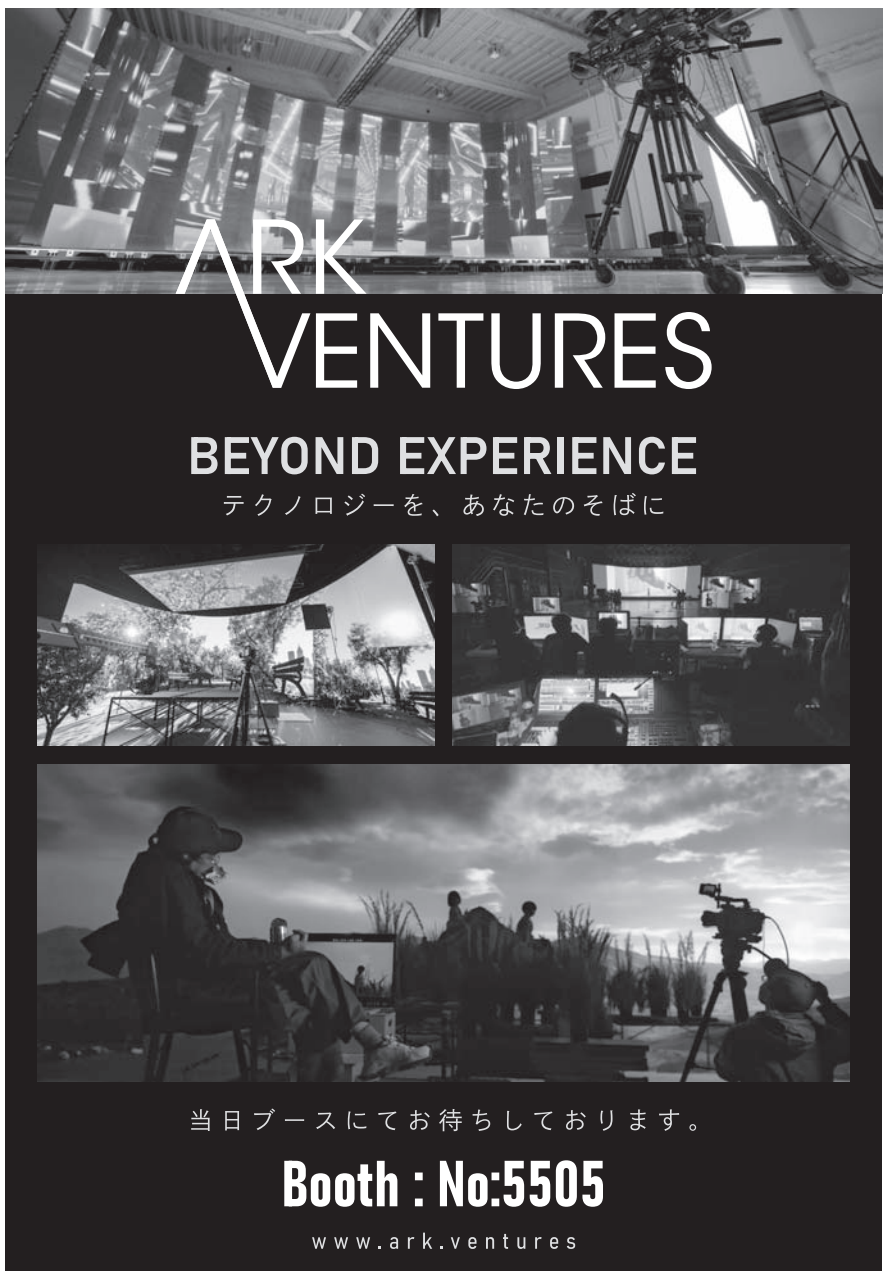
リモート編集やリモート制作、そして効率的なシステム運用を実現するセントラライズ収録システムを展示。フォトロン本社（東京都千代田区）と展示会場（幕張メッセ）をインターネット接続し、リモートオペレーションによるワークフローを実機で体験できる。

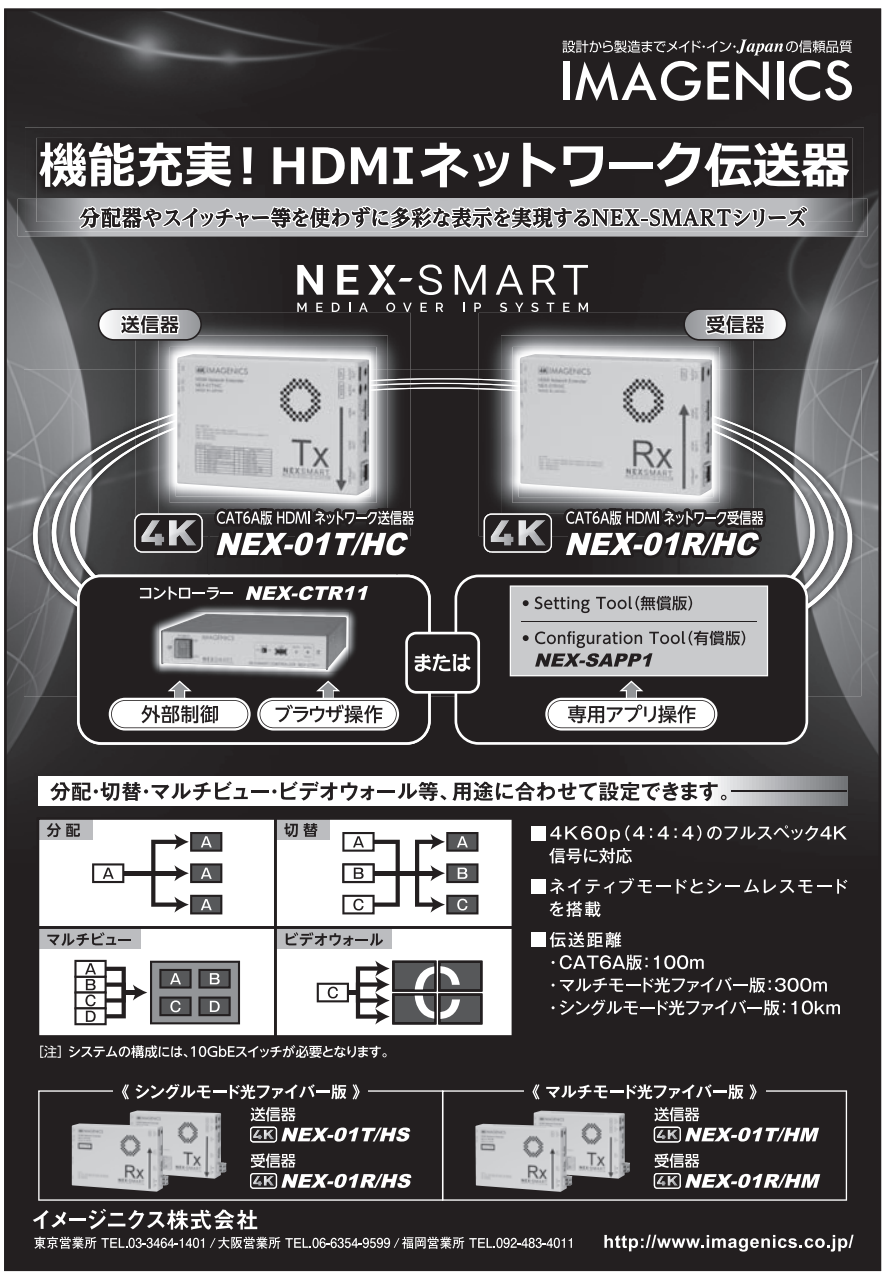
同時開催の特別企画展「Inter BEE IP Pavilion」への参加も予定。EVS社ハイエンドライブプロダクションサーバー「XT-VIA」と、フォトロンブースのEVS社最新リモコン「LSM-VIA」をIP接続し、フォトロン独自のリモートライブプロダクションを提案する。

そのほか、XRライブシステム、クラウドベースコンテンツ管理サービス、AI自動文字起こしサービスなど、フォトロンならではのソリューションやサービスを幅広く披露する。



実機を使ってリモートオペレーションによるワークフローを体験できる





特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 4

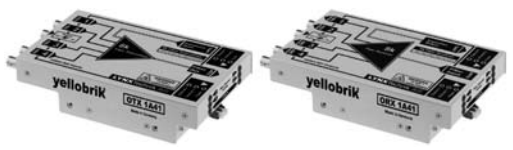
ガンスイ

【ブースNo. 8202】

筐体セクションでは放送局マスタールームやスタジオサブで使用されるコンソールを新たな時代に向けた新デザインで展示する。実際の運用をイメージできる、モニター架も設置する。

ドイツLYNX Technik社ではクワッドリンク仕様の8Kコンバーターを発表。光ファイバー1本でリモートカメラ映像と制御信号を遅延なく送信可能なシステムの実演もする。リアルタイムHDR→SDR変換器の実例をビデオ解説する。

主な展示内容は、「8K（12G-SDI Quad-Link）光ファイバー伝送システム:OTR 1A41」、「OTR 1A41/OTR 1A42/OTX 1410・ORX 1400:12G-SDI信号の非圧縮・超低遅延伝送システム」、「OTX 1712-2/ORX 1702-1:アナログSync Video 光ファイバー伝送」、「GreenMachine Evie+:HDR to SDR ダイナミック変換」。



OTR 1A41

車両1台で撮影・編集・配信まで

アストロデザイン

【ブースNo.6301】

オフグリッドスタジオ「ATOM'S（アトムス）」は、映像撮影、編集、配信などに必要な機能を1台の車両に装備。発電機を搭載し、電源車としての機能も兼ね備えた移動スタジオ。ライブ中継や屋内外イベント、スポーツなどの幅広いジャンルで活躍する。

22.2chチェアスタイルスピーカー〝TamaToon〟「SA-1852」は、8K放送 22.2chオーディオ対応のチェアスピーカー。シェルの内側に24個の高性能スピーカーを理想的に配置し、最新シアター設備にも匹敵する立体音響を実現する。

ケーブルテスター「CT-1860」は、高速伝送ケーブルの伝送特性を容易に測定できるテスター。



オフグリッドスタジオ「ATOM'S」

Body Camera「ACW-P5000」は、撮影＋通信＋通話のすべてを1台で完結し、LTEとWi-Fiでリアルタイムにクラウド通信するウェアラブルカメラ。警備や監視、建設現場などの状況を音声付きの動画として記録することで「人が持つドライブレコーダー」のようなイメージで活用できる。

デル・テクノロジーズ

【オンライン】

昨年のエミー賞Technology & Engineering Awardを受賞した「PowerScale」の新製品を披露。メディア業界では長く活用されているハイエンドストレージ「Isilon」は、昨年「PowerScale」へとリブランドを実施。10TB未満の小規模環境から導入が可能となったことで、急速に導入企業が増えている。

今年発表した新製品は、圧倒的なパフォーマンスを誇るオールフラッシュモデルや、従来からさらにコストパフォーマンスに優れたモデルを用意し、データ管理に悩む幅広いユーザーのニーズにマッチするよう製品群を拡充した。また、最新CPUやGPUを搭載可能で業界トップシェアを誇るワークステーション、Precisionシリーズについて説明。さらに4Kや8Kだけでなくポータブルタイプのモニターなど、各種ラインアップをそろえる。

ローランド

【ブースNo.7601】

出展テーマは、「ハイブリッドイベントワークフロー」、「音響関連業者にもおすすめのライブ配信用ビデオ製品」、「4Kソリューション」で、9月発売のビデオスイッチャー新製品「V-02HD MKⅡ」、新バージョンが公開されたばかりの「V-8HD Ver.2.0」など多数の製品を展示する。来場者限定のキャンペーンも予定。また、期間限定でビデオ製品のセミナー動画を公開する（https://us.msgs.jp/c2/btL4v?t1=zqP&t2=36Zpr3uDj9B&t3=qh2jq）。

主な展示機種は、ビデオスイッチャー「V-600UHD/V-160HD/V-60HD/V-8HD Ver.2.0 V-1HD+/V-02HD MKⅡ」、AVミキサー「VR-50HD MKⅡ/VR-4HD/VR-1HD」、ビデオコンバーター・インスタントリプレイヤー「VC-100UHD/P-20HD」。

気象データを解析し情報画面作成

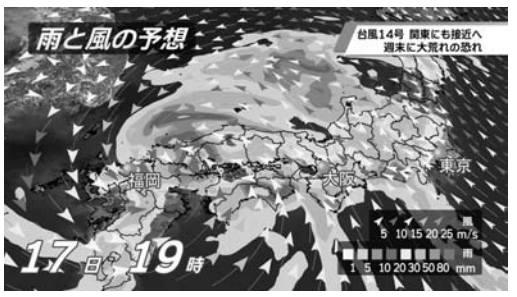
クロスイメージング

【ブースNo.7306】

クロスイメージングは、テレビ局向けの3D気象情報作画システムをはじめ、ラジオ局向けの防災情報自動アナウンスシステム、CATV局向け気象防災情報送出システムなどの設計開発をするとともに、保守業務まで一貫したサービスを提供している。

3D気象情報作画システムは、気象庁および民間気象会社などから送られてくる気象データを解析し、放送送出用の各種気象画面（動画・静止画・連番静止画）を作成することができる。今回の展示会場では、「BOLT」での風の流線作画において、レンダリング速度を格段に高速化した「BOLT Ver.2」を発表する予定。

防災情報自動アナウンスシステムも既に導入実績があり、夜間早朝帯の災害発生時には、担当者が不在でも迅速に防災情報を伝える手段として活用されている。取り扱い可能な防災データは、緊急地震速報のほか、気象特別警報や津波警報、噴火警報、竜巻注意情報などがある。



BOLT Weather Station

クリエイター向けPCの機能拡充

サードウェーブ

【ブースNo.7603】

今年から取り扱いを始めたオートデスク製品、アドビ製品を中心に、各ソフトウエアをインストールしたPCを展示する。

クリエイター向けデスクトップPC「raytrek」とオートデスク主要製品の1年サブスクリプションとの同時購入モデルが登場。用途に合った製品が選べる。また、ビジネス向けデスクトップPCの「THIRDWAVE Pro」とアドビ主要製品の1年サブスクリプションとの同時購入モデルも用意している。


raytrek

一方、ビジュアル・グラフィックス（VGI）が、ユーザーが求める「性能」と「費用対効果」を追求して作り上げた「MPCVシリーズ」のハードウエアを提供しているが、今回の展示会では同モデルをAdobe Premiere Pro CCをインストールした状態で展示する。

なお、サードウェーブブース内でオートデスクによる「3DS MAXミニセッション」（17日13時-13時15分、18日15時-15時15分）、「MAYAミニセッション」（17日14時-14時15分、18日16時-16時15分）を開く。



特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 5

EDIUSの最新バージョンを披露

グラスバレー

【ブースNo.6208】

多くの放送局で採用されているEDIUSの最新バージョンである「EDIUS X Workgroup」、新製品「T2 4K Plus」のほか、ライブに必要とされるレスポンスと精度を満たすために設計された、スケーラブルなSaaSプラットフォーム「GV AMPP」を展示する。

ノンリニアビデオ編集ソフトウエア「EDIUS X Workgroup」は、要望が高かったバックグラウンドレンダリング機能を搭載。レイアウターモーショントラッキング機能を追加し、「追跡モード」と「固定モード」を新設した。

T2 4Kシリーズでは、入力（SDI×4系統）と出力（SDI×4系統）を個別に備えたIOボード搭載の「T2 4K Plus」が登場。最新バージョンでは、HD3チャンネル再生/収録（Elite/Proのみ）や新フォーマットに対応など、多くの機能の追加が可能となっている。



EDIUS X Workgroup

「GV AMPP」は、放送向けクラウドベースのSaaS製品。必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるアプリケーションソフトを提供する。

ブラックボックス・ネットワークサービス

【ブースNo.7613】

離れた場所からの編集作業などを可能とするKVMの各種ソリューションをはじめ、SDVoEを活用したAV over IPの各種ソリューションを訴求する。

遠隔制御KVMソリューションコーナーでは、シンプルな1対1の延長から多対多のマトリクス構成まで、コンセプトの異なる複数種類のKVMを動態展示。利用シーンに応じた最適なシステムを提案。

映像配信AV over IPソリューションコーナーでは、IPネットワークで4K60Hz 4：4：4の映像を劣化させずに延長、分配、マルチビューなど可能なSDVoE対応製品を展示する。直感的に操作可能なコントローラーのデモと合わせ、SDVoEシステムの遅延比較、画質劣化有無の体験が可能。

H.265に対応した新製品をリリースに先駆けて先行展示を予定。4K映像でも数Mbpsの低帯域だけで、ネットワークを超えた配信が可能になっている。

今回は4小間に規模を拡張して、各ソリューションを動態展示するゾーンを増やす。コロナ禍により遠隔からの操作・監視・管理がより求められている中で、効果が期待されるソリューションにより、選定時に重点ポイントとして挙げられる遅延・操作性・画質の３点を実際にブースで体感できる。

アイ・ディ・ケイ

【ブースNo.7206】

フルスペック4K対応AV over IP「IP-NINJAR」は、4K AV over IPシステムのコストダウンを実現する新モデル「NJR-P01シリーズ」やイベントステージ向けのタフモデル「NJR-P01UFR-R」をデモ展示。

スキャンコンバーター内蔵型のデジタルマルチスイッチャー「MSDシリーズ」は、シームレスな映像切換により、スマートなプレゼンテーションシステムを構築することができる。入出力チャンネル数、4K対応、Dante対応、オールインワンモデルなどバリエーションが豊富で幅広いシステムアプリケーションに対応する。

モジュール実装型のデジタルマトリクススイッチャー「FDX-Sシリーズ」は、「HDMI」、「HDBaseT」、「SDI」といったさまざまなインタフェースや「スキャンコンバート機能」、「マルチビュー機能」などを備えたI/Oモジュールをベースユニットに実装することで、利便性・柔軟性・拡張性に富んだルーティングシステムの構築が可能。

そのほか、HDBaseTを活用したシステムソリューションや4K HDR対応HDMI分配器「VAC-S Uシリーズ」などの新製品をはじめとするラインアップを展示する。

各種衛星アンテナシステム展示

エーティコミュニケーションズ

【ブースNo.8108】

エーティコミュニケーションズ（ATC）は、超小型軽量衛星ブロードバンド端末「SATCUBE」（サットキューブ）や、ハイエースベース、エルグランドベースの両衛星中継車、可搬型衛星アンテナを展示する。

SATCUBEは昨春、スカパーJSATの定額制IP映像伝送サービス「Sat-Q」に対応し、全国で運用が始まっている。SATCUBEはPC大のサイズで、重さ約8㌔㌘という衛星アンテナとしては小型で軽量。持ち運び負担の小さいモデルでありながら、通信に必要な機能のほとんどを内蔵し、この1台で衛星通信ができる超小型平面アンテナ。衛星捕捉機能も搭載する。Ku-band衛星を使用して、5-15Mbps超の速度で伝送可能。単方向映像伝送から、インターネットアクセス用双方通信ができ、内蔵バッテリーで3時間の連続運用が可能。へき地からの映像伝送や災害時のBCP用途にも役立つ。Wi—Fi接続でスマートフォンもつながる。

また、SATCUBEは、三脚オプションや専用バックパックなど、周辺オプションを充実させている。



ATC製ハイエースベース衛星中継車

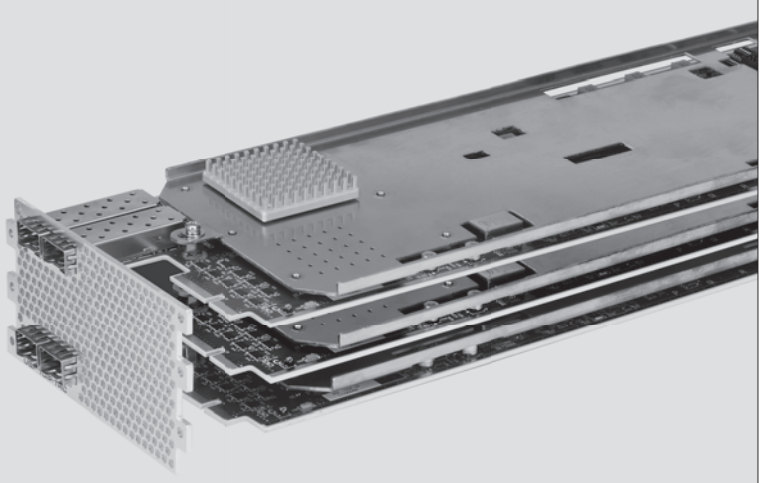
ATC製ハイエースベース衛星中継車は、1.2㍍衛星アンテナ搭載、油圧式伸縮ポール、走行中でも使える8KVA発電機搭載。車内は5人が向き合って会議可能なスペースを持つ。

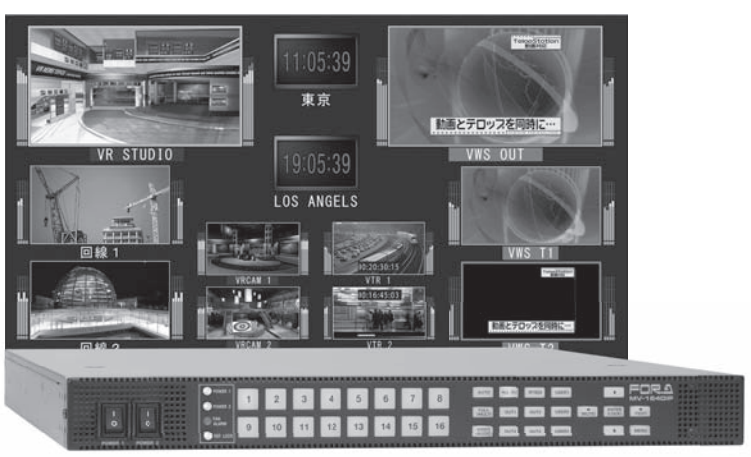
INTER BEE IP PAVILION Inter BEE 2021 ホール 8

IP-IPまたはIP-SDIの相互変換に対応

IP ゲートウェイ USF-10IP シリーズ

製品詳細はこちら ▶▶▶





IPシステムを従来通りの操作性で

SMPTE ST 2110 対応マルチビューワー MV-1640IP

製品詳細はこちら ▶▶▶

株式会社 朋栄 www.for-a.co.jp
Tel: 03-3446-3121 I E-mail: ad@for-a.co.jp

FOR-A®

FACILIS TECHNOLOGY



編集共有オンラインストレージ

シングルサーバで4K60Pマルチストリームプレビュー可能

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE
HALL6 6211

ITOCHU 伊藤忠ケーブルシステム株式会社　クロスメディアソリューション本部

Facilis Technology製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
https://itochu-cable-systems.jp/products/facilis/

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 6

リモート／システム集約化アシスト

コスミックエンジニアリング

【ブースNo.7205】

コスミックエンジニアリングは、放送業務各ワークフローでさらに身近になってきた「リモートプロダクション」、「放送システム集約化」をアシストする製品群の実機展示をする。

2020年に本格デビューし、中継車、回線センター、スタジオサブ、送出システムなどで急速に導入が進んでいる、コンパクトルーティングスイッチャー「gen router」の実運用を意識したデモを実施。特に「DualJog」コントロールパネルは、6.6型ワイド液晶ディスプレー上で即座に入力・出力の信号状態が視覚的に把握可能で、放送システムのスリム化にも貢献できる。

12G-SDIベースの放送システムが容易に構築できるモジュールシステム「C5000」は、光伝送モジュールやロゴスーパーインポーズ、DSKやビデオタイマーなどラインアップを追加。また、オーディオモニター「SPシリーズ」と、リモートプロダクション・コンパクト中継に貢献できる光ファイバー伝送カメラアダプターシステム「SCAシリーズ」は、放送設備のIP化を見据え、それぞれSMPTE ST2110、DANTE対応モデルを新たに発表する。



gen router

JVCケンウッド

【ブースNo.7414】

JVCブランドより、2012年にネットワーク機能を搭載したハンドヘルドカメラを発売して以来、ネットワーク配信に対応した商品の開発を進めている。18年には、IoTデバイスに求められる高い接続性・先進性を備えた業務用カメラレコーダー「CONNECTED CAM」シリーズをはじめ、ライブプロダクションスイッチャー「CONNECTED CAM STUDIO」を発売。高品位なライブ配信を可能とするIP関連機器の拡充を図ってきた。

今回は、PTZリモートカメラの新商品3機種「KY-PZ400N」「KY-PZ200N」「KY-PZ200」を中心に、ニューノーマル社会において急激に需要が拡大しているリモートプロダクションやリアルタイム配信を実現する独自のシステムソリューション「Robo Production」を展示。「Robo Production」においては、CONNECTED CAM STUDIOなどとのシステム構築により、スポーツ中継、音楽ライブ、株主総会、企業ライブコマース、大学講義などの用途に応じて最適かつ実践的な配信ソリューションを提案する。

エヌ・イー・ピー

【ブースNo.7102】

バッテリー関係、電源ケーブル、レインカバー、LEDライト、ボールヘッドなど、放送機器のアクセサリーを中心に展示する。

新製品として、15㍉ロッドクランプ付ミニ型Vマウントプレート「GP-S micro-15RODシリーズ」を発表。従来型Vマウントプレートから約50％サイズダウンし、スーパーミニVマウントバッテリーとも相性が良い。8.4V出力対応モデルもラインアップし、一眼レフカメラでの動画撮影がより快適になる。

さらに、24V入力・48V入力のLEDライト、シネマカメラ、4Kモニターなどをマウントバッテリーで駆動可能にする電源ターミナル兼充電器「D-4TC-2848」も新たに発表。消費電力の大きい機器がバッテリー駆動可能となり、AC駆動できない現場で活用できる。

そのほか、ソニーFX6用電源プレートや、ソニーFX3・α7SⅢ用ACアダプター、クロマキースタンドセットなどの新製品も展示する。

12G対応の各種新製品そろえる

ビデオトロン

【ブースNo.6402】

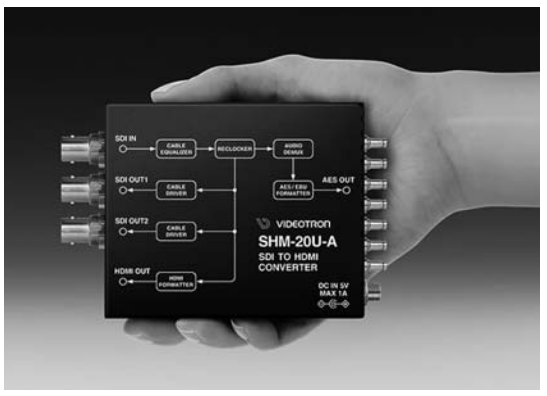
高いスペースメリットとコストパフォーマンスを実現した新製品を出展する。主な製品は、12G対応SDI to HDMIコンバーター「SHM-20U-A」、4K対応HDMI to SDIコンバーター「HMS-30U」、12G対応映像合成装置「LM-70U」、12G対応マルチ素材ジェネレーター「MMG-70US」、SV IPゲートウェイ「VIP-70U-01」、12G対応音声マルチプレクサー「MUX-30U」など。

「SHM-20U-A」は12G-SDI信号をHDMI信号に変換し、同時に入力SDIを2分配出力する。前面LEDでCRCエラーなど、9種類の項目の入力ステータス監視が可能。

「-A」モデルはさらにAES/EBU OUT8系統を搭載し、12G対応音声デマルチプレクサーを低価格で実現。また、オプションのUSB変換ケーブルにより、スマホのバッテリーなどで動作する。

「HMS-30U」は、PCなどの4K60pHDMI映像を12G-SDI出力。FS内蔵のため、1台で変換・同期に対応し、システムの省スペース化、コストダウンを実現する。

「LM-70U」は、2系統の12G信号をL字合成するモジュール。2つの入力部にはAVDLを内蔵し、ライン同期が可能。



SHM-20U-A

「MMG-70US」でBGの静止画、テロップを同時出力することで、4K L字緊急放送システムをVbusで省スペースにシステム構築できる。

緊急地震速報、防災情報、気象情報のリーディング・システム・インテグレーター

3D気象情報作画システム
BOLT Weather Station Ver.2

新防災情報作画・送出システム
New Disaster Station

CATV局様向け気象・防災情報送出システム
Media Community Station

新気象情報作画・送出システム
New Weather Station

緊急地震速報・送出システム
EEW Station

防災情報自動アナウンスシステム
Media Voice Station

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2021
11.17水 ⋙ 19金 幕張メッセ

映像制作／放送関連機材部門／ホール7／7306
展示会期間中、ブース内にて各製品の個別デモンストレーションを承っております。
ご希望の方は、お時間を調整させて頂きますので、事前にお申込みをお願い致します。
連絡先: ts@crossimaging.jp

クロスイメージング株式会社　〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1 A-PLACE五反田駅前9F
TEL. 03-6417-9190(代表)　FAX. 03-6417-9195　http://crossimaging.jp/

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 7

HDMI信号の低遅延伝送を実現

エーディテクノ

【ブースNo.7517】

業務用液晶ディスプレー製品を中心に、映像の出力・変換・伝送・延長・表示に関連した製品を展示する。

主な展示製品は、業務用液晶ディスプレーシリーズ、Blustream社製品「AVoIPシリーズ」（映像音声信号 切り替え・分配・延長・変換器）、AVMATRIX社製品（映像音声信号 切り替え・分配・延長・変換器）、Digital Forecast社製品（映像音声信号 分配・延長・変換器）、mabcoシリーズ分配・延長・切り替え製品、光ファイバケーブルシリーズ（プラスチックファイバー・ガラスファイバー）、最新製品（参考展示）などとなっている。

Blustreamマルチキャスト UHDは、1Gbpsネットワークスイッチを介してHDMI信号を低遅延で伝送する。独自ロスレス圧縮技術の採用でHDMI、IR、RS-232、USB/KVM信号を最大100㍍、LANケーブルを使用して伝送。マルチキャストの利点は柔軟で容易な設置であること。映像業界では容易、かつ技術的専門知識をなるべく必要としないAV over IP製品を必要としていた。Blustreamのマルチキャスト UHDはこれらの要望を取り入れた映像伝送製品のラインアップをそろえる。



Blustream社製マルチキャストUHD「IP200UHD-TX」

メディアキャスト

【ブースNo.7507】

データ放送専門会社であるメディアキャストは、放送サービスの高度化が進む現在のコンテンツ利活用方法をデモや事例紹介とともに提案する。

CATV業界で培った経験を元にスマホ向け同時配信やハイブリッドキャストによるLIVE & VOD配信、ハイブリッドキャストをポータルサイトとした災害情報、マイページ連携などのデモ展示をする。

また、同社製品ユーザー事例の中からコンテンツ配信に重要なCMS「DataCaster Contribute」を使った「ローカルテレビ局による自治体情報配信」を提案。ローカルテレビ局で放送されているデータ放送コンテンツ、CMSの入力画面の操作について説明する。

このほか、高度化放送のコンテンツ利活用に加え、高度BS用コンテンツ受信機動作検証のための製品を展示する。

RIEDEL Communications Japan

【ブースNo.7310】

展示ブースでは、パートナー会社であるデジキャスとの初の共同出展、RIEDELの映像伝送に特化した製品「MediorNet IP」および新製品の「MicroN UHD」が加わった「MediorNet TDM」、世界的に普及しているワイヤレスインターカム「Bolero」をはじめとしたIPコミュニケーションソリューションを展示する。

IPパビリオンに展示されるソニーのIP中継車には、IPネイティブのデジタル・マトリクスインターカム「Artist-1024」や1200シリーズレバーキーパネルが、またガンスイの展示ブースにはBoleroと、各所でRIEDEL製品が利用される。

Inter BEE 2021限定企画として、RIEDELブースにおいて来場者の中から抽選で100名に「限定Bolero Tシャツ」を進呈するキャンペーンを実施する。

10GBE活用しフル4K HDMIに対応

イメージニクス

【ブースNo.7203】

10GBEを活用しフル4K HDMI映像システムをシンプルに構築できるMedia over IP「NEX-SMARTシリーズ」を展示。送受信器/コントローラー/ネットワークスイッチというシンプルな構成で、HDMIの長距離伝送/スイッチング/ビデオウォール/マルチビューと多様な機能を実現。用途に応じて使い分けられるようPCアプリケーションとコントロールボックスの2種類を用意。それぞれの環境下で動作デモを実演する。

12G-SDI対応の32入出力マトリックススイッチャー「ISX-U3232」と、使い勝手の良い2分配「ISD-U12」、4分配「ISD-U104」、8分配器「CRO-SDU18」をラインアップ。12G・3G・HD・SD-SDI、DVB-ASIなどの多規格に対応する。マトリックススイッチャーは入出力チャンネル32×16、16×32、16×16と変更が可能。電源2重化装備、電源ユニットと冷却FANは前面ホットスワップ機能を標準実装。

フル4K HDMIに対応のフレームシンクロナイザー「RS-U15」は、解像度の変更/映像の拡大・縮小/回転/反転/複数台の同期運転/シームレス切り替えなど多彩な機能を持つ。縦置き3面マルチウィンドーをデモする。

このほか、4K HDMIとアナログ映像信号に対応した6入力2出力のマルチシグナルシームレスマトリックススイッチャーIMG.Link出力付き「SL-U62/IL」、HDMI信号を同軸ケーブル1本で伝送するIMG.Linkシリーズの4K HDMI対応したアクティブスルー付き送信器「DCE-U112TX」、新しくなったフレームシンクロナイザー内蔵型の受信器「CRO-URS2A」などを展示する。



NEX-SMARTシリーズ

MVS-4K11
4K対応 撮って出しビデオサーバー
MVS-4K11 は 4K 対応の 1 入力 1 出力ビデオサーバーで、4K 素材を収録しながら再生と簡易編集が行えます。HD 解像度の場合は 4入力2出力 として使用可能です。
スポーツ中継の撮って出しスロー、ハイライト編集、及びスタジオ番組収録時の素材のポン出し送出装置として利用可能です。
New
MDC-70T
PHABRIX®
Qx Series
IP/12G-SDI, 4K/UHD, HDR/WCG GENERATION, ANALYSIS & MONITORING
武蔵エスアイ株式会社
〒161-0033　東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F
TEL：03-5996-7455　FAX：03-5982-4784
http://www.musashi-si.co.jp

POMFORT fn LiveGrade PRO ボムフォート ライブグレードプロ
ライブグレードで オンセット・カラーグレーディング
POMFORT fn Silverstack ボムフォート・シルバースタック
オールインワン撮影素材管理ツール「シルバースタック」
大切な素材管理とカラーの ワークフローをシンプルに。
tools ON air just:in ジャスト イン
多チャンネル ベースバンド インジェストシステム
- 多チャンネル同時収録
- 4K / HD対応
- スケジュール収録
- 同期収録
- 各種コーデック
- mxfへの収録
- 追っかけ編集対応
- RS422 VTR制御
tools ON air just:play ジャスト プレイ
Macで構築する番組自動送出システム
4K&HD対応／ サイマル送出／ IPストリーミング
コーデック・解像度混在に対応 ／自動ルーター制御
強力なCGレイヤ／フェイルオーバー対応／ライブフィードCSV・XMLプレイリストインポート／ルーター制御
プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム
STRAWBERRY PROJECTIVE
「Strawberry」は、Avid、Adobe Premiere、Final Cut Proなど、プロフェッショナルビデオ編集環境のネットワーク共有ストレージ上で、独自の仮想抽象化レイヤ技術でプロジェクトとコンテンツ、ユーザーとグループを管理。プロジェクト共有とプロジェクト管理を実現し、より高度な素材データ共有を効率化する編集コラボレーションシステムです。
EIZOKO（えいぞうこ）
NAS機能つきアーカイブアプライアンス
シナジー「EIZOKO」は、LTOテープへのアーカイブとアーカイブ後のデータ活用を快適にする機能を備えたアーカイブシステムです。簡易MAM機能を備えたArchiware P5 ArchiveをストレージOSに統合し、あらゆるメディアデータをLTOで保管・管理。映像や音声データをプロキシムービーとともに保管するだけでなく、WordやPDF、予算管理などのExcelデータまでのすべてをLTOにアーカイブし、インデックス管理します。
ROOT6 TECHNOLOGY
ファイルベース ワークフロー自動化ツール
CONTENTAGENT
・映像・音声ファイルの自動トランスコード
・ノードベースのGUIで自動化ワークフローを構築
・メタデータ抽出・改変　・QCチェックツールとの連携
・GPU処理によるフレームレート/解像度/IP変換
映像用途に特化した国産NASストレージ
MIDO NAS
ARCHIWARE アーキウェア ・ P5アーカイブ
P5 Archive
LTO等にデータを長期保管 メディアアセット管理機能搭載
Synergy 株式会社シナジー　www.synergykk.com　03-4563-1901

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 8

性能向上を図った新型静音ラック

ニッキャビ

【ブースNo.7510】

マルチデスク「spaceRAILシリーズ」から、よりスタイリッシュなデザインとオプションパーツを充実させた「spaceRAILα」を初出展。さらにマイナーチェンジして、より高品位かつ静音性能の向上を図った新型静音ラック「SRC series」も初披露する。

そのほか、あらゆるシーンに対応可能なモジュール式コンソールデスク「cyber RAIL」やマルチモニターウォール「cyber WALL」などの「cyber series」を中心にデザイン性を備えた樹脂ケース「HPRCレジンケース」、そして従来から映像・放送業界で多く採用されているブロードキャスティングラック「NEO Rack series」、「NOW Rack series」に樹脂性ダクト「オープンダクト」や床下配線の階層分けを可能とした「アンダーフロアケーブルマネージャー」を組み合わせて新社屋プロジェクトや大規模設備更新などに最適な放送設備ソリューションを提案する。



新型静音ラック「SRC series」

計測技術研究所

【ブースNo.6016】

5年ぶりのInter BEE出展となる計測技術研究所は、「A to U」～〝all product to you〟をメインキーワードとし、SDI版UDRの集大成となる4K@120Hz/4K@60Hz同時録再対応非圧縮レコーダー新製品「UDR-XL40e」を筆頭に各種映像機器を出展する。

「UDR-XL40e」は、従来の「非圧縮で撮ってそのまま再生」という様式に加え、内部に特殊再生機能を実装。4Kループレックレコーダーとしての応用、4Kディレイラインとしての使用など、多様な要求に対応できる機能となる。会場では、１台で4K/120Hz非圧縮に対応する性能を最大限に発揮し、4K/60Hz同時録画・再生機能を応用した追っかけ再生を実演する。

同製品は、Inter BEEで製品発表、来年1月に受注開始、同年４月に出荷開始の予定。

このほか、8K/120Hz対応メディアサーバー「Alpha CUBE 8K」、10ch DVI再生プレイヤー「UDR-40SP」、AV over IP（SDVoE）IPSシリーズを展示。併せて、10月末に商用プラネタリウムとしては業界初、かつ日本初公開となった全天周8KLEDドーム式プラネタリウムの情報も発信する。

リーダー電子

【ブースNo.8204】

リーダー電子は、SDIからIPへ移行が進む放送業界のニーズに対応した製品を展示。IP解析機能が充実した4K対応波形モニター、PTP対応シンクジェネレーター、ST2110およびST2022-6非圧縮に対応したIP監視装置、IPとSDIに対応したPHABRIX製品など、IP環境の構築に最適な製品をデモする。

新製品のIPパケット監視装置「LVB440」は、マスターコントロール、回線、制作／報道スタジオなど、高ビットレートIPメディアトラフィックを複数監視し、迅速なトラブル対応や品質向上に力を発揮する。SDから4Kまでのストリームを監視し、オプション追加で8Kのストリームが監視可能。大量のストリームを扱う放送局やネットワーク事業者に分析ソリューションをリアルタイムに提供する。非圧縮ビデオとオーディオをマイクロ秒の精度でパケット分析できる。

IP＆SDIハイブリッド波形モニター「LV5600」は、10G/25G IP（ST2110/2022-6/PTP/NMOS）に対応。4K IPやPTPを入力してNMOS制御のデモを実施する。IP＆SDIハイブリッド ラスタライザー「QxL」は10G/25G IPに対応、IP＆SDIハイブリッド ハンドヘルドアナライザー「SxTAG」は10G-IP対応でジェネレーター機能を搭載、PTP対応シンクジェネレーター「LT4610」は、PTPグランドマスターとして動作が可能。

各種バッテリー式電源装置を提供

オンリースタイル

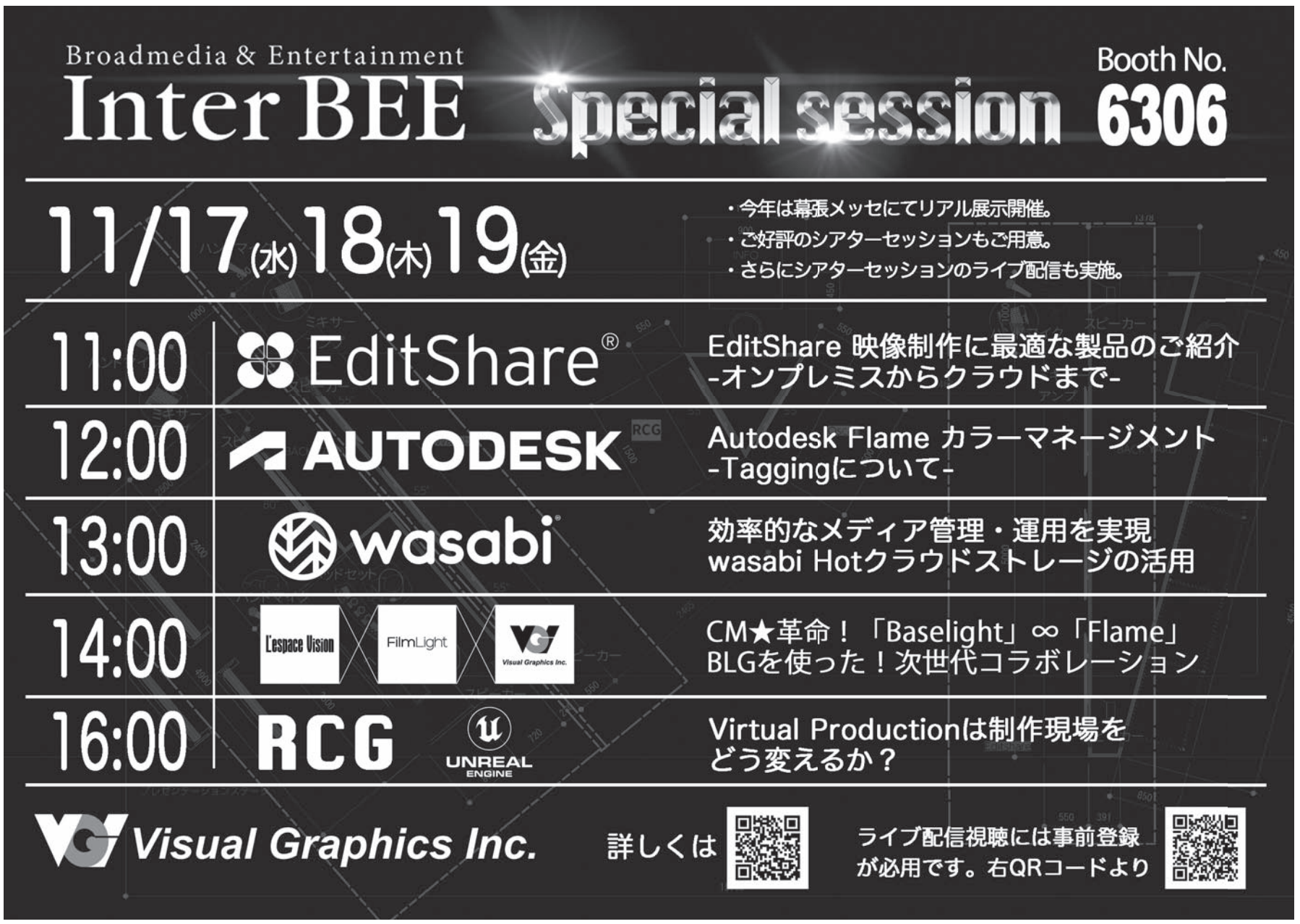
【ブースNo.7411】

オンリースタイルは、バッテリー式電源装置「エコパワー シリーズ」のレンタルサービスを主業務としている。撮影・中継現場、ロケバス車内、イルミネーション、イベント会場、監視カメラ、ドローンの充電など、電源が必要とされるさまざまなシーンでの電源確保に幅広く利用されている。電池容量の多い順に「エコパワー6400」「エコパワー5000」「エコパワー2500」「エコパワー1200」と用途に合わせてラインアップがあり、増加する需要に応える。注文前に使用機器や用途を伝えることで、適切な数量の提案もできる。

「エコ・パワー」シリーズは、ガソリン不要、排気ガスゼロ、騒音なしが大きな特徴で、インターネットで必要な時だけレンタル注文でき、充電した状態で届けられるので利便性が高い。展示会場では、屋内利用のみだった「エコパワー2500」が屋外でも使用可能となった新製品「エコパワー2500 wp+」を出展する。キャスター付きで移動もスムーズにできるように改良されている。



エコパワー5000





CREATOR'S VOICE

SanDisk Professional が活躍する映像制作の現場

映像作家・鈴木佑介さんの現場

日頃は広告プロモーションや教育系映像などを中心に手がける映像作家の鈴木佑介さん。REDやブラックマジックデザイン、デジタル一眼など様々なカメラを使い分け、6K・8K素材での撮影も多いという鈴木さんにRAIDとドッキングステーションを試してもらった。

写真・文●鈴木佑介／協力●ウエスタンデジタル／転載元●VIDEO SALON

映像・動画制作を生業とするすべての「プロフェッショナル」へ捧ぐストレージソリューションの幕開け

去る 2021 年 7 月7日ウエスタンデジタルが新ブランドの立ち上げを発表した。それが「SanDisk Professional」だ。生活のなかのほとんどがデジタルコンテンツに溢れ、高速・大容量化が求められるこの時代、映像制作の現場で多く扱われている G-Technology ブランドを引き継ぎ、静止画制作のプロからの信頼が厚い SanDisk ブランドとプロフェッショナル向けのメディアソリューションとしての統合を果たした。つまり、静止画・動画をボーダレスに「視覚コンテンツ」を制作するプロフェッショナル向けのブランドだ。

G-Technology ブランドを愛し、この 5 年、8bay の RAID ストレージはトラブルを起こすことなく、絶大な信頼を寄せている筆者としてもこの SanDisk Professional には期待せずにいられない。今回は編集システムの要となる RAID ストレージと 4bay 式のカードリーダーのドッキングステーション PRO-DOCK4 をご紹介したい。

「G」の意思を引き継ぐ高速・大容量の RAID ソリューション

まず最初にご紹介するのは 8bay・4bay の大容量ハードウェア RAID「G-RAID SHUTTLE」シリーズだ（RAID とは複数台の HDD や SSD を並列に繋げるイメージで大容量化させ、速度を上げるもの）。Thunderbolt 3 接続とのインターフェイスで、RAID0 設定であれば読み書き約 2000MB/ 秒前後の速度を実現するとのこと。筆者の環境は RAID5 運用をしているため、読み書き約 1200MB/ 秒となっている。

4K での撮影、制作が当たり前になり、6K・8K の RAW 素材での撮影も日常化してきたこれからにぴったりの編集ストレージだ。最近映像制作をはじめた若い世代は内蔵のフラッシュストレージやポータブルストレージへの保存でデータのやりくりをしている人が多いようだが、数年映像制作を続けていくと必ずぶつかるのが「ストレージの壁」だ。忙しくなればなるほど複数のプロジェクトを同時進行したり、キャリアを積むほどに使用カメラのレベルがあがり、収録コーデックのデータ圧縮率は低いものとなり、撮影素材の容量が増えていくのは世の常。それは映画やテレビのような仕事だけでなく、従来の「街のビデオ屋」的な仕事においても、である。

普段は広告などのプロモーション映像の制作を行なっている筆者だが、世には出ない街のビデオ屋的な仕事も多々しており、現在はとある裁縫教室の教育ビデオ的なものをここ数年レギュラーで制作させてもらっている。HD 完パケながら、撮影は編集時にトリミングズームをする前提で Pocket Cinema Camera（BMPCC）6K2 台と 4K の合計 3 台でマルチカム収録をしている。撮影は 7〜10 日間。1本 90 分の完パケ映像を年間で 12 本制作という内容。さらにそれを毎年更新していくというものだ。撮影は軽い Blackmagic RAW の 12:1 とはいえ、初年度で撮影素材と編集素材を合わせて 12TB 超え、2 年目の今年はそこに 9TB が追加された。そして来年度も撮影するということで 30TB 近い素材を保存し、また編集でハンドリングしたりする。そうなると編集ストレージが「高速・大容量」であることが重要となる。

単発の広告映像であれば内蔵ストレージや 4TB 程度のポータブルストレージでどうにかなるが、シリーズものや保管しながら次のプロジェクトで素材を流用する場合は、RAID ストレージでないと追いつかない。そして、先方オフィスに出向いての「立ち会い編集」なども発生するので大きいながらもポータブルなことはとても重要になる（専用ペリカンケースで外に持ち出しが可能）。

複数の HDD のうち 1 台が壊れても復旧ができる RAID5 設定で使用する人も多いと思う。この G-RAID SHUTTLE であれば RAID5 設定でも書き込み約 1284MB/ 秒、読み出し約 1022MB/ 秒とかなりの速度が出るため快適さと安心さを同時に享受できる。そういうことからも筆者は G-RAID SHUTTLE に絶対的な信頼を置いている。

また筆者の経験上、自作の RAID ボックスなどでは思いの外、速度が出なかったり、組んだ翌日に HDD が認識しないトラブルが起こることがあるが、G-Technology 時代から使用していても同様のトラブルはほとんどない。そこに SanDisk Professional という名前が刻まれたのは、プロにとって安心感が増したのではないだろうか。

カードリーダー用4bay ドッキングステーション

そしてもうひとつご紹介したいのは「PRO-DOCK4」。今までありそうでなかった、カードリーダーを4つのスロットに搭載できる Thunderbolt 3 接続のドッキングステーションだ。この PRO-DOCK4 は SD カード、microSD、CF カードリーダーがひとつになったマルチカードリーダーをはじめ、RED の MINI-MAG、CFast2.0 カード、CFexpress TypeB と近年の映像制作に使われるメディアのリーダー 4 種を個別利用はもちろん、必要に応じてひとつにまとめることができる。

RED Helium 8K（MINI-MAG）を筆頭に BMPCC 6K（CFast2.0）や一眼カメラ（SD カード）などを仕事によって使い分ける筆者にとって、大変助かるアイテムだ。目の前のドックに挿すだけ、それぞれのリーダーを出してくる必要がないのは本当に助かる。敢えてリクエストを出すとしたら CFexpress TypeA の登場を願うくらいであろうか。また、取り外しも簡単なので、必要なリーダーだけ用途に応じて持って行ったり、事務所や自宅で複数のメディアをいちいちリーダーを差し替えたりせずにダイレクトに読み込める。オフロード作業の効率を最大限に高めてくれるであろう。

また、PRO-DOCK 4 には Thunderbolt 3 ポートが 2 口、USB-C が 2 口、USB TypeA が 2 口、ディスプレイポート 1.4 が 1 口、ギガビットイーサネットに入出力の 3.5mm オーディオポートも搭載しているので普段ラップトップで制作を行う人にとってもうれしい仕様になっている。

出先はラップトップで、帰宅したら外部モニター接続で。各種カードリーダーをケーブルで接続することもなく、Thunderbolt ポートの数を気にせずにオフロード作業ができる。PRO-DOCK 4 ならシンプルな運用が可能になる。筆者のようなデスクトップユーザーにとっても机周りがスッキリするので良い。G-RAID SHUTTLE と共に、デザインもMac 環境にマッチする。質感も実にいいので、ぜひ手にして実感してもらいたい。

多彩なメディアの読み込みに対応できるドッキングステーション



仕事では RED Hellium 8K やブラックマジックデザイン BMPCC 6K/4K、一眼カメラを使い分ける鈴木さん。PRO-DOCK 4 は別売の 4 種類のカードリーダーをひとまとめにし、Thunderbolt 3 の高速転送でデータを読み込めるドッキングステーション。収録メディアの異なるマルチカメラの現場などで重宝する。



SanDisk Professional
PRO-DOCK 4
オープン価格
（実売 85,800 円）
受注生産品
（PRO-READER は別売）

各製品の詳細はこちら●sandiskprofessional.com

Thunderbolt 3接続で最大2000MB/秒を実現するRAIDストレージ



デスクトップ環境ではもちろん、時には G-RAID SHUTTLE 専用のペリカンケースに入れてクライアントのオフィスに出向いて、立ち会い編集を行うこともある。鈴木さんは複数の HDD のうち 1 台が壊れても復旧可能な RAID5 で使用している。

SanDisk Professional
G-RAID SHUTTLE 8
オープン価格（48TB モデル実売 57万円前後）
受注生産品※

※G-RAID SHUTTLE には 4bay タイプの G-RAID SHUTTLE 4（24TB/48TB/72TB）もラインナップ。8bay タイプには 48TB の他、96TB、144TB のモデルがある。さらに SSD タイプの G-RAID SHUTTLE SSD（8TB/16TB/32TB）では最大 2800MB/ 秒の超高速転送速度を実現する。

つくり出せ、まだ見ぬ世界を。

Western Digital.

高いクオリティを求められるクリエイティブワークにおいて、

大切なデータを保存するストレージは極めて重要な存在。

そんなクリエイターの思いに応え続けてきた「G-Technology」は、

このたび「SanDisk Professional」として新しい一歩を踏み出します。

最高のものを創るあなたへ、最高のストレージをずっと。



G-Technology は、SanDisk PROFESSIONAL へ。

Western Digital、Western Digital のロゴ、G-Technology、G-Technology のロゴ、SanDisk、SanDisk にまつわるデザイン、SanDisk Professional、SanDisk Professional のロゴ、WD、G-DRIVE、G-RAID および Ultrastar は、米国および他の国における Western Digital Corporation、またはその関連企業の登録商標または商標です。その他の商標は各所有者に帰属します。

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 9

放送用ファイル・SDI検査システム

K-WILL

【オンライン】

K-WILLは、ITUやARIBなどの国際/国内の標準規格に準拠し、FR, RR, NRの3つのコア技術を縦横無尽に張り巡らせ、多様なファイルフォーマットに対して、全方位QC（品質管理）ソリューション「いつでもどこでもQC」を提供する。

放送用ファイル・SDI検査システム「ProQ4000」は、比較なし検査（ノイズと光点滅で同時4ファイルを実時間より高速に検査）を実現。

4K対応画像評価装置「VP4000」は、国際標準方式ITU-T J.144により、コーデックなどのDSCQSリアルタイム測定に対応。4K（12G-SDI）対応の映像・音声品質監視ボード「PROBE12G」は、ITU-T J.144方式でマスター/バンクの高精度自動品質監視をする。

「特徴量」を用いた映像・音声遠隔品質監視システムは、遠隔地間の品質差をリアルタイムで測定・監視。遠隔自動監視装置「QuMax Remote」は、中継時のリップシンクや品質劣化を測定・監視する。

このほか、光点滅検知装置「QuMaxひかり」、映像フリーズに特化したコンパクト低価格の監視装置などを出展する。



QuMaxシリーズ「PROBE 12G」

デジキャス

【ブースNo.7311】

SDIからIPへ移行が進む業界のニーズに対応した製品を中心に展示デモを実施する。

ROSS Video社のIP/12Gルーター・Unrealエンジン対応グラフィックスを使ったeスポーツ & スタジアムソリューション、テレビ北海道と共同開発したマスター運行支援システム、RIEDEL社のIP&インカムシステムやG&D社の監視・制御にも使えるKVMシステムを出展。

そのほかにも次世代の同時配信やクラウド運用を想定した監視・Enc/DecシステムやAIプロダクションシステムを披露する予定。また、ブース内で展示するIPソリューションと同時に、主催者企画のIPパビリオンにも協力して各社機材との相互接続によるIP伝送を実演する。

今回はブース内の密状態を避けることと、余裕をもってデモを見てもらうため、ソリューション・製品ごとにデモの事前予約が可能（申し込み＝https://acs-l.jp/corp/digicas/inter-bee21.html）。

エス・シー・アライアンス

【ブースNo.5510】

エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社は、20年以上にわたり、100以上の放送局に自動運行システムの設計・施工などを実施してきた経験を元に、ラジオ局向け自動運行システム「Harmony」を自社開発。2019年に販売を開始し多数の実績があるという。

米Telos社製、セントラルマトリクスを必要としないインターカムシステム「Infinity」、米AXIA社のフラグシップ コンソール「Quasar」、リモートミックスを想定し開発されたバーチャルコンソール「iQs」などAoIPを使用した製品を多数展示する。

そのほかにもIPコーデック、放送監視チューナーなどラジオおよびテレビ放送に欠かせない、多様な製品をそろえる。

DSP集中処理可能なコンソール

タックシステム

【ブースNo.8303】

「StageTec AVATUS」は、テレビ/ラジオのオンエアスタジオ、ホール/設備向けの「従来のミキサーの概念に革命をもたらす」コンソール。NEXUSを使用したセンタールーティングシステムが「DSP集中処理」を可能にし、スタジオ全体で統合的なシステムを設計できる。NEXUSは優れたモジュール性で、インストールされたすべてのIOは接続された複数のコンソールから、それぞれコントロールが可能。

「ADDER」は、編集スタジオ、MAスタジオ向けのKVMシステム。通常のKVMシステムではコントロールが難しい「ペンタブレット」も使用可能。ALIF-4021 高性能 IPベースKVMマトリックスソリューションを4Kでデモ。TACブース内のすべてのPCをコントロールする。

また、DirectOut Technologies の ST-2110に対応したRavennaシステムを中心に、多数のブランドのネットワークオーディオ対応商品を展示。MADIからRavenna/Dante、アナログ/AESからAES67などさまざまな入出力フォーマットに対応したソリューションを提案する。

「TACSYSTEM VMC-102IP」は、スタジオシステム構築の要となるユニット。MADI、Dante入出力を備えた128×128chのキャパシティ、Dante上のルーティングを制御する新しい「バーチャル/ルーティング」機能は Dolby Atmosなどチャンネル数の多いモニターソースを有効的に取り込む。



StageTec AVATUS

「Decimator Design」は、コンパクトでコストパフォーマンスに優れたHD-SDI信号用のミニコンバーターシリーズ。

BLUSTREAM

2021年11月18日(木)発売



6入力2出力マルチフォーマット対応プレゼンスイッチャー

MFP62

4K 60Hz 4:4:4 / HDMI 2.0 / Display Port / USB-C / VIDEO SCALING / EDID MANAGEMENT / AUDIO BREAKOUT / MIC INPUT

- HDMI、DisplayPort 1.2、USB Type-C、VGA 入力端子
- 2 系統のスケーラ搭載 HDMI 出力端子から同時出力
- 最大 4K UHD 60Hz 4:4:4 までのフォーマットに対応
- HDMI サラウンドオプションに対応（Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master など）
- オートスイッチ（自動切替）機能
- オーディオエンベデッド / ディエンベデッド機能
- トークオーバー機能
- 48V ファンタム電源供給
- 本体ボタン、リモコン、ウェブ GUI、IR、RS-232、TCP/IP 経由制御
- EIA ラックマウント 1U 相当（取付金具付属）

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021
幕張メッセ会場：11.17(水)≫19(金)
オンライン会場：11.17(水)≫12.17(金)

HALL 7 ブース番号 7517

ADTECHNO エーディテクノ
www.ad-techno.com / info@ad-techno.com

株式会社エーディテクノ
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3-29 FORECAST 市ヶ谷 3F
TEL：03-5206-3330 / FAX：03-5206-3339
[大阪営業所]
〒553-0003 大阪市福島区福島 5-13-18 福島ビル 7 階
TEL：06-6451-0050

SDI入力監視機能で長期安定運用
省スペースを実現するVbusモジュール



専用パネルから信号の有無を確認
IN PUT 入力信号断時にボタンが消灯
OUT PUT 入力信号断時にボタンが点滅

Webserverで監視・ログ機能
■SNMPで信号の状態を監視
■異常時には筐体からトラップ発報
■ログ表示機能

12G対応マトリックススイッチャー

他モデルとも混在可能で、様々な用途に使えるVbusモジュール式

12G対応32×32マトリックススイッチャー NEW
MTX-70U-3232 IN 32 OUT 32 3 slot use
希望小売価格 1,600,000円(税別)

12G対応16×16マトリックススイッチャー
MTX-70U-1616 IN 16 OUT 16 2 slot use
希望小売価格 1,100,000円(税別)

ネットワーク接続による遠隔操作が可能な1バスパネル

32×1 1バスモニターセレクトパネル NEW
MTX-70UP-321 希望小売価格 180,000円(税別)

16×1 1バスモニターセレクトパネル NEW
MTX-70UP-161 希望小売価格 170,000円(税別)

用途に応じて選べる12G対応のVbusモジュール Vbus

■12G対応チェンジオーバー	CHO-70U NEW	■12G対応UHDアップコンバーター	HUC-70U
■12G対応マルチ素材ジェネレーター	MMG-70U NEW	■12G対応UHDダウンコンバーター	UHC-70U
■12G対応シグナルジェネレーター	SG-70U	■12G対応クワッドリンクコンバーター	UHX-70U
■12G対応タイムロゴジェネレーター	TLG-70U	■12G対応音声マルチプレクサー	MUX-70U
■12G対応フレームシンクロナイザー	FS-70U	■12G対応音声デマルチプレクサー	DMX-70U
■12G対応ラインシンクロナイザー	AVDL-70U	■12G対応SDI信号分配器(2CH対応)	DDA-70U
■12G対応16×8マトリックススイッチャー	MTX-70U-168	■12G対応ビデオタイマー	VT-70U
■12G対応8×8マトリックススイッチャー	MTX-70U-88	■12G対応2chカラースーパー	CK-70U
■12G対応4×2マトリックススイッチャー	MTX-70U-42		

ビデオトロン株式会社 http://www.videotron.co.jp e-mail:sales@videotron.co.jp
本社営業部 TEL：042-666-6311 FAX：042-666-6319 / 大阪営業所 TEL：06-6195-8741 FAX：06-6195-8742

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 10

柔軟性に優れた共有ストレージ

伊藤忠ケーブルシステム

【ブースNo. 6211】

マルチフォーマット、マルチプラットフォームなど、柔軟性に優れたFacilis Technology社の共有ストレージ「Facilis HUB共有ストレージシステム」を出展する。一筐体で4K60ｐマルチストリーム/リアルタイム再生を可能にするハイパフォーマンスを訴求する。

急増する納品ファイルのトラブルを未然に防ぐ、Venera Technologies社のファイルベース自動QCツール「Pulsar」は、豊富な対応フォーマット、柔軟な設定が可能な解析テンプレート機能、オペレーターの省力化をサポートする自動化機能などを備え、費用対効果が高い--などが特徴。

Imagine Communications社「SNP」は、IPGW、HD/UHDのアップ/ダウン/クロス変換、色域/HDR変換、マルチビューワーなど多彩な機能を備え、JPEG-XS、ACO、DSK機能なども今後追加が予定されている。

放送事業者・配信事業者のワークフローにおけるネット回線の品質担保に対する課題解決策の１つとして注目度が高まっているSRTプロトコル。同ブースではマルチベンダーのシステム間で正しく動作するSRTの実演デモを通じて、採用することのメリットを説明する。

遠隔地とのリモート合奏を遅延ゼロで実現。「Elk LIVE」はソフトウエア処理だけではなく、Elk AudioOSベースの独自技術により、低遅延と公衆回線エラー補償を実現することで、プロの演奏家にも耐えうるリモート合奏サービス。



Facilis HUB共有ストレージシステム

NEC

【オンライン】

NECの考えるこれからの放送局を支えるソリューションを提案。クラウド関連ソリューション、制作・中継関連機器、セキュリティーソリューションなど、最新ソリューションや取り組みを訴求する。

今回のキーフレーズは『変革の時。NECと共に見据える新しいメディア』とし、これからの放送局のビジネス展開について、ユーザーと共に考える機会になればという思いを込めている。

社会全体のDX化や生活者の視聴スタイル、社会問題など、業界を取り巻く環境は大きく変化している。この変化に対応し、新たな一歩を踏み出す放送局に対して、これまでのシステム構築で蓄積されたノウハウを生かし、最適なソリューションを提案する。

さらにNEC主催のオンラインイベント『NEC Broadcasting Days 2021』（https://jpn.nec.com/bv/hoso/broadcasting_days2021/）を11月24、25、26日の日程で開催。Inter BEEでは紹介しきれない詳細内容をウェビナーで伝える。

カンバス

【ブースNo.7513】

カンバスは、字幕制作ソフト「SSTG1Pro」とワーク用映像暗号化ソフト「G1_Lock」、吹替台本制作支援ソフト「SSTG1Dub」を展示。バリアフリー映像も披露する。

昨年発売したG1_Lockは、字幕制作ソフトSSTG1シリーズ専用の映像暗号化ソフト。ワーク映像支給時にG1_Lockで暗号化しておくと、指定された翻訳者のSSTG1シリーズでしか開けなくなるほか、映像の使用期限も設定可能。さらに、再生画面に自動でウォーターマークが表示され、キャプチャ防止機能も働くなど、映像ファイルのセキュリティーを何重にも保護する機能を搭載している。SSTG1シリーズでの字幕制作フローに導入することで、ワーク映像の漏洩防止の強力な対策となる。

字幕制作ソフトSSTG1Proは実機デモを展示する。ネットフリックス用の新しい字幕ファイル形式であるIMSC1.1をはじめ、各種動画配信サービスに対応したファイル形式での字幕データ書き出しが可能。最新のアップデートでは新たなバックアップ機能などが搭載された。

映像コンテンツに聴覚障害者用字幕と視覚障害者用音声ガイドを付け、誰もが楽しめるようにするバリアフリー化のニーズは近年高まっている。カンバスではバリアフリー映像を制作しており、バリアフリー化のアプローチの相談もブースで受け付けている。

USB接続テープ装置にLTO-9

ユニテックス

【ブースNo. 6407】

業界唯一のUSB接続テープ装置に、最新LTO-9ドライブを搭載したフルハイトモデルが新登場。LTO-9ドライブは、LTO-9カートリッジおよびLTO-8カートリッジの入出力が可能。LTO-9カートリッジは、1巻あたり18TB（2.5対1圧縮時は45TB）の大容量データ保存が可能。

データ転送速度はSAS接続で最大400MB/sとさらに高速化を図った。従来240MB/sであったUSB接続も、改良を加え最大300MB/sの高速転送を実現している。既存のLT80HおよびLT70Hの転送速度向上用アップグレードキットも用意。UNITEX USB LTO-9テープシステム（フルハイト）は2022年発売予定。

レーベルスキャナー搭載CD/DVD/BDマルチ光ディスクシステム「ODA1400」は、大量のCD/DVD/Blu-rayのマイグレーションに適している。アーカイブソフトウエアUNITEX ArchiveLTと連携することで、最大200枚の連続読み込みをしながら、自動的にLTOやHDDアーカイブができる。レーベルスキャナを搭載することで、メディアの記録データだけでなくレーベルイメージ読み取りを実施。読み取ったレーベルイメージを画像解析し、印字文字をテキストデータ化することにより、UNITEX ArchiveLTのメタデータとして自動登録。オフライン検索時にはファイル名やフォルダー名、印字文字などのメタデータで検索が可能で、全レーベルイメージデータから該当イメージを強調表示する。



フルハイトLTO

LiveU マルチカメラ対応 LU800
スポーツ / 制作番組 / イベント
リモートプロダクション対応モバイル中継装置！！
NEW
スポーツ中継例
※4 台のカメラを使用
TV Station
5G
Fiber
LU800
Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021
11.17(水)≫19(金) 幕張メッセ
当社ブース
ホール 7 / No.7307
LiveU 社と共同出展
三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
〒108-8404　東京都港区芝 4-4-12　Tel：03-5484-7270 / E-mail：eizo-info@sanshin.co.jp
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

space RAIL α
スペースレール -アルファ-
－　拡張性と洗練されたデザインを持ち合わせた新型マルチデスク　－
メインフレームは拡張性高いアルミフレームを採用し、デザイン性も持ち合わせたマルチデスクです。
W:1250/1800のサイズで豊富なオプション設定による欲しい機能の組み合わせが可能。
ご要望が多かった傾斜付きのラックマウントモジュールの設定から卓下に挿入可能な6Uマウントボックスなど拡張性とデザイン性を両立させた新型マルチデスクです。
【オプション例】
4Uハウジングモジュール
傾斜付4Uマウントモジュールです。
カセットモジュール
テーブル下に挿入出来る6Uマウントボックスです。
ウォールマウントフレーム
デスク背面に組付け し、モニターの固定実装が出来ます。
モニターアーム
洗練されたデザイン性と滑らかな動きのLCDアームです。
あらゆるソリューション設備（医療／教育／映像／音響／情報）の筐体開発・設計・販売・施工
ニッキャビ株式会社
〒211-0051川崎市中原区宮内2-5-8　E-Mail:niccabi@niccabi.co.jp
TEL:044-766-2111 FAX:044-777-9000　URL:http://www.niccabi.co.jp

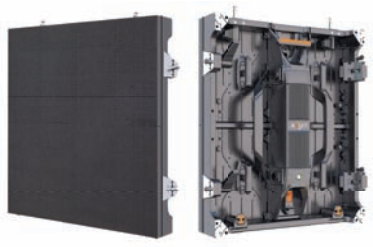


反射削減　HDR　HDR　モアレ削減　bit　16bit

低遅延＋ゲンロック　Hz　高リフレッシュレート　FPS　高フレームレート

PL VP（左右、背面）

HDR　16 bit　1500 nit　7680 Hz



PL1.9 &PL2.5 Pro V10*

AX Pro VP（左右、背面）

反射削減 モアレ削減　HDR　1000 nit　7680 Hz



AX1.2 Pro & AX1.5 Pro*

JP VP（天井）

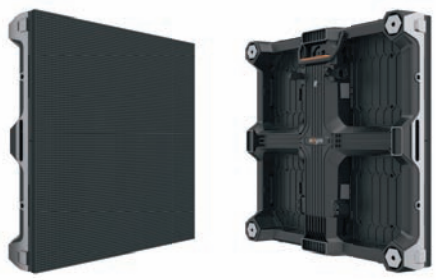
軽量 15kg/sqm　HDR　3000 nit　16 bit



JP4.68

MR VP（フロア）

パネル＋フレーム 迅速設置　高耐荷重　1000 nit　HDR



MR2.5 & MR4.8

*仕様は別途でご提供させていただきます。

Clear Cobalt（CL）シリーズの特徴

- フリップチップ技術で製品安定
- HDR10コアアルゴリズムにより、輝度1,200nit、コントラスト20,000:1を実現
- 特別なブロックコーティング技術により、色均一性が優れる。
  反射のないマットな表面で、鮮やかで美しい画質を表現



Inter BEE 2021 ブースNO.8301

お問い合わせ・ご相談はこちらへ。
Absen Japan株式会社
〒135-0042　東京都江東区木場1－4－12名古路ビル1階　|　TEL: 03-6666-6283　|　FAX: 03-6666-6287　|　E-Mail:japan@absen.com　|　http://www.absen.jp

特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 11

映像伝送ソリューションを主力に

ジャパンマテリアル

【ブースNo. 7202】

リモートプロダクション・ウェブキャスティング向けエンコーダー・デコーダー「Matrox Monarch EDGE」は、最大3840×2160（4：2：2@10ﾋﾞｯ）1系統　3G-SDI 4系統同時エンコード可能なエンコーダー/デコーダー。ブースでは、4Kリモートプロダクションのデモを実施。最小限の撮影機材でライブ中継に対応し、スタッフのリソースをスタジオ側に集中させることが可能。ネットワーク経由でタリーおよびトークバックに対応する。双方向同時エンコード・デコードに対応するオールインワンモデルの新製品「Matrox Monarch EDGE S1」も展示予定。

H.264 4Kエンコーダー・デコーダー「Matrox Maevex 6100シリーズ」は、標準の1Gbpsイーサネット環境で4つの4K映像を同時にエンコードし、それぞれを異なるストリーミングプロトコルで配信できる柔軟性の高いシリーズの新ラインアップを展示する予定。

4K60p 4：4：4対応 IP KVM エクステンダー「Matrox Extio3シリーズ」は、4K60pだけではなく、HD映像の4ch同時伝送にも対応し、高画質ながら低ビットレートで配信。Matroxの「アグリゲーターモード」機能により、4Kディスプレー上で「田の字」表示が可能な上、4台のPCのデスクトップ画面をシームレスに切り替えて操作できる。



Matrox Monarch EDGE

昭特製作所

【ブースNo.7520】

生放送での厳しい運用に耐えるよう高いパフォーマンスと安定性を持った自走式ロボットペデスタル「SmartPed」は、衝突回避装置（超音波センサー）と衝突検知操作（感圧センサー）の2重の安全システムを備え、コントロールシステム「TR-XT」と組み合わせることで、1人で複数台のカメラをコントロールすることができる。これにより、番組制作の省力化を実現する。

ENG用三脚システム「SX200」は、無段階の完全バランスシステム「TRUE BALANCE」、無段階の粘性抵抗式ドラッグシステム「VISCAM」を備え、雲台部にはマグネシウム合金を用い、軽量で強じんなボディーを実現した。

ヴァイテック プロダクションソリューションズ

【ブースNo.7309】

三脚システム「Vinten」、「Sachtler」、LED照明「Litepanels」など多様な製品群から新製品を中心にカメラサポート機材を出展する。

地上高23-178㌢㍍の幅広いオペレーションを可能にする、画期的な三脚システム「Aktiv/Flowtech」は、身体的な負荷を軽減し、業界最速のセットアップを目指して設計された三脚システム。2021年グッドデザイン賞を受賞。三脚システムの雲台にあたるAktiv（アクティーフ）は、スライダーシステムとの親和性が考慮された画期的な機構が採用された三脚雲台。そのほかSachtlerブランド製品からは、FSBシリーズ後継機種となる、新FSB MkIIシリーズも展示する。

LED演出照明のLitepanelsブランドからは、RGBWWのLED素子を用いたフルカラーライトGEMINI（ジェミナイ）シリーズの最新機種GEMINI 1x1 HARDを展示。

エヌティーアイジャパン

【ブースNo.5405】

「音響設備の性能試験セット」は、音響設備の完成後、または改修前後の現場測定向けテストシステム。音響設備/機器の性能、また音響空間での明瞭度、響き（残響）、環境（静かさ）にかかわる指標を国家・国際規格に準拠して測定。現場でハンドヘルド型XL2アナライザーに保存されたテキストファイル（またはフォルダーごと）を、室内音響レポーターソフトウエアにインポートして詳細なグラフを作成できる。

「音響設備のトラブルシューティングセット」は、音響設備の施設管理、緊急な問題発生時のトラブルシューティング向けテストシステム。

「非常放送・防災放送設備検査セット」は、建物、駅や空港などの公共施設、ショッピングモールで使用される放送設備の検査システム。

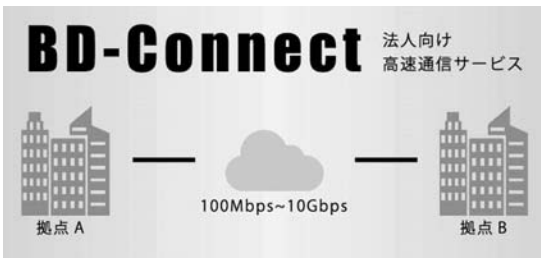
ブロードデザイン

【ブースNo.7519】

ブロードデザインは、新事業「高速通信サービスと配信プラットフォームサービス」について発表する。

「BD-Connect」は、閉域網による高速通信サービスで、予算の都合であきらめざるを得なかった「閉域網通信」を実現できる。上下最大10Gbpsの閉域イーサネット接続による拠点間接続、AWSやoffice 365、Azureなどのクラウドサービスとの閉域接続が可能。例えば、①事業者間を閉域イーサネットで接続し映像コンテンツの共有、②Live動画をAWSへ接続、③スタジアムと放送局をつなぎリモート中継など、安心・安全な高速通信を実現できる。中小規模向け配信プラットフォーム「LIVE BROAD STREAM」は、マルチビットレート、アーカイブ、配信レポートなどの商業用に適している。

SDIモニタリングミキサー「SAM-32B」は、ポストプロダクションからの「声」で製品化した、NLE編集室のモニタリングに必要な機能をすべて搭載したモニタリングミキサー。６つのアナログオーディオ出力に音声を自由にアサインでき、出力ごとに最大7.5フレームまで音声遅延が可能。また、Androidタブレット端末による遠隔・直感的な操作ができる。



「BDConnect」のイメージ

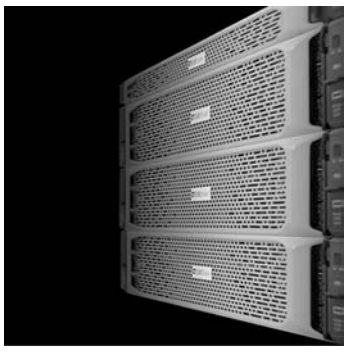
クラウド制作対応のシステム提案

ビジュアル・グラフィックス

【ブースNo.6306】

主な展示品目は、オブジェクトクラウドストレージ「Wasabi Hot」（Wasabi Technologies社）、編集用共有サーバー「EFSシリーズ」（EditShare社）、オートメーションQCシステム「QScan」（LWKS）、クラウドインジェスト装置「MXR―350」（朋栄IBE）など。

ブースでは、今年10月に取り扱いを開始したWasabi Technologies 社のAWS S3 互換オブジェクトクラウドストレージ「Wasabi Hot Cloud Storage」と、映像編集の共有サーバーとして国内にも数多いユーザーを持つEditShare社のEFSシリーズから、AWSクラウド上での編集協調作業に対応する「EFSv」を用いたクラウド制作のためのシステムソリューションを披露する。


「EFSシリーズ」（EFS450）

また、シアターブースにおいては、Autodesk Flame ならびにFilmLight Baselight のユーザーとして数々の作品制作に携わったレスパスビジョンをゲストに招き、「ＢＬＧ」を使った次世代のコラボレーションワークフローを、デモを交えて公開する。

THIRDWAVE Pro　Dospara plus
ビジネス向けPC「THIRDWAVE Pro」に
Illustrator、PhotoshopなどAdobe製品の
1年サブスクリプション同時購入モデル
登場！
同時購入モデルには当社推奨スペックモデルを選定！
株式会社サードウェーブ 法人営業統括本部
電話受付時間 平日9時～18時 03-5294-2041
お問合せはこちら
sales_hq@twave.co.jp　https://www.dospara.co.jp/plus/software/adobe_cc/desktoppc_set/


特集 Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2021 出展概要 12

高精細LEDで新しい映像合成手法

アークベンチャーズ

【ブースNo.5505】

高精細LEDディスプレー「ROE」とメディアサーバー「disguise」を用いたXRを中心としたソリューションを展示。背景CGをリアルタイムにLEDディスプレーに表示し、またLEDディスプレーの外へと拡張することで実現する新しい映像合成手法を提案する

ROEのビジュアルLEDパネルにより、あらゆる場所や設定に対応するビジュアルソリューションを作成する。LEDパネルの柔軟な構成により、サイズと形状を利用可能なディスプレースペースに簡単に適合させることができる。

なお、アークベンチャーズは韓国・河南にあるアジア最大級バーチャルプロダクション・スタジオ「VA STUDIO HANAM」（約3400坪）の完成に協力している。



背景CGをリアルタイムにLEDディスプレーに表示する映像合成手法

MEDIAEDGE

【ブースNo.7002】

ブーステーマは、「伝送からカメラシステムまでMEDIAEDGEで広がるIPワークフロー」として、各種ソリューションを提案する。

「QDCAM」は、スポーツ撮影向けハイスピードボックスカメラ。フルHD 240fpsのハイスピード撮影、4K映像に対応。グローバルシャッターにより、動きの激しい動作を正確に再現できる。マルチアングル撮影による多視点映像同期記録や動作解析、スポーツコーチングなどに適している。

映像伝送コーナーでは、VITEC ACE Encode/ACE Decoder/MEDIAEDGE Encoder K1000S/USDP—R1000SHなどを展示。ブースデモでは、擬似パケットロス発生装置を使用し高負荷状態でのSRT（Secure＝安全、Reliable＝確実、Transport＝伝送の略称）の補完機能を、実際の映像で確認できる。

ATOMOSコーナーでは新製品のデュアル7.2型モニターを搭載したラックマウントタイプのモニターレコーダー「Shogun Studio2」と「Ninja V+」の2製品を出展する。

パーチャルスタジオの構築を提案

ＡＢＳＥＮ

【ブースNo.8301】

COB（Chip On Board）ディスプレー製品の「Clear Cobalt（CL）シリーズ」、パーチャルスタジオソリューション、会議室ディスプー「iConシリーズ」などを展示する。

CLシリーズは、米国での展示会「InfoComm」で最優秀展示賞を受賞した。ABSENが５年間掛けて開発した同製品は、優れた色再現能力を持つFlip Chip LEDを採用し、特別なブロックコーティング技術により、色の均一性が優れている。防湿、防じんなどの特徴があり、反射のないマットな表面で、鮮やかで美しい画質を表現する。



Clear Cobaltシリーズ

パーチャルスタジオソリューションは、天井用軽い製品「JP」、床ビジョン「MR」や背面ビジョン「AX&PL」製品が、反射削減、HDR、高リフレッシュレート、高フレームレートなどの特徴を持つ。

会議用一体型iConシリーズは、画面標準サイズ110/138/165型を選択できる。アスペクト比は16対9で、フルHDのコンテンツをドット対ドットで表現できる。ワイヤレスでコントロールでき、リモート会議環境も構築が可能。

バルコ

【ブースNo.7312】

LED XTシリーズは、0.9—2.5ミリ㍍の5種類のピクセルピッチ、600-1500nitsまでの3種類の輝度から選択でき、規模や用途に合わせて最適なビデオウォールが構築できる。優れた画像処理を提供するInfinipix LEDプロセッサーにより、すべての輝度領域で色とコントラストを良好に再現し、動きの速い映像でも遅延が低くスムーズな映像表示が可能。

LCDビデオウォール「UniSee」は、ベゼルレスの設計で接続している複数のLCDタイルの間がほとんど目立たないシームレスなビデオウォールを実現する。

バルコは1チップDLPのG60、G100シリーズ、3チップDLPのUDM、UDXシリーズなど、2000から7万5000ルーメン程度まで幅広いプロジェクターラインアップをそろえている。劇場映画用から、ホール・イベント、プロジェクションマッピングまで幅広く対応する。

Event Masterシリーズは4K表示に対応したマルチフォーマットプレゼンテーションシステム。

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン

【ブースNo.5318】

「System T」は、次世代のオーディオプロダクションシステム。ラージスケールコンソールで世界初というNative AoIPオーディオコンソールで、Immersive Audioにも対応している。IPネットワークベースで、自由度の高いシステム構築が可能。

SSLのスタジオミキシングコンソールの最新機である「ORIGIN」は、伝統的なアナログスタジオのワークフローをその核としながら、DAWを中心とした現代のハイブリッド・プロダクションスタジオにおける最良のパートナーとしての機能を併せ持つ。

映像制作対応ワークステーション

マウスコンピューター

【ブースNo.6203】

最新のグラフィックス搭載ワークステーション、デスクトップPCからDX時代における高性能モバイルノートPCなどの活用により、環境に応じた処理と多様性を広げる提案をする。



MousePro-W997DA6

高性能ワークステーション「MousePro-W997DA6」は、NVIDIA RTX A6000を搭載。4Kノンリニア編集やコンテンツ制作に、またAI処理やレイトレーシングなども快適に動作できる最上級向けワークステーションとなっている。

また、クリエイター・VTuber/ビジネスとして「DAIV 7N」「G-Tune XP-Z」「MousePro-SV260ESB」、DX/テレワークモバイルとして「DAIV 4P」「DAIV 4N」「DAIV 5P（Windows11）」「MousePro-NB420Z」などをラインアップ。「G-Tune XP-Z」は、最大8K解像度の鮮やかなHDR映像でゲームプレイが可能なデスクトップPC。「DAIV 4P」は、薄型軽量でThunderbolt 4や最大4画面のマルチディスプレーにも対応するインテルIris Xeグラフィックスを搭載したクリエイター向けノートPC。

フォービット

【ブースNo.5313】

マトリクスタリーユニット「TX-312」、オーディオフェーダーボックス「HF-02」、MADIモニタースピーカー「MS564」などを出展する。

「TX-312」は、外部PCを必要としない完全スタンドアローンのタリーユニット。12入力×24接点出力で、各接点出力の遅延設定可能。2台カスケードで24入力×48接点出力に拡張できる。

「HF-02」は、3G/HS/SD-SDI音声とAES音声1系統のフェーダーコントロールユニット。5.1chダウンミックス、ステレオミックス機能、モニタースピーカー、ヘッドホン出力を装備などの特徴がある。

「MS-564」は、MADI信号を直接入力してオーディオモニター、22.2chから5.1chおよびステレオに同時ダウンミックスできる。

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 幕張メッセ会場：11.17㈬»19㈮ HALL.7 ブース No：7591

ポストプロダクション様の『声』を製品化

NLE 編集室に特化した
3G-SDI 対応 16CH モニタリングミキサー
SAM-32B



タブレット端末による遠隔コントロール
本体と Android タブレット端末の Bluetooth 接続により、遠隔からの操作が可能

専用アプリケーションで直感的に操作
専用アプリケーションには、SOLO/MUTE やレベルメーターやダブルタップ 0dB など
DAW に搭載される基本的な機能を網羅

アナログオーディオを6出力
各出力ごとに自由な音声アサインが可能
NLE 編集室のオーディオモニタリング（モニタースピーカー数）に合わせた設計

オーディオディレイ機能
各出力ごとに最大 7.5F までの遅延設定（0.5F 単位）

プリセット機能
部屋ごとやオペレーターごとに
すべての設定項目をメモリー可能（最大 10 個）

BD BROAD-DESIGN
ブロードデザイン株式会社
〒192-0073 東京都八王子市寺町 23-5 ドリーム八王子ビル 5F
MAIL: info@broad-design.co.jp
TEL：042-649-9399
製品の詳細など 最新の情報はこちらから ⇒
http://www.broad-design.co.jp/

Inter BEE 2021 同時開催イベント Ⅰ

Inter BEE Forum 基調講演

来場登録（無料）およびログインが必要です

11月17日（水）

●KN-101	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
10:00—12:00	Opening&Keynote 主催者メッセージ　綱川　智氏 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）代表理事／会長 株式会社東芝取締役会長代表執行役社長 CEO 放送政策の最新動向　吉田　博史氏 総務省 情報流通行政局長 NHKが目指す新時代のメディア像　児玉　圭司氏 日本放送協会 理事・技師長 放送の活気ある未来のためのグローバルパートナーシップ　ゴードン・スミス氏 全米放送事業者協会（NAB）会長	
●KN-102	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
12:30—14:00	放送同時配信はテレビを救うか パネリスト 西村　規子氏　日本放送協会 デジタルセンター専任局長 佐藤　貴博氏　日本テレビ放送網株式会社 営業局総合営業センター　部長 蜷川　新治郎氏　株式会社TVer 取締役事業本部長 モデレーター 塚本　幹夫氏　株式会社ワイズ・メディア取締役／メディアストラテジスト	
●KN-103	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
14:15—15:15	金メダルをもたらした可視化テクノロジー パネリスト 太田　雄貴氏 国際オリンピック委員会委員 国際フェンシング連盟副会長 WIN3株式会社代表取締役 株式会社マイネット社外取締役 花井　裕也氏 ライゾマティクス シニアソフトウェアエンジニア モデレーター 安藤　嘉康氏 合同会社CCN 代表社員	
●KN-104	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
15:30—17:00	いまだからこそ、各分野の第一線で活躍するサウンドエンジニアが語る　～ミキサーに必要な心構え、音創りに大切なこととは何か～ パネリスト 高田　英男氏 一般社団法人日本音楽スタジオ協会/会長 株式会社ミキサーズラボ Sound Producer/Recording Engineer 奥村　岳児氏 株式会社サンフォニックス 音響事業部　部門長 Live Sound/Recording Engineer 斎藤　由佳氏 株式会社フジテレビジョン 技術局制作技術部部長職 モデレーター 阿部　健彦氏 株式会社テレビ朝日 技術局設備センター コンテンツ制作システムグループ	

11月18日（木）

●KN-201	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
10:00—11:30	IPTVフォーラム：テレビとインターネットの新しい形 パネリスト 井田　俊輔氏 総務省 情報流通行政局情報通信作品振興課　課長 江﨑　浩氏 一般社団法人IPTVフォーラム　副理事長 東京大学　大学院理工学系研究科 創造情報学専攻　創造情報学講座　教授 デジタル庁 武智　秀氏 一般財団法人NHKエンジニアリングシステム 上級研究員 モデレーター 中村　秀治氏 三菱総研DCS株式会社 常務執行役員	
●KN-202	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
13:00—13:40	ＲＳＫ山陽放送の「ST2110」標準規格導入から運用までの全経験 ＲＳＫが標準規格「ST2110」を局内システムに全面採用。この局内IP化をサポートしたソニーとの対談で、準備段階から設置、運用の現状とともに、社内のIP化についての共通理解の進め方まで、プロジェクトの全経験を解き明かす。 パネリスト 小貝　肇氏 ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ＆ソリューション本部 B2Bビジネス部　統括部長 難波　昭一氏 ＲＳＫ山陽放送株式会社 技術局制作技術部　部長 モデレーター 吉井　勇氏 月刊ニューメディア編集部 ゼネラルエディター	
●KN-203	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
14:30—15:30	AfterTokyo2020　スポーツ中継映像制作最新情報 Powered by SVG ソチリス・サラモーリス氏 オリンピック放送機構（OBS）最高技術責任者（CTO） インタビュアー ケン・ケルシュバウマー氏 SportsVideoGroup 編集長	
●KN-204	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
16:00—17:00	メタバースがアップデートするエンタメ・経済・公共的価値 パネリスト 守屋　貴行氏 株式会社Aww　代表取締役 國光　宏尚氏 株式会社Thirdverse　代表取締役CEO 株式会社フィナンシェ　代表取締役CEO gumi cryptos capital Managing Partner スターン廉氏 SIP Global Partners プリンシパル 細川　啓介氏 日本放送協会 制作局　第６制作ユニット　新領域開発 チーフ・プロデューサー モデレーター 西村　真里子氏 株式会社HEARTCATCH　代表取締役	
●KN-205	INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
17:15—18:15	Whatisthereality？越境するテレビマンたち 第1部 橋本　和明氏 日本テレビ放送網株式会社 情報・制作局専門副部長「有吉の壁」「有吉ゼミ」「マツコ会議」総合演出 第2部 鈴木　伸治氏 日本放送協会 制作局　新領域開発 第3部 安増　高志氏 RKB毎日放送株式会社 メディアイノベーションセンター副部長 モデレーター　三木　アリッサ氏 MISAKY.TOKYO CEO	

（11月1日時点）

Inter BEE 2021 同時開催イベント (11)

11月19日（金）	●KN-301　INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
	10:00—11:00	音好宏・上智大学教授が聞く「ラジオAM局のFM転換成功へのロードマップ」 総務省方針「FM転換はAM各局の経営判断」により、民放AMラジオ47局のうち44局が2028年秋までのFM転換宣言を6月に発表。課題はワイドFM受信機の普及やFM送信機など。また、FM転換で経営課題が消えるわけではない。ラジオ局の今後を見通す意思統一を目指す対談講演。 パネリスト 音　好宏氏 上智大学 新聞学科　教授 入江　清彦氏 株式会社TBSラジオ アドバイザーＦＭ転換推進統括
	●KN-302　INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
	11:30—13:00	音好宏・上智大学教授が聞く「ラジオAM電波に見る茨城放送のビジネスチャンス」 県内唯一の民放ラジオとしてのブランド力、コンテンツ力、イベントの有効な実施力などの電波による資産を生かしつつ、ラジオから音声メディア、動画メディアやテキスト化へ容易に展開できるメディアと捉えて、大胆な投資と改革に挑む元気さあふれる愛称「LuckyFM茨城放送」の現在地と今後への展望を深める。 パネリスト 音　好宏氏 上智大学 新聞学科　教授 阿部　重典氏 株式会社茨城放送 代表取締役社長
	●KN-303　INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
	13:30—15:00	DCEXPO企画：ブレインテックが変えるインターフェイスの未来とは パネリスト 牛場　潤一氏 慶應義塾大学理工学部生命情報学科 准教授 楠　貴弘氏 株式会社マクニカ BRAINAIInnovationLab. プリンシパル 平井　祐希氏 株式会社メディアシーク ビジネス開発部　ブレインテック・DTxプロジェクトリーダー モデレーター 藤井　直敬氏 ハコスコ代表取締役社長 デジタルハリウッド大学大学院卓越教授　（社）XRコンソーシアム代表理事 ブレインテック・コンソーシアム代表理事
	●KN-304　INTER BEE FORUM基調講演	オンライン
	15:30—16:30	インカメラVFX元年!　いよいよ本格化するインカメラVFXの未来を語る! パネリスト 杉山 明 氏　Epic Games Japan Business Development Manager 向井 秀哉 氏　Epic Games Japan Solution Architect モデレーター 結城　崇史 氏　Inter BEEクリエイティブディレクター
Inter BEE Forum 特別講演		来場登録（無料）およびログインが必要です
11月17日（水）	●SP-101　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	12:00—13:30	DCEXPO企画：ACMSIGGRAPH招聘トークセッション コンピュータグラフィックスとインタラクティブ技術への情熱を共有する何千人もの人たちで出来たインターナショナルメンバーシップ非営利組織であるACMSIGGRAPHのコミッティより今年もスピーカーをj招いてトークセッションを開催。 今年のトピックスは、最近、世界的にも、SIGGRAPHにおいても注目されている「Inclusiveness」。
	●SP-102　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	14:00—15:30	DCEXPO企画：音楽×ファッション×アートが生み出すレガシーは宇宙を超える ー創賞・匠賞受賞記念シンポジウムー パネリスト コシノ　ジュンコ氏 デザイナー 布袋　寅泰氏 ギタリスト モデレーター 河口　洋一郎氏 アーティスト／東京大学名誉教授 一般財団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）会長、霧島アートの森　館長。
	●SP-103　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	17:45—18:30	DCEXPO企画：デジタルコンテンツEXPO/InnovativeTechnologies2021表彰式 デジタルコンテンツEXPO、及び　Innovative Technologies 2021 に関わる各賞の表彰式の模様を、会場からライブにて配信。
	●SP-104　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	18:30—20:00	DCEXPO企画：トークパネル『InnovativeTechnologiesに登場した新技術と今後への期待』 InnovativeTechnologies2021SpecialPrizeの受賞者により、受賞した技術についての紹介をいただき、審査委員会委員とともに、その開発技術に関する期待や展望に関して幅広く語り合っていただきます。
11月18日（木）	●SP-201　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	10:00—11:00	米・欧で動く放送新規格とIPクラウド技術と制度革新 インターネット視聴が普及する中、米国はATSC 3.0方式の放送が始まり、欧州のDVBはIPを軸とした規格を策定する。一方、インターネット上でリニア放送が行われ、クラウド上に放送システム構築が進みつつある。さらに、既存の放送制度見直しと検討に動く欧米の動きを解説。 園田　公一氏 MediaTechELSIR&D 代表
	●SP-203　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	14:00—16:00	DCEXPO企画：人と人とのインタラクションを高度化するAI技術の社会実装展開 オープニングリマークス　　安西　祐一郎 氏　独立行政法人日本学術振興会 顧問・学術情報分析センター 所長 キーノートスピーカー 石黒　浩氏 大阪大学基礎工学研究科教授（栄誉教授）　ATR石黒浩特別研究所客員所長（ATRフェロー） 金井　良太氏 株式会社アラヤ 代表取締役CEO パネリスト 納谷　太氏 日本電信電話株式会社 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 企画担当　主席研究員　博士（工学） 緒方　淳氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター研究チーム長 持丸　正明氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター　研究センター長 モデレーター　　兼村　厚範氏 LeapMind株式会社 執行役員ChiefResearchOfficer兼ChiefScientist

（11月1日時点）

Inter BEE 2021 同時開催イベント

11月18日（木）	●SP-204　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	16:30―18:00	DCEXPO企画：技術が拓く、これからの文化体験 パネリスト 川岸　瀬里氏　東京国立博物館　学芸企画部博物館教育課 教育普及室　研究員 鈴木　健広氏　東日本電信電話株式会社経営企画部 営業戦略推進室担当課長ビジネスコーディネーター 田井　慎太郎氏　大日本印刷株式会社マーケティング本部 アーカイブ事業推進ユニット事業開発第１部第２グループ モデレーター 石戸　奈々子氏　慶應義塾大学教授/CANVAS代表
11月19日（金）	●SP-301　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	10:30―11:30	JEITAAVC部会講演会：イマーシブオーディオの現状と将来動向 入交　英雄氏 株式会社WOWOWエグゼクティブ・クリエイター 藤本　健氏　（WOWOW）
	●SP-302　INTER BEE FORUM企画セッション	オンライン
	13:00―14:00	ウィズコロナ環境での舞台音響のこれからとは 石丸耕一氏 公益社団法人日本舞台音響家協会副理事長 公益財団法人東京都歴史文化財団東京芸術劇場 舞台管理担当係長　サウンドディレクター 加藤　明氏 公益社団法人日本舞台音響家協会理事 エス・ピー・エル株式会社代表取締役 風船ギターTMプロジェクト（聞こえない人にロックを届けたい）技術リーダー モデレーター 半澤　公一氏 有限会社イノベーション 代表
出展者セミナー		来場登録（無料）およびログインが必要です
11月17日（水）	●ES1-101 出展者セミナー	オンライン
	10:00―11:00	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社　放送・メディアビジネスの課題とGoogleCloudの解決策
	●ES1-102 出展者セミナー	オンライン
	11:30―12:30	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 情報システム担当者様に贈る、Google Cloud ハイブリッド クラウド・マルチクラウド化 ソリューション最新情報
	●ES1-103 出展者セミナー	オンライン
	13:00―14:00	富士通　エンタメの魅力を拡げ、人と人を繋げて豊かな社会作りに貢献
	●ES1-104 出展者セミナー	オンライン
	14:30―15:30	ライムライト・ネットワークス・ジャパン　【ライブ/VOD 動画配信をされている事業者様向け】　高品質な動画を低遅延で配信するCDNとビデオ配信ソリューション
	●ES2-103 出展者セミナー	オンライン
	13:00―14:00	ソニー/ソニーマーケティング ソニーの新たなドローンプロジェクト概要　～創造の頂きへ～
	●ES2-104 出展者セミナー	オンライン
	14:30―15:30	日本クアンタムストレージ QuantumCatDV&StorNext7ソリューション
11月18日（木）	●ES1-201 出展者セミナー	オンライン
	10:00―11:00	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 AWSを活用したライブ映像の収録およびスポーツイベントでの活用事例
	●ES1-202 出展者セミナー	オンライン
	11:30―12:30	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 AWSを活用したコンテンツ価値を最大化するABEMAのクラウド戦略
	●ES1-203 出展者セミナー	オンライン
	13:00―14:00	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 AWSを活用した朝日放送テレビ株式会社のリモートプロダクションに関する取組
	●ES1-204 出展者セミナー	オンライン
	14:30―15:30	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 AWSで実現するスポーツコンテンツ管理と機械学習の活用
	●ES1-205 出展者セミナー	オンライン
	16:00―17:00	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 AWSのマネージドサービスをフルに活用したマルチチャンネル対応ライブ配信の実現
11月19日（金）	●ES1-301 出展者セミナー	オンライン
	10:00―11:00	東芝デジタルソリューションズ ＲＦＩＤを活用した放送機材貸出・返却管理LADOCsuite/LogiTraceのご紹介／メディア業界が担う役割とＤＸ推進への取り組み
	●ES1-304 出展者セミナー	オンライン
	14:30―15:30	MQALTD. ストリーミング、ブロードキャストに広がるMQA
INTER BEE EXPERIENCE		来場登録、聴講予約が必要です
11月17日（水）	●EX-201 INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	11:30―13:00	ミキシングコンソール開発者が語る　システム開発の苦労とコンセプト、最新機種の特徴と今後の展望
	●EX-202　INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	13:30―14:30	コロナ時代の音声制作とコンテンツの音①　リモート音声制作の進化と変化

（11月1日時点）

Inter BEE 2021 同時開催イベント Ⅳ

11月18日（木）	●EX-203　INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	15:00―16:00　コロナ時代の音声制作とコンテンツの音②　立体的な音場を実現する新たな音楽体験・360RealtyAudio	
11月19日（金）	●EX-301 INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	10:30―11:30　プラグインソフトを効果的に活用した音創り① Waves	
	●EX-302 INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	13:00―14:00　プラグインソフトを効果的に活用した音創り② Apollo	
	●EX-303 INTER BEE EXPERIENCE企画セッション	幕張メッセ
	15:00―16:00　音楽制作ソフトのライブ・配信活用 Live10	

（11月4日時点）

INTER BEE CONNECTED

来場登録（無料）およびログインが必要です

11月17日（水）	●KN-102 INTER BEE CONNECTED基調講演	オンライン
	12:30―14:00　放送同時配信はテレビを救うか	
	●CN-101 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	14:30―15:30　セッションの見どころ　今年の各セッションのポイントを、CONNECTEDアドバイザリーボードメンバーが紹介。	
11月18日（木）	●CN-201 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	10:30―12:00　アフターコロナ：誰がテレビスクリーンを制するのか	
	●CN-202 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	13:00―14:30　コンテンツ視聴分析の変化、現状整理と利活用の今後	
	●CN-203 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	15:30―17:00　テレビは変わった！テレビはどうする？	
11月19日（金）	●CN-301 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	10:30―12:00　地域から問い直す“放送の公共性”～在京出身トップによる複眼的ローカル局論～	
	●CN-302 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	13:00―14:30　ダイバーシティが広げる、テレビの可能性	
	●CN-303 INTER BEE CONNECTED企画セッション	オンライン
	15:30―17:00　SDGsにより変革する放送業界への視線と評価の環境	

（11月4日時点）

INTER BEE IGNITION

来場登録（無料）およびログインが必要です

11月17日（水）	●IG-101 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	10:00―12:00　先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2021表彰式	
	●IG-102 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	12:30―13:30　先進映像協会アドバンスト・イメージング・ユニバーシティ2021	
	●IG-103 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　バーチャルツアーコンダクターRKBならなら・マッシュPが紹介する　『テレビに効く！バーチャル空間』初級編	
	●IG-104 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	15:30―16:30　【お笑い芸人×VR】VR活用テレビ番組制作秘話―エンタテ！区ができるまで	
11月18日（木）	●KN-204 INTER BEE IGNITION 基調講演	オンライン
	16:00―17:00　メタバースがアップデートするエンタメ・経済・公共的価値	
	●KN-205 INTER BEE IGNITION 基調講演	オンライン
	17:15―18:15　What is the reality？越境するテレビマンたち	
	●IG-201 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	10:30―12:00　DCEXPO連携企画：TechBizピッチ・バトル！in“めちゃバース”～コンテンツ技術の世界展開に向けて～	
	●IG-202 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	12:30―13:30　DCEXPO連携企画：もっと！ポジティブパワーが未来を開く-vol.2-	
	●IG-203 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　バーチャルツアーコンダクターRKBならなら・マッシュPが紹介する　『テレビに効く！バーチャル空間』中級編	

Inter BEE 2021 同時開催イベント

11月19日（金）	●IG-301 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	10:30―12:00　DCEXPO連携企画：NFTでコンテンツビジネスはどう変わるのか	
	●IG-303 INTER BEE IGNITION 企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　バーチャルツアーコンダクターRKBらならな・マッシュPが紹介する　『テレビに効く！バーチャル空間』上級編	

（11月4日時点）

INTER BEE CREATIVE

来場登録およびセッション参加はログインが必要です

	INTER BEE CREATIVE 幕張メッセ会場イベント	幕張メッセ 展示ホール8
	国内初！次世代の映像制作、インカメラVFX撮影デモ	
11月17日（水）	●CR-101 INTER BEE CREATIVE企画セッション	オンライン
	11:00―12:00　23rd DigiCon6 Asia アジアのグランプリが間もなく決定！ ～コロナに負けないアジアのクリエーター達～	
	●CR-102　INTER BEE CREATIVE企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　エッジの効いた映像を作り続ける監督＆フォトグラファー	
11月18日（木）	●CR-201　INTER BEE CREATIVE企画セッション	オンライン
	11:00―12:00　JPPA企画：～DolbyCinemaで観るアニメーション劇場作品の映像美とは～　4KHDR映像コンテンツ制作最前線リポート！	
	●CR-202 INTER BEE CREATIVE企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　JPPA企画：TSP（東京サウンド・プロダクション）が展開するリモート中継システム、リモートMAシステムのご紹介	
11月19日（金）	●CR-301 INTERBEECREATIVE企画セッション	オンライン
	11:00―12:00　すべてのコンテンツに字幕を！演出字幕を手がけるプロデューサーが語る“最先端な字幕”とは？	
	●CR-302 INTERBEECREATIVE企画セッション	オンライン
	14:00―15:00　LEDが切り拓く未来の映像制作の可能性	
	●KN-304 INTERBEECREATIVE基調講演	オンライン
	15:30―16:30　インカメラVFX元年！いよいよ日本でも本格化するインカメラVFXの未来を語る！	

（11月4日時点）

INTER BEE IP PAVILION

来場登録およびセッション参加はログインが必要です

	幕張メッセ会場イベント	幕張メッセ　展示ホール8
	過去最大の30社/団体が協力し、「ST2110ベースIP中継車」「ST2110X5Gリモートプロダクション連携デモ」「5G高精細・低遅延映像配信デモ」で、遠隔地からIPネットワーク回線経由で放送機材を操作し、ライブ番組を送出する今後を展望する最新手法を実体験できる。	
11月17日（水）	●IP-101 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	13:00―13:20　改めて整理する「SDIからIP」の技術特性と課題　小山　智史氏 日本放送協会 放送技術研究所伝送システム研究部	
	●IP-102 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	14:00―14:20　IP標準規格の概要と世界の導入例に見る考え　菅原　正幸氏 日本電気株式会社	
	●IP-103 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	15:00―15:20　IP同期技術「PTP」の基本解説　辻　真由美氏 リーダー電子株式会社 技術開発部副主任	
	●IP-104 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	16:00―16:20　事例構成を交えた「PTP」応用編　長谷川　幹人氏 セイコーソリューションズ株式会社 戦略ネットワーク本部　タイミングソリューション営業部　担当課長	
	●IP-105 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	17:00―17:20　IPライブ制作における制御技術の概要と最新動向　櫻木　僚一氏 ソニー株式会社 イメージングプロダクツ＆ソリューションズ事業本部 メディアソリューション事業部　ビジネス戦略室　室長	
11月18日（木）	●KN-202 INTER BEE IP PAVILION基調講演	オンライン
	13:00―13:40　ＲＳＫ山陽放送の「ST2110」標準規格導入から運用までの全経験	
	●IP-202 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	14:00―14:20　IPシステム構築における「オーケストレーション」の実際　村上　真人氏 伊藤忠ケーブルシステム株式会社　クロスメディアソリューション本部	
	●IP-203 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	15:00―15:20　Audio IP規格の特性を生かした導入と運用を考える　市東　聡一氏 タムラ製作所株式会社 情報機器事業部　事業戦略本部 営業統括部 第一営業部	
	●IP-204 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	16:00―16:20　リモートプロダクションの方法と必要な準備　飯田　智之氏　株式会社フジテレビジョン　技術局技術開発部副部長	

・
・
・

Inter BEE 2021 同時開催イベント VI

11月18日（木）	●IP-205 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	17:00―17:20	回線について考える～IPリモプロさらなる普及のために～　北島　正司氏 日本放送協会 メディア開発企画センター副部長
11月19日（金）	●IP-301 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	13:00―13:20	リモートプロダクションの経験から見た回線選択の考え　大崎　雅典氏 テレビ東京 技術局技術推進部
	●IP-302 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	14:00―14:20	IPシステム構築における「ネットワークインテグレータ」の生かし方　榎戸　真哉氏 ネットワンシステムズ株式会社 カスタマーサービス本部コンサルティングサービス部
	●IP-303 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	15:00―15:20	PTPを利用した放送TS信号のIPライブ伝送～IP網によるSFNの実現に向けて～　岡崎　智彦氏 株式会社毎日放送 総合技術局技術管理部部次長
	●IP-304 INTER BEE IP PAVILION 企画セッション	オンライン
	16:00―16:20	RPTP（PTPoverWAN）による遠隔同期技術　中村　和則氏 RPTPアライアンス 株式会社メディアリンクス

（11月5日時点）

民放技術報告会

来場登録（無料）およびログインが必要です

11月17日（水）	●JBA-101 民放技術報告会企画セッション	オンライン
	10:00―12:40	民放技術報告会：制作技術部門（1） LiveVideoCenter(LVC)の構築①全体概要・編集システム　西川　寛氏 フジテレビジョン LiveVideoCenter(LVC)の構築②収録・アーカイブシステム　南雲　幸平氏 フジテレビジョン、黒川　遵氏 フジテレビジョン LiveVideoCenter(LVC)の構築③ファイル搬入・送出システム　滝波　淳氏 フジテレビジョン、小西　孝英氏 フジテレビジョン クラウドを利用したモバイル中継＆リモート編集　松村　健人氏 フジテレビジョン 自社AWSを使用したEDIUS-Cloudの運用報告　小泉　岳史氏 中京テレビ放送 スマートフォンを使った放送連動クイズシステム　TBSQs　藤本　剛氏 TBSテレビ、小作　伸一氏 TBSテレビ SATCUBEを使用した御巣鷹山中継の実例　芹澤　将也氏 フジテレビジョン、伊藤　浩文氏 フジテレビジョン BS8Kドラマ「ごちそう～うなぎ編～」の制作　上田　将理氏 名古屋テレビ放送
	●JBA-102 民放技術報告会企画セッション	オンライン
	13:00―15:20	民放技術報告会：制作技術部門（2） 光分散型ルーターを採用した素材分配設備の更新　向山　悠樹氏　札幌テレビ放送 報道サブ更新　ワークフロー改善と便利機能　田代　康高氏 札幌テレビ放送 福岡放送　Bサブの更新について　松本　安史氏 福岡放送 大型制作中継車の更新　長谷川　正和氏 テレビ朝日 新４K/HD大型映像中継車製作に関して　鹿嶋　友樹氏 朝日放送テレビ 朝日放送テレビ　新音声中継車の概要　牛越　大輔氏 朝日放送テレビ 朝日放送テレビ　報道ヘリ更新　福元　康仁氏 朝日放送テレビ
	●JBA-103 民放技術報告会企画セッション	オンライン
	15:40―18:00	民放技術報告会：制作技術部門（3） LEDスタジオ照明設備リモートプロダクションの取り組み　水野　暁夫氏 テレビ東京、小澤　幸也氏 テレビ東京 TBSスポーツ中継における独自のリモートプロダクション事例　生田　史織氏 TBSテレビ ABEMANEWSにおけるリモートプロダクションの取り組み　森山　顕矩氏 テレビ朝日 「超逆境クイズバトル!!99人の壁」リモート収録システムの開発　上田　容一郎氏 フジテレビジョン 報道スタジオへのリモコンカメラシステムの導入　吉田　健吾氏 テレビ東京 低コスト高品質なソフトウェアベースでのリモートプロダクション活用のご提案　石村　信太郎氏 WOWOW、藤本　剛氏 TBSテレビ 汎用システムを活用したクラウドライブプロダクションの取り組み　伊田　俊基氏 朝日放送テレビ
11月18日（木）	●JBA-201 民放技術報告会企画セッション	オンライン
	10:00―12:40	民放技術報告会：送出部門 同時配信・単発ライブを見据えた設備構築　浅羽　緑子氏 TBSテレビ 放送設備と連携した同時配信システムの開発　市川　祥太氏 TBSテレビ 日テレ系ライブ配信システム開発における放送マスターの改修と運用　弘田　真之氏 日本テレビ放送網 メディア総合基盤「SpliceMX」のオンプレ・クラウド連携　伊藤　正史氏 フジテレビジョン ＷＯＷＯＷ4Kマスター設備の構築　吉村　真紀氏 WOWOW 素材システム（Madonna）構築について　岸　明子氏 WOWOW 番組PR素材ファイル収録システムの自社開発　渡辺　博之氏 テレビ静岡 マスター監視の負荷軽減を目指した映像監視装置の開発　渡辺　英樹氏 テレビ西日本

・・・・・・

Inter BEE 2021 同時開催イベント

11月18日（木）	●JBA-202 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	13:00—15:00	民放技術報告会特別企画：東京2020オリンピック～ちょっとだけ見せます！中継の裏側～	
		コーディネータ 松本　英士氏 フジテレビジョン 技術局技術統括部部長職デスク担当 パネリスト 松野　史氏 札幌テレビ放送 ビジネスプロデュース局コンテンツビジネス部部長兼技術局制作技術部付 宍戸　創氏 TBSテレビ メディアテクノロジー局制作技術統括部部次長 奥沢　賢一氏 文化放送 アドミニストレーション局次長兼テックイノベーション部長 鈴木　雄仁氏 日本テレビ放送網 技術統括局主任 稲川　俊一郎氏 テレビ朝日 技術局技術運用センター報道・回線技術担当部長 三浦　宏一氏 テレビ東京 技術局制作技術センター 鈴木　貴士氏 日本放送協会 放送技術局総務部副部長 直江　正人氏 日本放送協会 札幌拠点放送局技術部専任部長	
	●JBA-203 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	15:20—17:00	民放技術報告会：情報・ネットワーク部門	
		情報カメラ制御システム更新に伴うメーカー汎用性の向上　福川　拓哉氏 フジテレビジョン 災害情報カメラ収録システムTOREZOの開発　鈴木　健司氏 フジテレビジョン FNN系列局間素材共有システム　FNN-BOXの更新　天本　光一氏 フジテレビジョン ファイルベース対応と即時スタンバイを可能とした情報カメラシステムの更新　野中　義弘氏 日本海テレビジョン放送 文字起こしツール「オトジロウ」　福田　暁史氏 フジテレビジョン	
	●JBA-204 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	17:00—18:00	民放技術報告会：データ放送・デジタルサービス部門	
		番組Tweetリアルタイム連動システム「TwiBro(ツイブロ)」の開発　原田　裕生氏 テレビ朝日、小林　宏嗣氏 テレビ朝日 BS2K→BS4Kイベントメッセージ変換装置の開発　鶴岡　秀展氏 テレビ東京 2K/4Kイベントメッセージ統合監視アプリケーションの開発　藤森　友誠氏 テレビ東京	
11月19日（金）	●JBA-301 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	10:00—11:40	民放技術報告会：画像技術部門	
		VideoOCRによるリアルタイム日本語変換とCG送出の選択　河邉　裕大氏 テレビ朝日 複数行の英字テロップのVideoOCRによるリアルタイム日本語変換　中村　敦氏 テレビ朝日 テレビ朝日テロップシステム"ANTS"の全面更新について　高梨　賢一氏 テレビ朝日 クラウドでのスポーツライブプロダクション実現のための技術検証　近藤　佑輔氏 テレビ朝日 VRの技術的な要求条件を検証するためのコンテンツ制作　飯田　智之氏 フジテレビジョン	
	●JBA-302 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	12:00—13:00	民放技術報告会：送信部門	
		PTPを利用した放送TS信号のIPライブ伝送実証実験　岡崎　智彦氏 毎日放送 親局にも対応した統合型クラウドリモコンの構築　徳重　智寛氏 テレビ西日本 監視システムの再構築　太尾田　典朗氏 中国放送	
	●JBA-303 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	13:20—15:20	民放技術報告会：ラジオ・音声部門	
		統合型IP方式によるSTVラジオ新道内配信回線の構築　原　敏志氏 札幌テレビ放送 クラウドを利用した番組自動登録システム　藤田　智氏 横浜エフエム放送 bayfm78ラジオマスターシステム更新について　安齋　宏治氏 ベイエフエム TBSラジオ第8スタジオ更新工事　富田　大滋氏 TBSラジオ 放送に適したリモート出演システムの構築　上原　裕司氏 文化放送 ハイレゾ・3Dオーディオライブ配信実験　蓮尾　美沙希氏 WOWOW	
	●JBA-304 民放技術報告会企画セッション		オンライン
	15:40—17:40	民放技術報告会：回線・伝送部門	
		JNN系列SNGシステムの更新～全体概要～　品地　貴之氏 TBSテレビ JNN系列SNGシステムの更新～システム設計～　佐々木　裕氏 TBSテレビ JNN系列SNGシステムの更新～OW回線・IP電話～　目黒　航平氏 TBSテレビ JNN系列SNGシステムの更新～システム操作画面設計～　河口　裕也氏 TBSテレビ SNG中継車（TBS51）更新の軌跡　古閑　敏真氏 TBSテレビ 番組販売システム「FileX」の更新　菅野　亜紀氏 フジテレビジョン	

（11月5日時点）

同時開催　デジタルコンテンツ EXPO 2021

会期・会場　11月17日(水)～19日(金)／幕張メッセ
主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

◇コンファレンスプログラム一覧
11月18日
10:30-12:00　TechBizピッチ・バトル！ in “めちゃバース”～コンテンツ技術の世界展開に向けて～
12:30-13:30　もっと！ポジティブ・パワーが未来を開く -vol.2-
16:30-18:00　技術が拓く、これからの文化体験

11月19日
10:30-12:00　NFTでコンテンツビジネスはどう変わるのか
13:30-15:00　ブレインテックが変えるインターフェイスの未来とは

＊コンファレンスを聴講するにはInter BEEの来場登録（無料）およびログインが必要です。

（11月9日時点）

	社名	BOOTH
映像制作／放送関連機材部門	ソニー/ソニーマーケティング	7313
	タックシステム	8303
	タツタ立井電線	8102
	CHIEF/映像センター	6110
	つながるBOX by USEDNET	7103
	TBSテレビ	6412
	テイク	8207
	DTSインサイト	7509
	QUICKRANE/TERIS DVC	8101
	datavideo japan/M&Inext	7514
	デジキャス	7311
	電波産業会	8209
	電波新聞社	6102
	Too	8105
	東京エレクトロン デバイス	6207
	トラフィック・シム	6001
	ドローン検定協会	6004
	ニッキャビ	7510
	日本航空電子工業	6206
	日本コントロールシステム	8103
	日本通信機	7104
	日本ビデオコミュニケーション協会	7518
	日本無線	7409
	ニューエックス	7511
	ネットギアジャパン	7610
	バイオス	7416
	ハイテクインター	7405
	ハギワラソリューションズ	5506
	パシダル/シナダイン	7415
	パナソニック	6413
	バルコ	7312
	パンドウイットコーポレーション日本支社	7413
	ピーテック	7608
	ビジュアル・グラフィックス	6306
	日立国際電気	6411
	ビデオトロン	6402
	HYUNDAI FOMEX CO., LTD.	8206
	フォトロン	6113
	富士フイルム	7207
	芙蓉ビデオエイジェンシー	8203
	ブラックボックス・ネットワークサービス	7613
	プランネット	7510
	ブロードデザイン	7519
	プロスパー電子	7609
	平和精機工業/Libec	6403
	放送技研	7107
	Hollyland Technology Co., Ltd.	5502
	マウスコンピューター	6203
	ミクシィ	7101
	三井物産エアロスペース	6202
	三友	6401
	ミハル通信	7308
	武蔵	8106
	メイコー	8201
	メディアリンクス	7516
	メディアリンクスエルエスアイラボ	7105
	ユアサ工機	8104
	ユーエーシー / SEHテクノロジー	6105
	ユニテックス	6407
	LiveU	7307
	ラリタン・ジャパン	7408

	社名	BOOTH
映像制作／放送関連機材部門	リーダー電子	8204
	Riedel Communications Japan	7310
	理経	6103
	レスターコミュニケーションズ	8110
	RECシステム	6204
	レントアクト昭特	7520
	ローランド	7601
映像表現／プロライティング部門	ATLONA	6505
	アペックス	6406
	イメージビジョン	6504
	エム・コーポレーション	6506
	東芝ライテック	6404
	日本ビデオシステム	6503
	冨士電球工業	6405
ICT／クロスメディア部門	IPTVフォーラム	7001
	アストロデザイン	8001
	ATOMOS	7002
	アバンギャルドフォース	7502
	エクスプローラ	7305
	NTTドコモ	8001
	Crevo	7401
	クロスデバイス	8001
	KKBOX Japan	7301
	コミュニティメディア開発推進機構	7402
	Synk	7504
	中京エレクトロン	7403
	データブロード	7304
	デザイン百貨店	7303
	トップ・クリエーション	7505
	日本ソフト開発	7302
	日本デジタル・プロセシング・システムズ	7501
	PALTEK	7305
	ファイバーネットワーク	7404
	北陸電話工事	7503
	Magewell	7508
	MEDIAEDGE	7002
	メディアキャスト	7507
	MONSTER DIVE	7506
	リ・インベンション	8001
	オンライン限定出展	
	アマゾン ウェブ サービス ジャパン	ON LINE
	NEC	ON LINE
	MQA LTD.	ON LINE
	オタリテック	ON LINE
	グーグル・クラウド・ジャパン	ON LINE
	K-WILL	ON LINE
	タムラ製作所	ON LINE
	Changchun Cedar Electronics Technology Co., Ltd.	ON LINE
	ディーアンドビー・オーディオテクニック・ジャパン	ON LINE
	デル・テクノロジーズ	ON LINE
	電子情報技術産業協会 テープストレージ専門委員会	ON LINE
	東芝インフラシステムズ	ON LINE
	東芝デジタルソリューションズ	ON LINE
	日本クアンタムストレージ	ON LINE
	平河ヒューテック	ON LINE
	富士通	ON LINE
	ベステックオーディオ/ビーテック	ON LINE
	マクニカ	ON LINE
	ライムライト・ネットワークス・ジャパン	ON LINE

11月10日時点

Inter BEE 2021 出展者一覧

	社名	BOOTH
プロオーディオ部門	アツデン	5310
	ehs.	5413
	ウエタックス	5406
	A.O.M.	5303
	エイチエスエスジャパン	5306
	ATL-KYOEI	5302
	エクセル	5315
	エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社	5510
	エヌティーアイジャパン	5405
	Audinate Pty, Ltd	5408
	銀一	5403
	コーンズテクノロジー	5311
	コンチネンタルファーイースト	5304
	シグマシステムエンジニアリング	5104
	シュア・ジャパン	5209
	スタジオイクイプメント	5002
	ゼンハイザージャパン	5105
	ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン	5318
	タツタ立井電線	5203
	谷沢製作所	5204
	TBSラジオ	5317
	日本エレクトロ・ハーモニックス	5202
	日本オーディオ協会	5314
	日本舞台音響家協会	5307
	日本舞台音響事業協同組合	5319
	ノイトリック	5308
	花岡無線電機	5309
	パナソニック	5108
	フォービット	5313
	フォステクスカンパニー	5005
	フラウンホーファーIIS	5509
	ボルトアンペア	5001
	モアソンジャパン	5411
	モガミ電線	5410
	ヤマキ電気	5305
	横浜ベイサイドネット	5414
	ロンク	5402
映像制作／放送関連機材部門	アークベンチャーズ	5505
	IO Industries Inc.	6112
	アイサンテクノロジー	7106
	アイ・ディー・エクス	7612
	アイ・ディ・ケイ	7206
	アサカ	6210
	朝日木材加工	6107
	アスク・エムイー	6109
	アストロデザイン	6301
	アバー・インフォメーション	6209
	アプコット	6302
	ABSEN	8301
	アルバニクス	7206
	アルビクス	5507
	アルメディオ	6002
	石川トランク製作所	7412
	伊藤忠ケーブルシステム	6211
	伊藤忠テクノソリューションズ	6410
	イノテック	5508
	イメージニクス	7203
	イメージネット	8208

	社名	BOOTH
映像制作／放送関連機材部門	インターネットイニシアティブ	6507
	インテリジェント ウェイブ	7606
	ヴァイテックプロダクションソリューションズ	7309
	VANLINKS/NANLITE	7410
	EIZO	6111
	営電	7512
	ATENジャパン	6304
	エーティ コミュニケーションズ	8108
	エーディテクノ	7517
	SDJ	6501
	エヌ・イー・ピー	7102
	NHKエンジニアリングシステム	5420
	NHKテクノロジーズ	5418
	NHK/JEITA	5419
	NKKスイッチズ	6502
	NTTエレクトロニクス	7406
	NTTテクノクロス	7407
	エルグベンチャーズ	6108
	エルゴジャパン	7607
	オーディオストック	7602
	岡谷鋼機	7106
	オンリースタイル	7411
	カナレ電気	5501
	カペラシステムズ	6409
	ガンスイ	8202
	カンバス	7513
	キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン	7521
	銀一	5504
	クオンプラス	6002
	クボテック	7605
	グラスバレー	6208
	クロスイメージング	7306
	ケイアイシー	6201
	計測技術研究所	6106
	ケンコー・トキナー	7201
	ケンコープロフェショナルイメージング	7201
	コアーテック	7607
	コスミックエンジニアリング	7205
	サーヴァンツインターナショナル	6305
	サードウェーブ	7603
	三信電気	7307
	CTCエスピー	6410
	CTCシステムマネジメント	6410
	JVCケンウッド	7414
	シグマ	7204
	システム計画研究所	7417
	システムファイブ	8302
	ジャパンマテリアル	7202
	昭特製作所	7520
	スタック電子	6101
	住友電気工業	7515
	スリー・エム	6303
	スリック	7201
	精工技研	6003
	セイコーソリューションズ	8205
	摂津金属工業	7611
	Semtech Corporation	6104
	Cerevo	5503

www.nabshow.com

APRIL 23 - 27, 2022 · LAS VEGAS CONVENTION CENTER

Experience An NAB Show Like Never Before.

NABSHOW Where Content Comes to Life

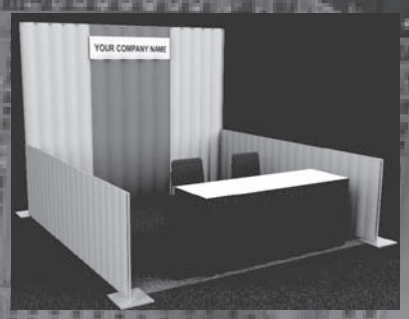
2022 年 4 月 23 日 –27 日　展示：4 月 24 日 –27 日
Las Vegas Convention Center　Las Vegas, Nevada USA

出展企業募集



スターター・ターンキーパッケージ

価格：1 平方フィート（1 平方フィートは 929 ㎠）$55





背面カーテン（社名）、横仕切りレール、テーブル、椅子、電源、ゴミ箱

※写真はイメージ画像で実物とは異なる点がある場合があります

ベーシック・ターンキーパッケージ

価格：1 平方フィート（1 平方フィートは 929 ㎠）$95





背面上部会社名、背面壁広告パネル、背面ライト、受付カウンター、カウンター前面広告パネル、カウンター椅子、背面棚、電源、ゴミ箱

※写真はイメージ画像で実物とは異なる点がある場合があります

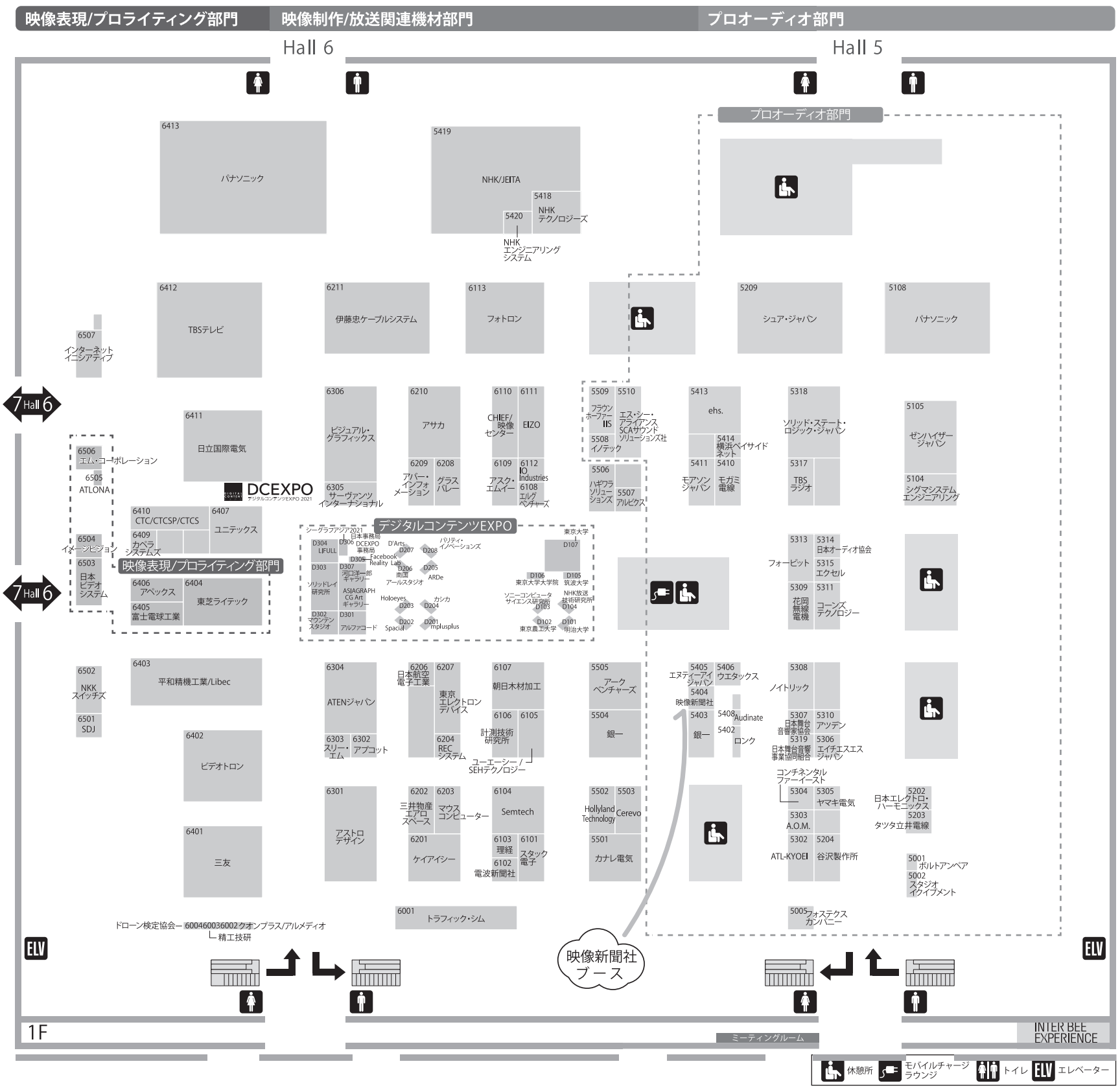
詳細問合せ：NAB 日本代表事務所　nabshow@eizoshimbun.com
112-0006 東京都文京区小日向 1-24-8　Tel.03-3942-2381　Fax.03-3942-2581

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2021

展示会場図　Hall 5,6

11月8日時点



開催概要

名　称
Inter BEE 2021

会　期
幕張メッセ会場
2021年11月17日(水)～ 2021年11月19日(金)
オンライン
2021年11月17日(水)～ 2021年12月17日(金)

会　場
幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

入　場
無料（全来場者登録入場制）

後　援（予定）
総務省、経済産業省（建制順）
NHK
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人電波産業会
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
一般社団法人放送サービス高度化推進協会
（順不同）

協　力（予定）
IPDCフォーラム
一般社団法人IPTVフォーラム
一般社団法人衛星放送協会
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人映像情報メディア学会
一般社団法人映像配信高度化機構
公益社団法人映像文化製作者連盟
一般社団法人カメラ映像機器工業会
公益社団法人劇場演出空間技術協会
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
3Dコンソーシアム
全国舞台テレビ照明事業協同組合
先進映像協会 日本部会
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
一般社団法人デジタルメディア協会
一般財団法人電波技術協会
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会
協同組合日本映画撮影監督協会
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
協同組合日本映画テレビ照明協会
協同組合日本映像事業協会
一般社団法人日本オーディオ協会
一般社団法人日本音楽スタジオ協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
一般社団法人日本ＣＡＴＶ技術協会
公益社団法人日本照明家協会
一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本パブリックビューイング協会
NPO法人日本ビデオコミュニケーション協会
公益社団法人日本舞台音響家協会
日本舞台音響事業協同組合
一般社団法人日本ポストプロダクション協会
一般財団法人プロジェクションマッピング協会
マルチスクリーン型放送研究会
一般社団法人モバイルブロードバンド協会

主　催
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

運　営
一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会
（JESA）

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2021

展示会場図　Hall 7,8

11月8日時点

IC T/クロスメディア部門　**映像制作/放送関連機材部門**

Hall 8　Hall 7

8110 レスターコミュニケーションズ
7521 キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン
7313 ソニー /ソニーマーケティング
7207 富士フイルム
放送技研
岡谷鋼機/アイサンテクノロジー
7107
7106
7105
メディアリンクス
エルエスアイラボ
8303 タック システム
7520 昭特製作所/レントアクト昭特
7312 バルコ
7206 アイ・ディ・ケイ/アルバニクス
8302 システム ファイブ
8301 ABSEN
7613 ブラックボックス・ネットワークサービス
7519 ブロードデザイン
7517 エーディテクノ
7518 日本ビデオコミュニケーション協会
7415 パシダル/シナダイン
7416 バイオス
7414 JVC ケンウッド
7417 システム計画研究所
7413 バンドウイット コーポレーション日本支社
7311 デジキャス
7310 Riedel Communications
7205 コスミック エンジニアリング
7104 日本通信機
7103 つながるBOX by USEDNET
8108 エーティ コミュニケーションズ
7612 アイ・ディー・エクス
7611 摂津金属工業
8107 INTER BEE CREATIVE
7609 プロスパー電子
7610 ネットギア ジャパン
7607 コアーテック/エルゴジャパン
7608 ピーテック
7515 住友電気工業
7516 メディアリンクス
7514 Datavideo Japan/M&Inext
7513 カンバス
7411 オンリースタイル
7412 石川トランク製作所
7410 VANLINKS/NANLITE
7309 ヴァイテック プロダクション ソリューションズ
7308 ミハル通信
7204 シグマ
7203 イメージニクス
INTER BEE IP PAVILION
8207 テイク
8208 イメージネット
8209 電波産業会
8206 HYUNDAI FOMEX
8204 リーダー電子
8205 セイコーソリューションズ
8105 Too
8106 武蔵
8104 ユアサエ機
7605 クボテック
7606 インテリジェントウェイブ
7511 ニューエックス
7512 営電
7510 ニッキャビ/プランネット
7509 DTS インサイト
7408 ラリタン・ジャパン
7407 NTTテクノクロス
7409 日本無線
7406 NTT エレクトロニクス
7405 ハイテクインター
7307 Live U
7306 クロスイメージング
7102 エヌ・イー・ビー
7202 ジャパンマテリアル
7101 ミクシィ
ICT/クロスメディア部門
8202 ガンスイ
8203 芙蓉ビデオエイジェンシー
8103 日本コントロールシステム
7602 オーディオストック
7603 サードウェーブ
7506 MONSTER DIVE
7507 メディアキャスト
中京エレクトロン
7403
7404 ファイバーネットワーク
7402
コミュニティメディア開発推進機構
7304 データブロード
7305 エクスプローラ/PALTEK
トップ・クリエーション
7505
7504
7508 Magewell
7503 北陸電話工事
7501 日本デジタル・プロセシング・システムズ
7502 アバンギャルドフォース
7401 Crevo
7303 デザイン百貨店
7301 KKBOX Japan
7302 日本ソフト開発
8201 メイコー
8102 タツタ立井電線
8101
QUICKRANE/TERIS DVC
7601 ローランド
Synk
7201 ケンコープロフェショナルイメージング/ケンコー・トキナー /スリック
8001 NTTドコモ/クロスデバイスリインベンション/アストロデザイン
7002 MEDIAEDGE/ATOMOS
7001 IPTVフォーラム
7 Hall 6
7 Hall 6
ELV
1F
商談ルーム

休憩所　モバイルチャージラウンジ　トイレ　ELV エレベーター

UNITEX
The Innovator,
Computer Storage

9
Coming Soon

NEW Full Height USB-LTO
2022 Spring Debut



もっと手軽に、もっと大量に、安心してデータを保存するなら、世界で唯一の USB-LTO を。

高速 USB3.0 接続 LTO テープ装置
LT Series

ジェネレーション 6 から 8、インタフェースは USB および USB/SAS、SAS 対応モデルまで充実のラインナップ。最新の 9 対応モデルは 2022 年発売予定。付属の LTFS ソフトウェアや別売のアーカイブソフトウェア、バックアップソフトウェアと組み合わせることで、外付け HDD と変わらない操作でありがながら安全・確実なデータ保存を実現。ノート PC や複数 PC で利用する方、これからデータアーカイブやバックアップをスモールスタートしてみたい方にも最適です。



【LT シリーズの特徴】
- USB3.0/SAS インタフェースモデル
- Windows、Mac、Linux、Solaris、AIX 対応
  Mac M1 チップにも対応（2021年 10月より）
- UNITEX 日本語 LTFS3000ソフトウェア添付
  （Windows 用、Mac 用）

LTFS データコピーソフトウェア
UNITEX FASTapeLT

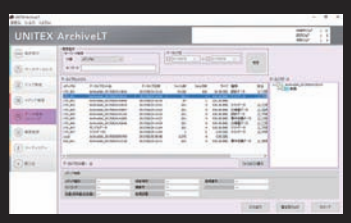
複数の LTO テープや HDD へ、データをコピーおよびベリファイするデータコピーソフトウェア。シンプルで分かりやすい GUI をはじめ、独自アルゴリズムによる高速コピー、連続ジョブ実行機能などユーザーの作業負荷を低減しストレスフリーなデータコピーを提供します。また、API 連係やコマンド連係も可能なため、現在お使いのシステムと組み合わせて使用することも可能です。



【UNITEX FASTapeLT の特徴】
- 簡単操作でジョブを連続実行
- 最大 4 つのコピー先へ同時コピーが可能
- 並列ジョブ実行が可能
- 独自アルゴリズムで高速コピーを実現

LTO アーカイブソフトウェア
UNITEX ArchiveLT

LTO および HDD、オプティカルディスク・アーカイブへの高速アーカイブ＆リトリーブ、オフライン管理機能を提供するアーカイブソフトウェアです。複数デバイスへの同時アーカイブやアーカイブ後の自動ベリファイ、LTO テープの暗号化、アーカイブデータのオフライン管理など、重要なデータを安全で確実に取り扱うための機能を多数搭載しています。



【UNITEX ArchiveLT の特徴】
- 最大 4 つのアーカイブ先へ同時アーカイブ
- 独自のアルゴリズムによる高速データ転送
- オフラインメディア内のアーカイブデータ
  をファイル名やメタデータで検索可能
- アーカイブデータのリトリーブ (取り出し)

データ移行・集約
マイグレーションシステム

LTO9へと世代が上がる一方で、旧世代から最新世代テープへのマイグレーション課題を抱えるお客様が増えてきています。当社では 1 台に 2 ドライブ混在搭載可能な、Dual LTO・1U LTO ラックマウント2ドライブ搭載モデルをご用意しており、当社 LTFS, Tar 形式のソフトウェアとの組み合わせで LTO5 x12 本分のデータを LTO9 x 1 本へと簡便にデータ移行・集約を行って頂けます。



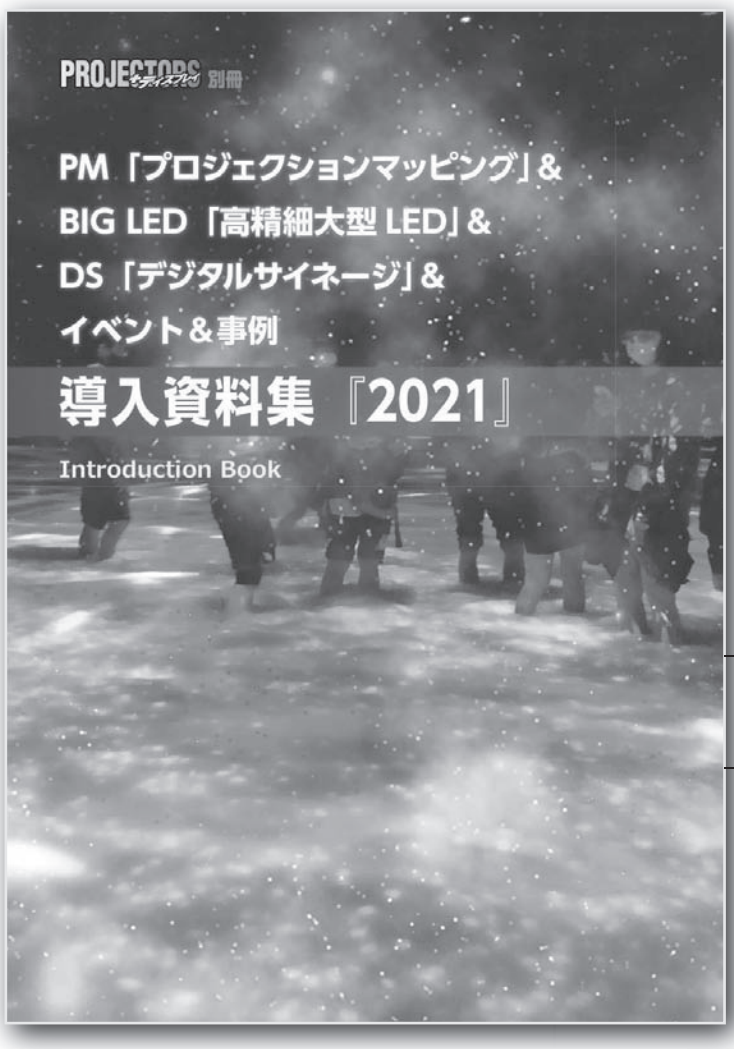
【マイグレーションシステムの特徴】
- お客様の用途に合わせた最適なシステムを構築してご提供
- 外部に機密データを持ち出す必要の無い、サブスクリプションでのご利用可能
- オートローダー・ライブラリーモデル活用のオペレーション自動化システムもご利用可能

お問い合わせ・ご相談は　**株式会社 ユニテックス**　〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル　TEL:(050)3386-1242　FAX:(042)710-4660
https://www.unitex.co.jp　※記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更および終了となることがありますのでご了承ください。

PJ総合研究所・ビジネス資料集

PM「プロジェクションマッピング」&BIG LED「高精細大型LED」&DS「デジタルサイネージ」&イベント&事例導入資料集『2021』

新発売



・編集＆発行：PJ総合研究所／2021年6月30日発行
取材／川田宏之（大型映像評論家）、PROJECTORS編集部
・販売：（有）エーブイシー
・予定ページ数：約100ページ
・販売価格：7,000円／冊（税込、送料160円要）
電書6,380円（税込・Amazonにてご購入ください）

＜主要記事＞
★ トピックス／PM、BIG LED、DSが活躍する!
フォーラムエイト／
・国土強靭化のスポーツ振興で積極的支援を実施
・積極的なPR活動への協力も活発化
● プロジェクションマッピング：予算、事業主体、レンタル会社、使用プロジェクター、システム構成など網羅
● BIG LED：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅
● デジタルサイネージ：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅
● イベント＆事例：タイムリーな事例中心の紹介

※ 発行形態 ※　導入資料集（2021年版）、印刷本＆電書（電子書店併売）
※ 編集形態 ※　掲載の事例は1ケ所を見開き2ページ（カラー）で紹介

※ 発行の狙い ※
2021年版「プロジェクションマッピング」、「BIG LED」、「デジタルサイネージ」、「イベント＆事例」5つを1冊にまとめた導入資料集2021です。本誌は2014年から資料集年鑑として発行しているもので都合8冊目になります。実践例、費用などを他では得られないデータを掲載し、大変好評です。PM、BIG LED、DSなどは導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム機器＆構成などを詳しく紹介しております。これから手掛けようとする事案のある関係の皆さまは、各種映像システムの設計と手法、効率的運用、設置性、受注方法などの資料が入手できることからも、見過ごせない貴重な参考書です。最近は海外の読者（電書にて）もおられます。

映像新聞のサイトから、もしくは必要事項をご記入のうえFAXにてお申し込みください。（電書はAmazonにてご購入ください）

www.eizoshimbun.com　FAX 03-3942-2581

お申し込み＆お問合せ／映像新聞社 TEL 03-3942-2161 info@eizoshimbun.com　発送／（有）エーブイシー TEL 070-6655-7886

PJ導入資料集2021購入申込書

必要部数：　部	ご住所：
御社名：	
部署名：	TEL
お名前：	E-mailもしくはFAX

「スズさん　昭和の家事と家族の物語」

明治から昭和を生きた1人の女性「スズさん」の生活史『スズさん 昭和の家事と家族の物語』（2021年／監督・撮影・編集、大墻〈おおがき〉敦、ドキュメンタリー、86分）が上映中である。日本人の昭和の生活を1人の名もなき専業主婦、「スズさん」の来（こ）し方を通して語る貴重な1作だ。

（中川洋吉・映画評論家）



「スズさん　昭和の家事と家族の物語」（スズさんと子供たち）
©映画「スズさん」製作委員会

激動の時代を生き抜いた1人の女性

家族の視点で追う昭和の生活

東京都大田区南久が原にある「昭和のくらしの博物館」は、ほとんどの方々がご存知ないはず。戦後、1951年に建てられた18坪の木造2階建ての仕舞屋（しもたや）で、なんの変哲もない「昭和のくらし」の缶詰のような存在である。「いつの時代も、最も残りにくく、かつ軽んじられるのは一番身近なはずの庶民の暮らし」との思いから、ここが設立された。

館長は、この家の元住人である小泉一家の長女、小泉和子である。同家の家財道具が昔のまま展示され、庶民の昭和が再現されている。お茶の間、台所、書斎、縁側などを実際に巡りながら、昭和20年代、30年代前半の庶民の暮らしが体感できる。

一家の住まいがそのまま博物館には、小・中学生が昭和の暮らしの有り様（よう）を知るために、遠足のように集団で訪れる。館長・小泉和子の母（小泉スズ）が本作の主人公「スズさん」だ。

◆女中奉公

「スズさん」は、明治43年（1910年）横浜市鶴見区の農家に生まれる。13歳（大正12年）の時に高等小学校を卒業し、和裁の修業を経て、松戸徳川家の藩主徳川武定邸へ女中奉公に出る。

ご主人の武定は殿様と呼ばれるが気さくな人柄で、「スズさん」にとっては、居心地の良いお宅であり、縫い物担当としてそこで働く。武定は後に海軍技術中将を経て、東京帝国大学工学部教授となる。彼女は終生「殿様、殿様」と慕い、武定に親しみを抱いていた。

彼女は裁縫の腕が立ち、奉公先では働きぶりが認められ、最初15円の給料が3年後の辞めるときは18円となる。この女中奉公、行儀見習いともいわれ「スズさん」にとり、ハクをつける契機となる。

◆作品の組み立て

本作は3部構成を取り、第1章『生い立ちと横浜大空襲』、第2章『ちいさなおうち』、第3章『昭和の家事の記録』となっている。

映像は残存するフィルム、小泉和子の解説、絵柄のない場面はアニメを使用している。残存するフィルムは、当時の記録映画や写真であり、大墻監督は2020年初めに彼女が撮影した記録映画「昭和の家事」を見て、素材の良さと時代性に注目し、映画化を思い立つ。

この「昭和の家事」は字義どおり、家事の1コマ1コマを実写するもので、それを苦にすることなく、日常の仕事として黙々とこなす「スズさん」の働きぶりが、今の時代、大変新鮮に映る。



長女の小泉和子

貴重な記録映像と娘の解説で構成

◆記録映画について

生活史の研究家である小泉和子は、ある時「スズさん」の家事を記録することを思い立つ。友人で岩波映画の時枝俊江監督に相談し、協力を得る。

この家事の内容が実に詳しい。主たる項目は「着物を解（ほど）く」、「洗濯をする」、「おはぎ」、「強飯（こわめし）」、「お正月の支度」などと、興味深い。特に「スズさん」が得意とする縫い物は、正座しながら、実に手際の良い手慣れた様子が映し出される。

◆生い立ちと横浜大空襲

明治43年生まれの「スズさん」は、殿様徳川武定邸の女中奉公に出た後、1932年に22歳で見合い結婚をする。その前年の関東大震災で実母を失くす。夫の小泉孝は、東京市役所勤務で建築課の職員、後に出世し、待望の建築技師となる。体が弱いが温厚な人物で、一家は3女をもうける。

男子として長男の実がいたが、急性の感染症「疫痢（えきり）」により3歳で死去。1942年は戦時下であり、食料事情は悪く、冷蔵庫もなく、衛生状態も今とは異なり、食中毒は珍しくない。当時疫痢、赤痢に罹患（りかん）する人たちが結構いた。

したがって、台所を預かる主婦は、生鮮食材はすぐに料理せねばならず、それが彼女たちの労働の負担を重くしたことは容易に想像できる。一家は5人家族で、狭い家ではあるが、家族以外に早稲田大学の学生の下宿人2人を置いた。

現博物館は、小泉家の疎開（そかい）先の牛舎から東京都大田区（現「昭和の暮らし博物館」）へと移り、待望の新居を建てる。

昭和30年代には、洗濯機、冷蔵庫、テレビの家電製品が普及し始め、主婦の仕事内容も大きく変わり、「戦後は終わる」と人々が思い始めたのが1964年の東京オリンピック後である。筆者世代の母親たちは、戦後も長らく不便な生活を強いられる。

◆さまざまな家事

本作のハイライトは長女和子の記録映画の中で見られる「スズさん」本人が見せる家事の数々である。「スズさん」だけではなく、昔の主婦たちは「縫い物」をはじめ、すべて自分たちでやっていた。「おはぎ」の「こしあん作り」は職人肌で、中心にあんを入れ、ごはんで握った後、外側にたっぷりとあんで覆った、大きな武骨なおはぎは今では見られない。

昭和を生きた「スズさん」を通して、困難を乗り越え、当然のように家事をこなす女性の姿が浮き彫りにされる。本作を見て、世の中は女性を中心に回っていることが痛いほどよく分かる。貴重な昭和史だ。

なお、「スズさん」は2001年に91歳で他界した。〈文中敬称略〉



縫い物をする「スズさん」

■『スズさん 昭和の家事と家族の物語』は、11月6日よりポレポレ東中野ほか全国順次公開

情報がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界へ向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。
ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞
毎週月曜日、月4回発行（年間48回発行）
基本ページ数
16-20ページ／タブロイド判
年間購読料：28,600円
（税・送料込み）
（海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。詳しくはお問い合わせ下さい。）
映像新聞ウェブサイトからもお申し込みができます
www.eizoshimbun.com

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ。
映像新聞社　TEL 03-3942-2161　FAX 03-3942-2581
〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル　e-mail:info@eizoshimbun.com

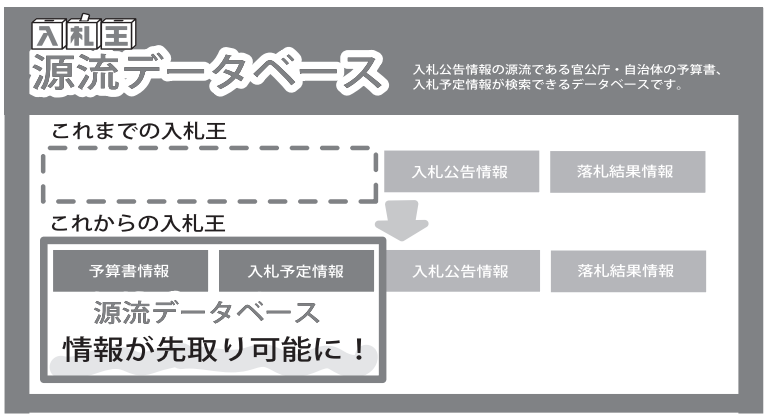
映像入札王のご案内

入札王 入札情報提供サービス

映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

入札王に国内唯一の新サービス登場！

源流データベース「予算書・予定情報」で入札を先取り！



映像入札王とは？

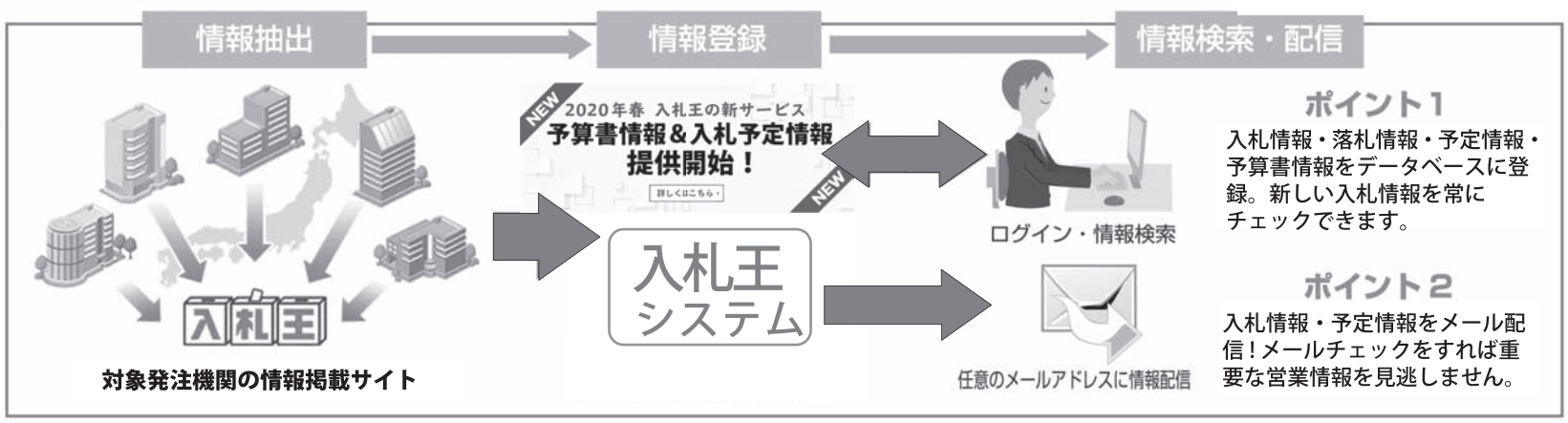
中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の
入札情報・落札情報・予定情報・予算書情報を
提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、
情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を
毎日ご提供します。

その特長は

1　業界最大級の網羅性
- 全国の発注機関（入札情報 7,500 機関以上）を網羅。

2　横断的、一括した情報を抽出
- 統一データベースを構築、類似団体の情報も横断的に抽出

3　多様な検索機能を準備
- 発注機関別（中央省庁、自治体別、独立行政法人別）
- 都道府県別、人口規模別、業種別
- 会計区分別（一般、特別）、予算区分別（当初、補正）
- キーワード（フリーワード）等



10 日間 お試し
無料トライアル実施中

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

http://www.eizoshimbun.com

上記 URL からのエントリーで割り引き適用となります

『映像新聞』購読の方は、下記料金から 5%引き

《サービス利用料金（入札・落札情報サービス）》　（税込）

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月	25 都道府県	¥303,600	¥550,000
3 都道府県	¥77,000	¥143,000	26 都道府県	¥308,000	¥556,600
4 都道府県	¥110,000	¥198,000	27 都道府県	¥312,400	¥563,200
5 都道府県	¥132,000	¥242,000	28 都道府県	¥316,800	¥569,800
6 都道府県	¥154,000	¥286,000	29 都道府県	¥321,200	¥576,400
7 都道府県	¥176,000	¥330,000	30 都道府県	¥325,600	¥583,000
8 都道府県	¥198,000	¥374,000	31 都道府県	¥328,900	¥587,400
9 都道府県	¥220,000	¥418,000	32 都道府県	¥332,200	¥591,800
10 都道府県	¥226,600	¥429,000	33 都道府県	¥335,500	¥596,200
11 都道府県	¥233,200	¥440,000	34 都道府県	¥338,800	¥600,600
12 都道府県	¥239,800	¥451,000	35 都道府県	¥342,100	¥605,000
13 都道府県	¥246,400	¥462,000	36 都道府県	¥345,400	¥609,400
14 都道府県	¥253,000	¥473,000	37 都道府県	¥348,700	¥613,800
15 都道府県	¥259,600	¥484,000	38 都道府県	¥352,000	¥618,200
16 都道府県	¥264,000	¥490,600	39 都道府県	¥355,300	¥622,600
17 都道府県	¥268,400	¥497,200	40 都道府県	¥358,600	¥627,000
18 都道府県	¥272,800	¥503,800	41 都道府県	¥361,900	¥630,300
19 都道府県	¥277,200	¥510,400	42 都道府県	¥365,200	¥633,600
20 都道府県	¥281,600	¥517,000	43 都道府県	¥368,500	¥636,900
21 都道府県	¥286,000	¥523,600	44 都道府県	¥371,800	¥640,200
22 都道府県	¥290,400	¥530,200	45 都道府県	¥375,100	¥643,500
23 都道府県	¥294,800	¥536,800	46 都道府県	¥378,400	¥646,800
24 都道府県	¥299,200	¥543,400	47 都道府県	¥385,000	¥660,000

●お問い合わせはこちらへ。
株式会社ズノー 入札王事務局　〒106-0044 東京都港区東麻布 1 丁目 5-2 ザイマックス東麻布ビル 8F　TEL：(03)6441-0332 ／ supportking@nyusatsu-king.com

オンライン展示会開く

松田通商が15-19日

期間限定コンテンツも

松田通商は、オンライン展示会「2021秋MTC Online Trade Show」を11月15―19日に開く。特設サイトでの製品説明と、5日間限定でYouTubeにおいて事前登録制のコンテンツを公開。オンライン商談も実施する。参加無料。

【ライブ配信】「新製品！ワイヤレス・ワイヤードすべてを集約 Clear-Com Arcadia」（16日14時から約30分）

【限定コンテンツ】▽EclipseのIPプロダクションにおけるシステム納入事例▽ポストISDN音声コーデックについて▽最新IPオーディオモニター▽リモートプロダクションを支援するソリューション製品▽ClearOne BMA360で体験するシーリングマイクの進化――など（事前登録制）

【受付期限】ライブ配信は15日14時30分まで、限定コンテンツは19日17時30分まで可能。

【詳細】mtc-japan.com/news/2021/1028/?utm_source=Benchmark&mail&utm_campaign=2021.11.04_MTC_OTS&utm_medium=email

CRIオンラインセミナー

ローカル5Gサービス

CATV局の事業状況を報告

ケーブルテレビ情報センター（CRI）は、第19回「CRIオンラインセミナー」（Zoom使用）を11月24日に開き、愛媛CATV（愛媛県松山市）とZTV（三重県津市）のローカル5Gの取り組みを解説する。

愛媛CATVは「サブスクリプション方式」の採用で、低価格な地域共有型ローカル5Gサービスを今年7月に開始。その中でも利用者からの人気が高いのが『しまなみ海道ロードムービーサービス』。これは「しまなみ来島海峡大橋」に専用カメラを設置し、海峡大橋を走るサイクルリストの姿を自動で撮影するサービスで、動画伝送にローカル5Gを採用した。

そこで同社のローカル5G支援サービスを基軸とする事業戦略について、専務取締役の白石成人氏に聞く。

また、ZTVが手掛ける「ローカル5Gを活用した港湾内安全管理に向けた実証実験」について、同社新事業推進部課長の眞弓士清氏が概要を報告する。

【日時】11月24日／13時30分―15時

【参加費】CRI会員3000円、非会員6000円

【申し込み・詳細】www.cri-info.jp/20211108_6245.html

映画「信虎」の鑑賞券を購読者5名にプレゼント

武田信玄の父・信虎の最晩年を描いた映画『信虎』（ミヤオビピクチャーズ製作／東宝系で11月12日から全国順次公開中）の鑑賞券（ムビチケカード）を、映像新聞ご購読者を対象に、応募者から抽選で5名様にプレゼントします。

応募方法は、会社名（個人の場合は不要）とお名前、「購読者番号」をご記入の上、Eメールで「鑑賞券プレゼント係」までお送りください（送り先＝info@eizoshimbun.com）。応募締め切りは11月22日正午。当選者の発表は鑑賞券の発送をもって代えさせていただきます。

なお、ご提供いただきました個人情報を本プレゼント以外の目的で使用することはありません。

全映協グランプリ2021

4部門の最優秀賞を発表

オンラインで表彰式開催

全国地域映像団体協議会（全映協）は2日に「全映協グランプリ2021表彰式」を仙台市青葉区のホテルモントレ仙台で開き、受賞者はそれぞれオンラインで参加した。

全映協では例年、フォーラムおよびグランプリ表彰式をInterBEEの会期に合わせて同会場内で実施してきたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインによる表彰式のみの開催となった。

全映協グランプリは、「番組部門」「CM・キャンペーン部門」「学生部門」「地域振興コンテンツ部門」の4部門があり、各部門4人の審査員により各賞を決定している（今年度の受賞結果は一覧表のとおり）。

全映協は地域からの情報発信を目的に、北は北海道から九州沖縄まで9地区の局系、独立系の映像制作社が集結し、1993年に全国地域映像団体懇談会として発足し、地域の特性、制作会社のそれぞれの個性を生かし地域映像のアーカイブ映像に参画。さらに全映協共同事業として、先導的コンテンツ市場環境整備事業に参画するなど、その活動は多岐にわたっている。



学生部門:文部科学大臣賞／上智大学　原川成羽さん



番組部門:総務大臣賞／イメージランド



地域振興コンテンツ部門:経済産業大臣賞／北陸メディアセンター



CM・キャンペーン部門:映像新聞社会長賞／ラックプロ

「全映協グランプリ2021」各部門受賞結果一覧

入賞名	出品団体	タイトル	制作・応募社（者）
番組部門			
最優秀賞（総務大臣賞）	北映協	北照高等学校 野球部 2020「繋がり」	イメージランド
優秀賞	石川映協	日本のチカラ 能登から始めよう	北陸アイティエス ＩＴ事業部制作グループ
優秀賞	東北映協	「日本のチカラ」なりたい自分になるって決めたんだ！ ～夢見る車いす女子～	東北映音
優秀賞	北映協	ポネオハウ ―アイヌの私―	エイチ・テー・ビー映像
優秀賞	北映協	「核と風～分断される町～」	オーテック
CM・キャンペーン部門			
最優秀賞（映像新聞会長賞）	富山映協	富山ダイハツ販売 「新しい地図記号」篇	電通西日本富山支社／ラックプロ
優秀賞	東北映協	ベアレンファンになろう	㈲哲学堂
優秀賞	石川映協	小松マテーレ株式会社 「ダントツマスクール/炎鵬関」篇	金沢映像センター／ アビックスタジオ金沢
優秀賞	中映協	愛ひとつぶ「愛の水引」篇	CTV MID ENJIN
学生部門			
最優秀賞（文部科学大臣賞）	中映協	東北地方に学ぶ ～災害弱者支援はどうあるべきか～	上智大学（静岡在住） 原川成羽
優秀賞	中映協	誰もしらない猫の話。	専門学校名古屋ビジュアルアーツ原田咲良
優秀賞	北映協	あの日、ニレの木の下で	稚内北星学園大学 樺太プロジェクト
優秀賞	北映協	熊魂	北海道札幌西高等学校放送局
地域振興コンテンツ部門			
最優秀賞（経済産業大臣賞）	石川映協	いしかわの伝統工芸 ～受け継がれる技と美～	北陸メディアセンター
優秀賞	中映協	高齢者元気支援動画（狂言）	CTV MID ENJIN
優秀賞	東北映協	Changing Minamisanriku 震災から10年間の変革	はなぶさ

東北映像フェスティバル2022

映像機器展・映像コンテスト

6/2（木）10:00-17:00 ・ 3（金）10:00-17:00

開催場所　仙台国際センター 展示棟
JR仙台駅直結 仙台地下鉄東西線 仙台国際センター駅下車徒歩1分

出展申込　一般社団法人 東北映像製作社協会

東北最大の放送・業務用「映像」「音響」「照明」専門機材展示会!!

SONY

新たなハードとソフトのハイブリッド構造により
高いパフォーマンスと多彩な新機能を実現



ツリー構造を採用した新メニューGUI
PCまたはタブレットのブラウザから操作可能

ライブプロダクションスイッチャー

XVS-G1 NEW

専用コントロールパネル

ICP-X1116［1M/E・16クロスポイント］
ICP-X1124［1M/E・24クロスポイント］
ICP-X1216［2M/E・16クロスポイント］
ICP-X1224［2M/E・24クロスポイント］

4K　HDR　SR Live for HDR

新アーキテクチャー採用のライブプロダクションスイッチャー。

XVSシリーズの信頼性と安定性を維持しながらソフトウェア処理を活用することで、小型ながら高いパフォーマンスと多彩な新機能、フレキシブルな運用を実現しています。小中規模のスタジオサブや中継車、イベントの送出システムなど、さまざまなライブ制作システムに対応します。

XVS-G1
商品情報
はこちら

ソニーのプロフェッショナル/
業務用映像制作機材の情報は　sony.jp/pro-cc/

広告掲載商品に関するお問い合わせは
ソニー業務用商品購入相談窓口　［フリーダイヤル］0120-580-730　受付時間：9：00～18：00
（土・日・祝日・弊社休業日は除く）

◎「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です ◎本文中にTM、®マークは明記していません ◎商品を安全に使うため使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください ◎掲載商品の仕様や外観は改良のため予告なく変更することがあります

Sony Marketing Inc.
ソニーマーケティング株式会社